

子育て支援に関する
アンケート調査報告書
【就学前児童用】

令和6年3月

松阪市

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 抽出方法	1
4 調査方法	1
5 調査時期	1
6 回収結果	1
7 数値等の基本的な取扱いについて	1
アンケート結果	2
1 お住まいの地域について	2
2 お子さんご家族の状況について	3
3 子どもの育ちをめぐる環境について	7
4 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	12
5 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	22
6 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。	33
7 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	40
8 宛名のお子さんの病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)	48
9 宛名のお子さんの不定期の預かり保育・託児所等の利用について	55
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について(5歳以上のみ)	62
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	72
12 子育ての不安と悩みについて	90
13 子育てに関する情報の入手について	92
14 近くの遊び場について	94
15 外出の際困ることについて	96
16 子どもの育ちを支援する地域について	98
17 子育てのサークルへの参加について	98
18 健康・医療について	99
19 子育て全般について	100
20 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してのご意見	106

調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市内に居住する未就学児童の保護者を対象として、「アンケート調査」を実施し、「第3期松阪市子ども・子育て支援事業計画(2025年度～2029年度)」を策定するに当たり、市民の方の教育・保育・子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望等を把握するための基礎資料とします。

2 調査対象

未就学児童(0歳～5歳 1,500人)

3 抽出方法

無作為抽出

4 調査方法

郵送による調査票の配布・回収及び Web 回収

5 調査時期

令和6年1月

6 回収結果

配布数	1,500
回収数	951(紙回答 483 Web 回答 468)
回収率	63.4%

7 数値等の基本的な取扱いについて

- ・比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。(回答者総数又は該当者数)
- ・複数回答については、ひとりの回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問であり、したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー(選択肢)の文言は、作図の都合上、簡略化する場合があります。
- ・本文中の“「」”内は[アンケートの回答項目]、“『』”内は[アンケートの回答項目を複数あわせて表示したもの]となります。

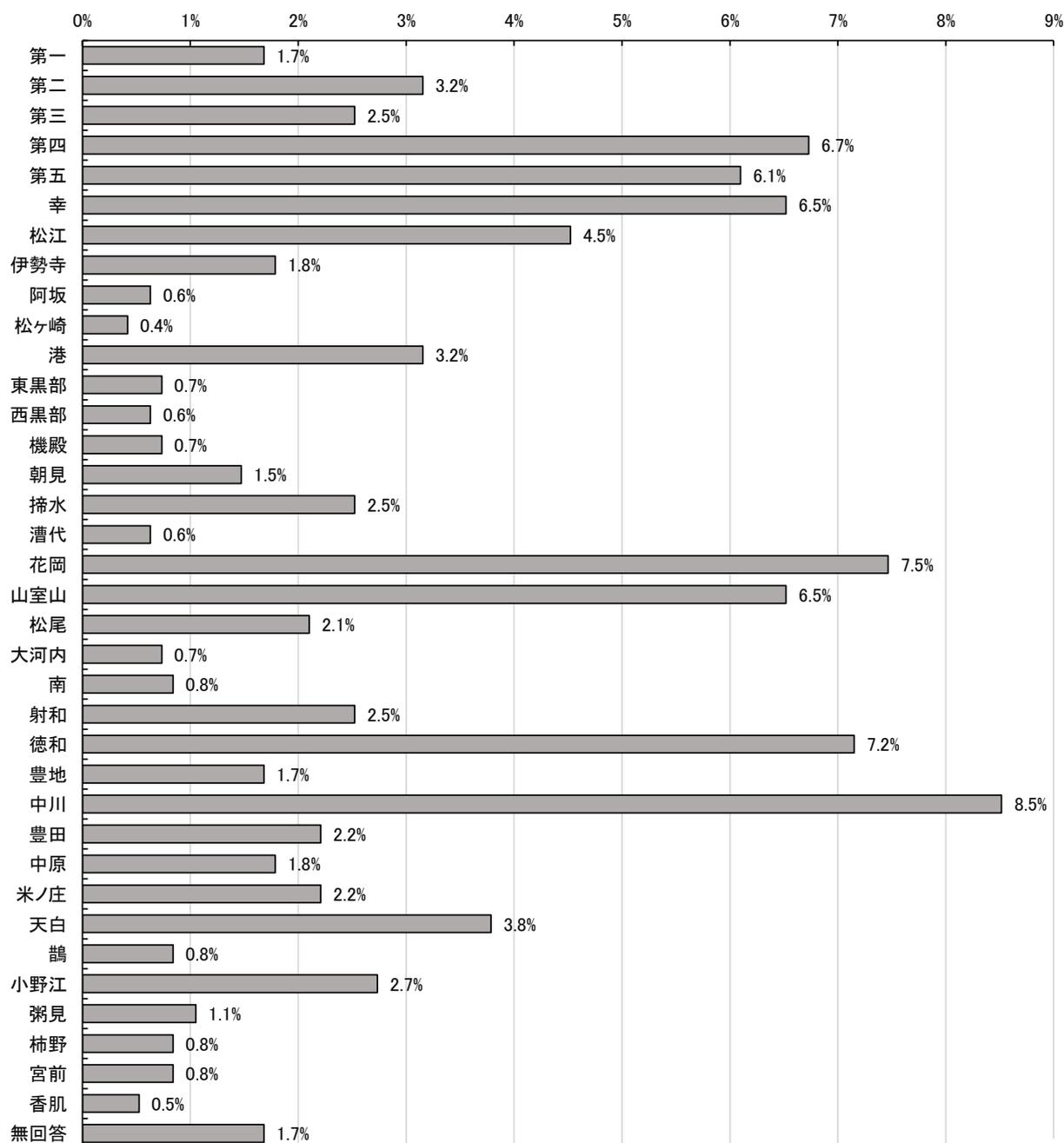
アンケート結果

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地域の小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

お住まいの地域については、「中川」が8.5%と最も高く、次いで「花岡」(7.5%)、「徳和」(7.2%)、「第四」(6.7%)等の順となっています。

【お住まいの地域】

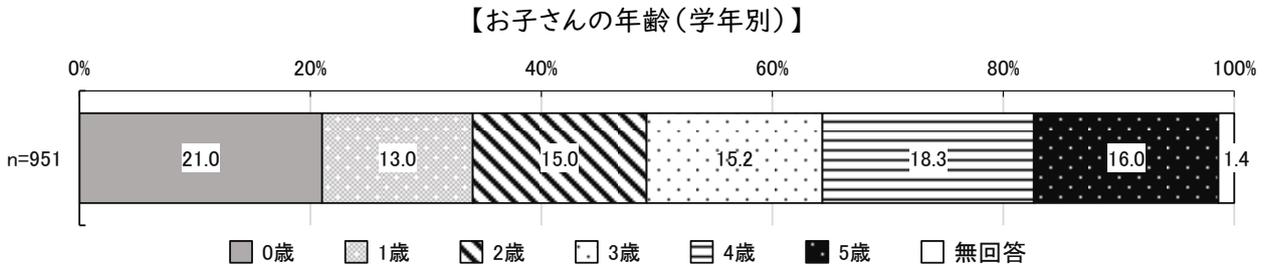


(n=951)

2 お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。()内に数字でご記入ください。

お子さんの年齢については、「0歳」が21.0%と最も高く、次いで「4歳」(18.3%)、「5歳」(16.0%)、「3歳」(15.2%)、「2歳」(15.0%)、「1歳」(13.0%)の順となっています。

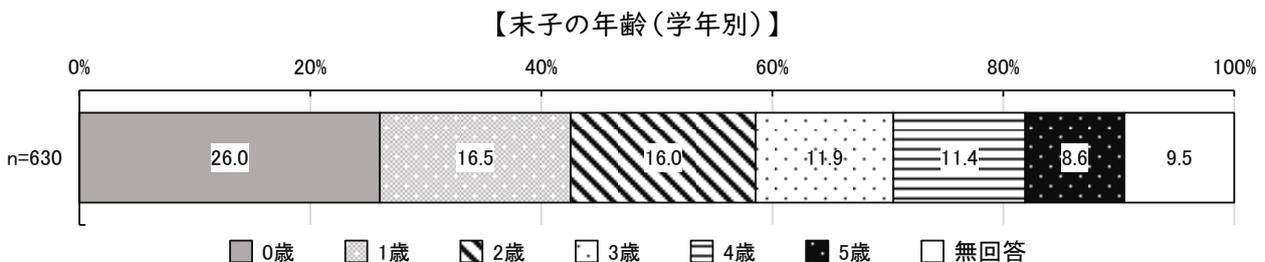


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。また、理想とする子どもの人数を()内に数字をご記入ください。

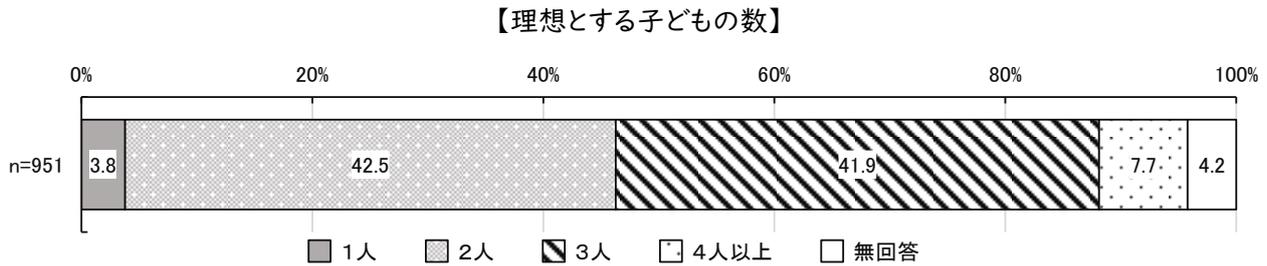
きょうだいの人数については、「2人」が44.1%と最も高く、次いで「1人」(22.9%)、「3人」(17.7%)、「4人以上」(4.5%)の順となっています。



末子の年齢については、「0歳」が26.0%と最も高く、次いで「1歳」(16.5%)、「2歳」(16.0%)、「3歳」(11.9%)、「4歳」(11.4%)、「5歳」(8.6%)の順となっています。

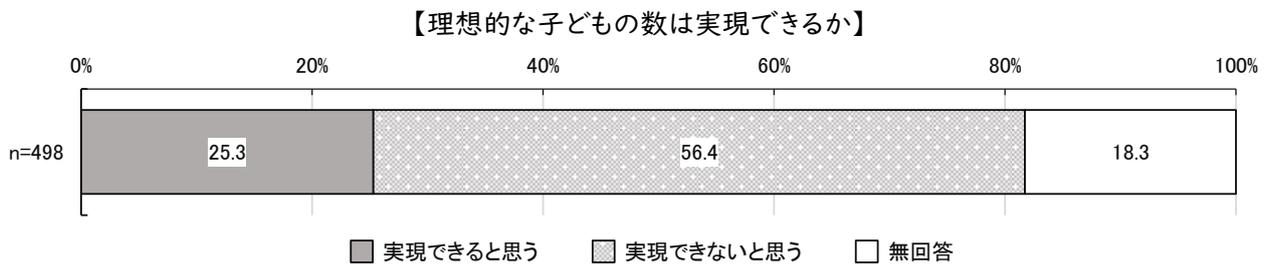


理想とする子どもの数については、「2人」が42.5%と最も高く、次いで「3人」(41.9%)、「4人以上」(7.7%)、「1人」(3.8%)の順となっています。



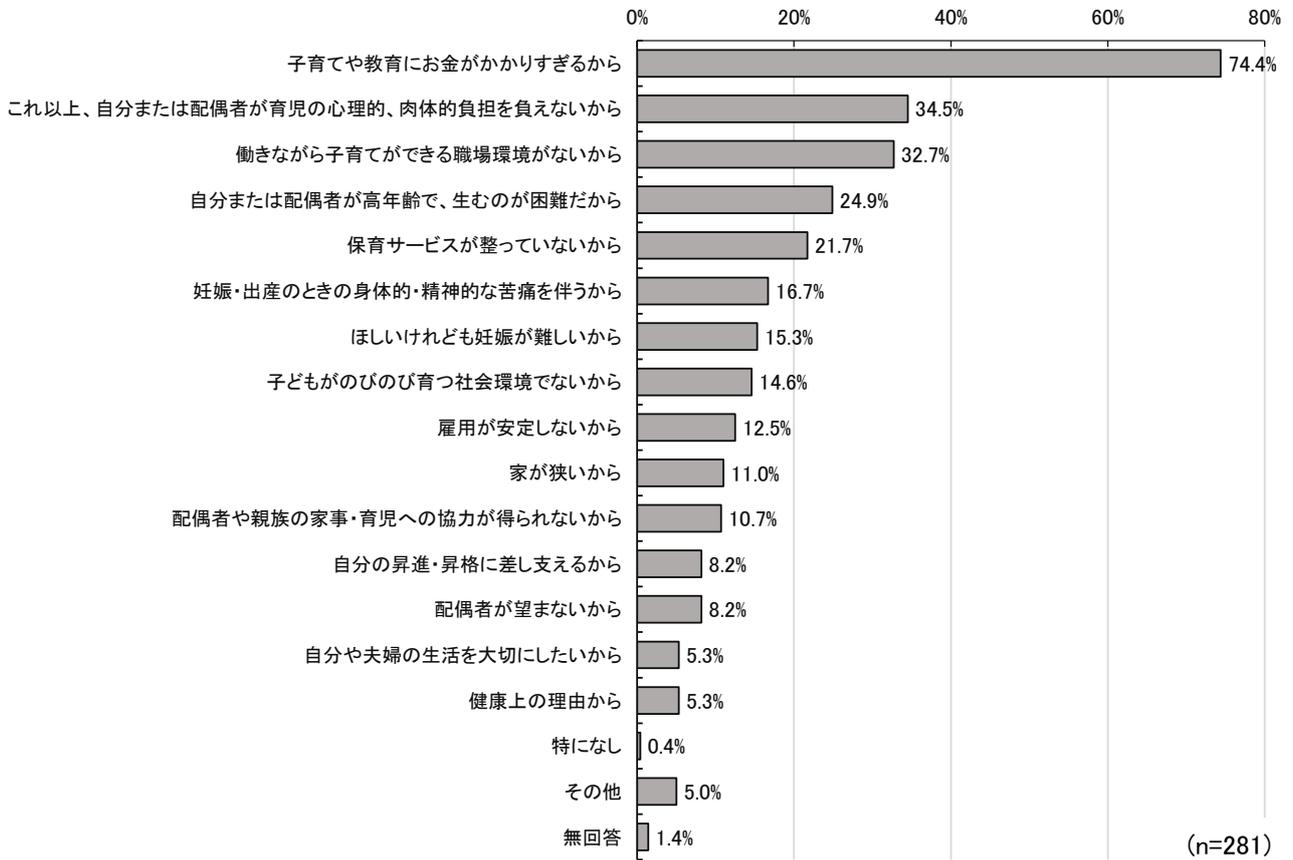
問3-1 問3で理想とする子どもの数について現在のお子さんの数よりも多い人数を答えた方にうかがいます。
 理想的な子どもの数は実現できると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
 また実現できない場合、その理由は何ですか。ア～チの当てはまるものすべてに○をつけてください。

理想的な子どもの数は実現できるかどうかについては、「実現できると思う」が25.3%、「実現できないと思う」が56.4%となっています。



実現できないと思う理由については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が74.4%と最も高く、次いで「これ以上、自分または配偶者が育児の心理的、肉体的負担を負えないから」(34.5%)、「働きながら子育てができる職場環境がないから」(32.7%)、「自分または配偶者が高年齢で、生むのが困難だから」(24.9%)等の順となっています。

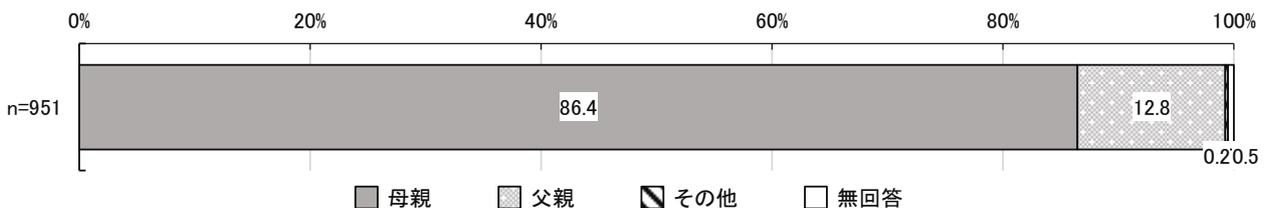
【実現できない理由】



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

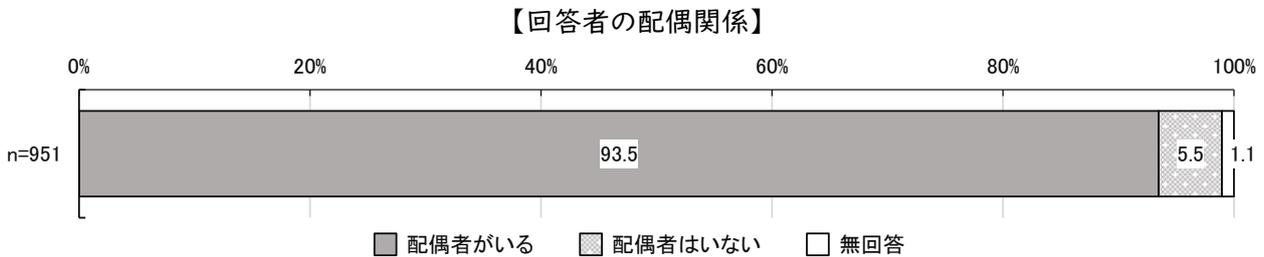
調査票に回答された方については、「母親」が86.4%、「父親」が12.8%となっています。

【調査票の回答者】



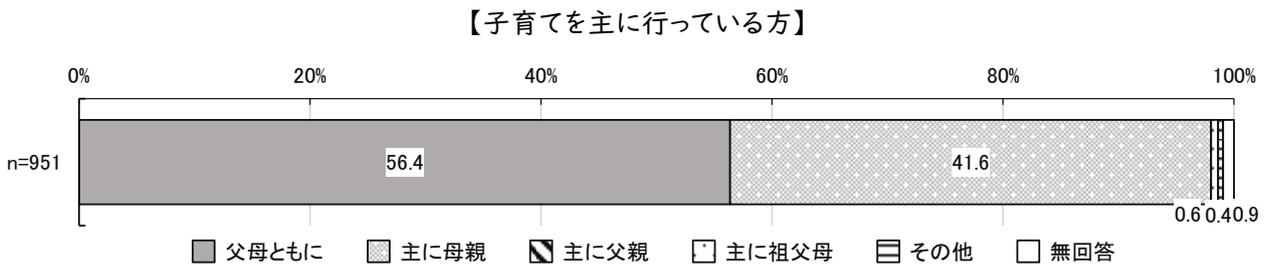
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票に回答された方の配偶関係については、「配偶者がいる」が93.5%、「配偶者はいない」が5.5%となっています。



問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

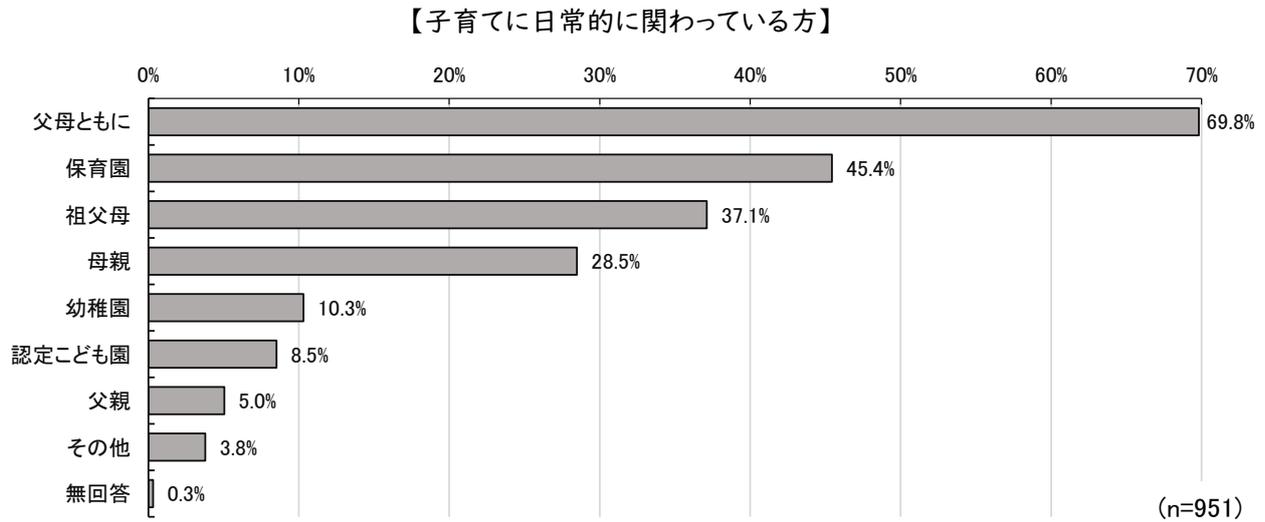
子育てを主に行っている方については、「父母ともに」が56.4%と最も高く、次いで「主に母親」(41.6%)等の順となっています。



3 子どもの育ちをめぐる環境について

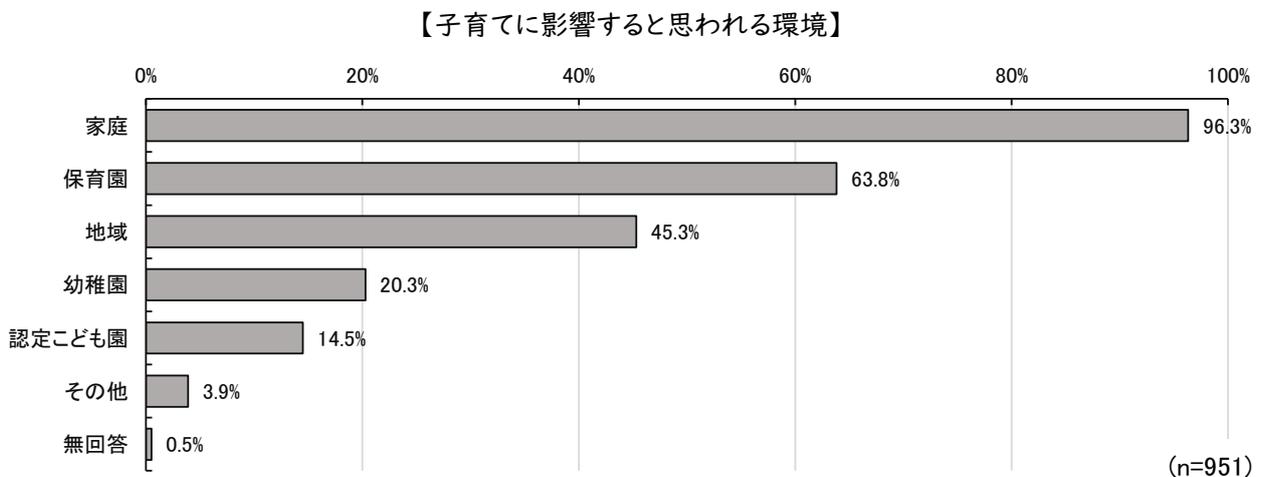
問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

お子さんの子育てに日常的に関わっている方については、「父母ともに」が69.8%と最も高く、次いで「保育園」(45.4%)、「祖父母」(37.1%)、「母親」(28.5%)等の順となっています。



問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

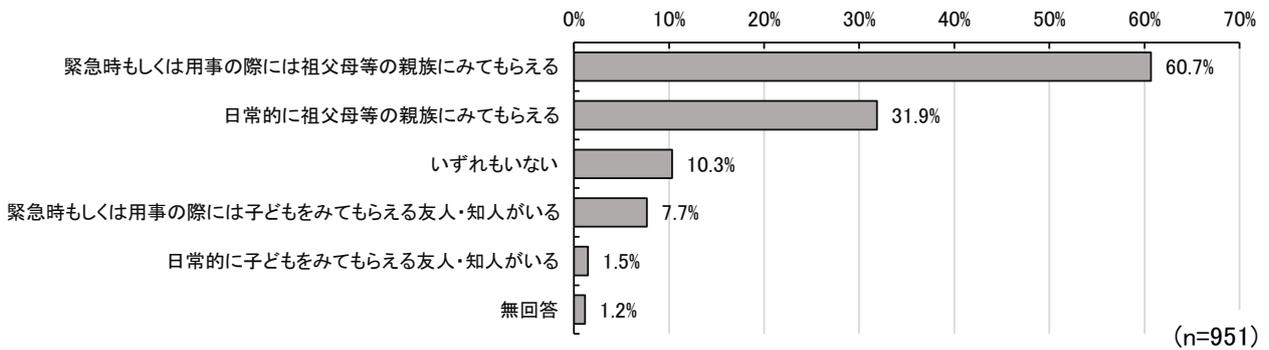
お子さんの子育てに影響すると思われる環境については、「家庭」が96.3%と最も高く、次いで「保育園」(63.8%)、「地域」(45.3%)、「幼稚園」(20.3%)等の順となっています。



問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(31.9%)、「いずれもない」(10.3%)等の順となっています。

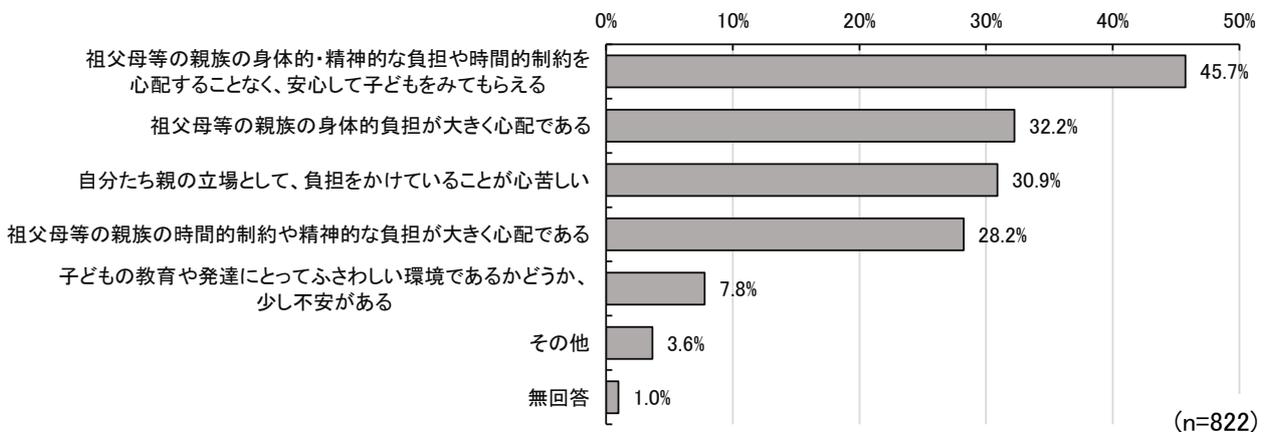
【日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無】



問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が45.7%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(32.2%)、「自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(30.9%)等の順となっています。

【祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について】



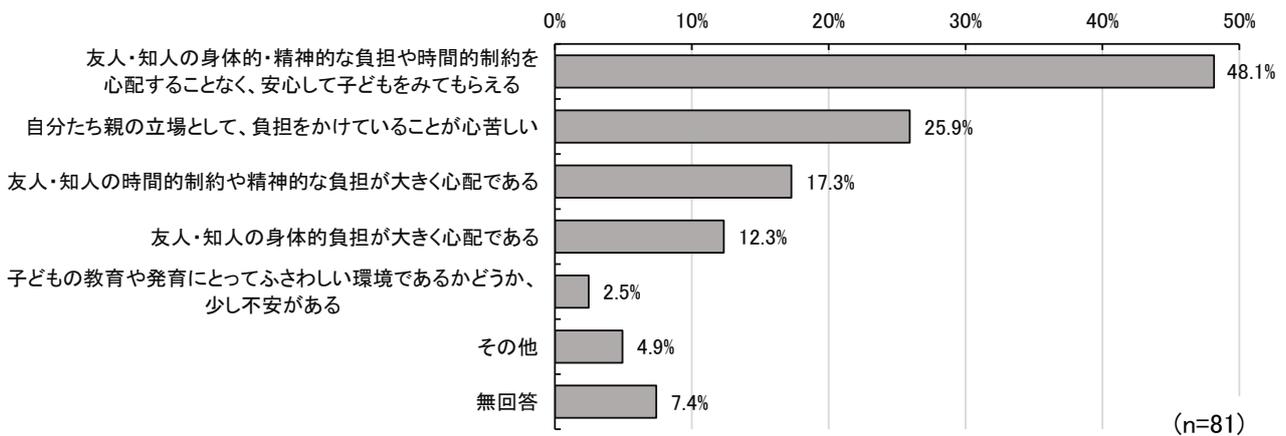
問9-2

問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が48.1%と最も高く、次いで「自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(25.9%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(17.3%)等の順となっています。

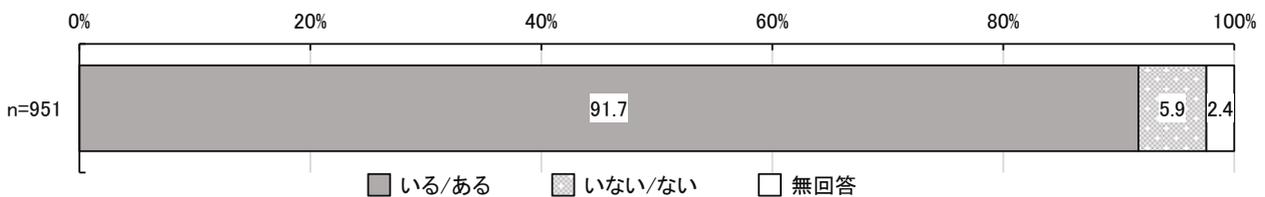
【友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について】

**問10**

日頃、宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

気軽に相談できる人や場所があるかについては、「いる/ある」が91.7%、「いない/ない」が5.9%となっています。

【相談できる人や場所の有無】



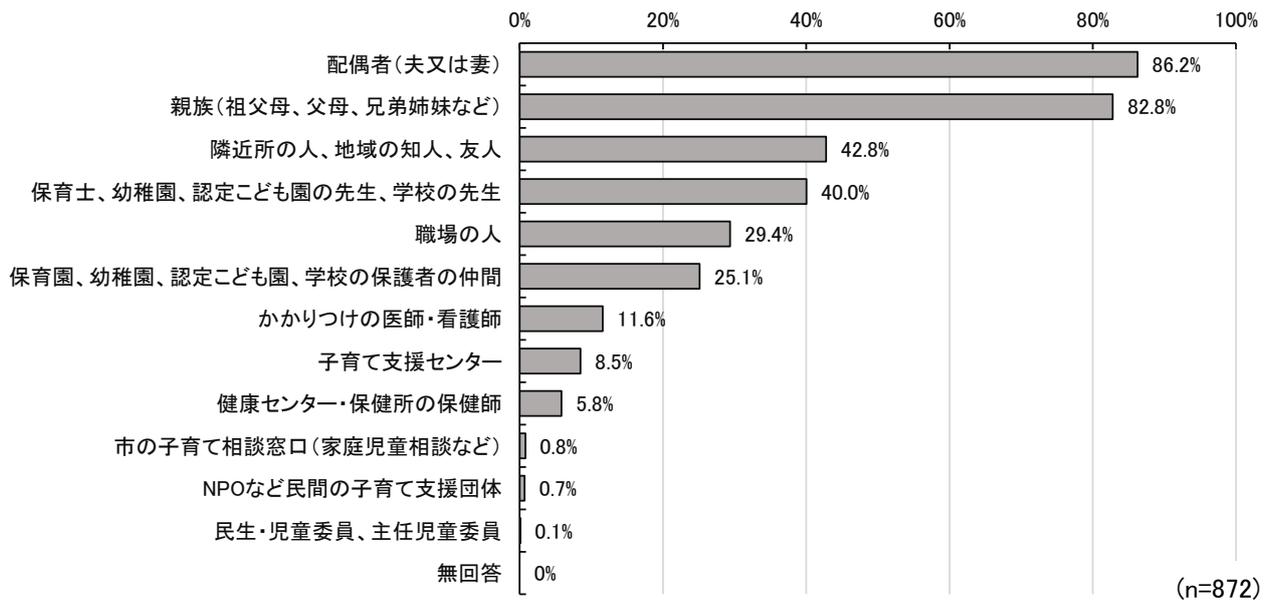
問11

問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

気軽に相談できる人や場所については、「配偶者(夫又は妻)」が86.2%と最も高く、次いで「親族(祖父母、父母、兄弟姉妹など)」(82.8%)、「隣近所の人、地域の知人、友人」(42.8%)、「保育士、幼稚園、認定こども園の先生、学校の先生」(40.0%)等の順となっています。

【気軽に相談できる人や場所】



問12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

仕事との両立についてなど

- 出産しても早く仕事復帰を考えたい。子どもの保育園から自宅までの送迎、体調不良時に預かってもらえる所が身近にあれば助かる。(子どもが安心できる人や環境、日頃から接している必要があると考える)
- 仕事や育児が両立できるようなサポートが欲しい。(夜間や休日が特に)
- 不定休・フルタイムで働いているため、土日祝・終業後まで預けられる場所があると助かります。

相談窓口についてなど

- 困ったときや不安な時に相談したり、話を聞いてもらえる事。
- ライン、メール等で相談できるものがあればいい。

子どもが病気の時のサポートについてなど

- インフルエンザやコロナなど感染した時など、長い期間保育園を休まなければならない時に、長い間仕事を休まなければならないため、心苦しく感じる事があるため、1日や2日でも子どもを預かってもらえるサポートがあれば良いと感じる。
- 子どもが風邪の時の預け先の充実

金銭的な援助についてなど

- 保育料、無償化(0~3歳)
- ベビーシッターや託児所などお金がかかるのでもっと無料や安く利用できるようになってほしい。
- 小学生給食費無償、減額。

子育ての情報についてなど

- 必要な情報を個々に聞き取りしてくれ、親身になって相談に乗ってくれるサポートが必要だと思う。

遊び場などについて

- 近所に公園が少ない。住宅が増えてきているにも関わらず、少ないのが気になる。
- 子育てに疲れたとき、遊びに行けるセンターみたいな場所があれば良いと思う。子育て支援センターは、未就園児のみだから。
- 子どもの参加できるイベントや子ども連れでも行きやすいお店が増えると嬉しい。

子どもの預け先についてなど

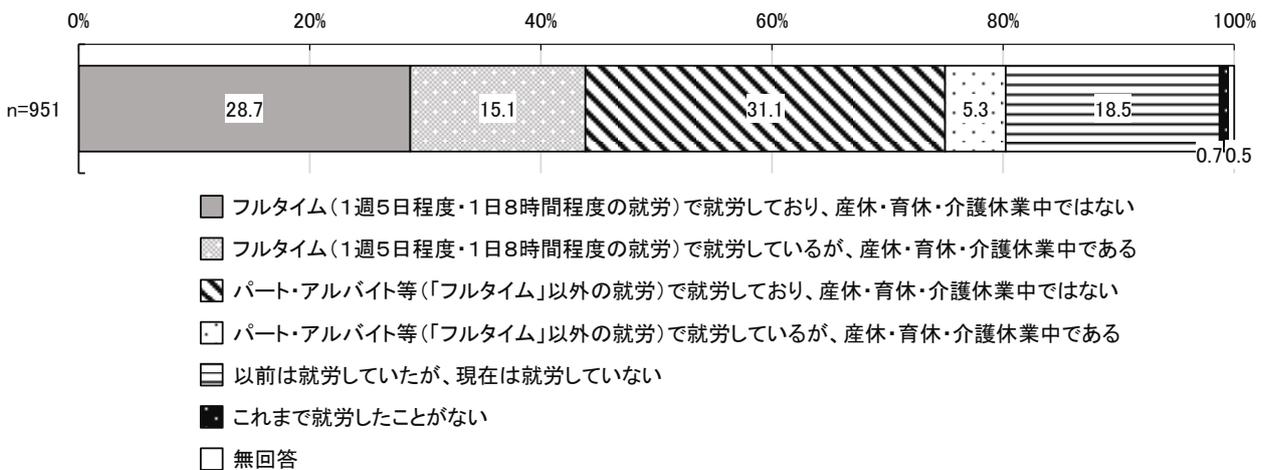
- 親族ではなく、近所の地域等で気軽に預けたりできる施設等があればありがたいと思う。
- 自分の時間を作りたい時に、1時間など短時間でもいいので息抜きできる時間を作れるような(気兼ねなく)環境やサポートは必要だと思います。

4 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問13 宛名のお子さんの「母親」の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

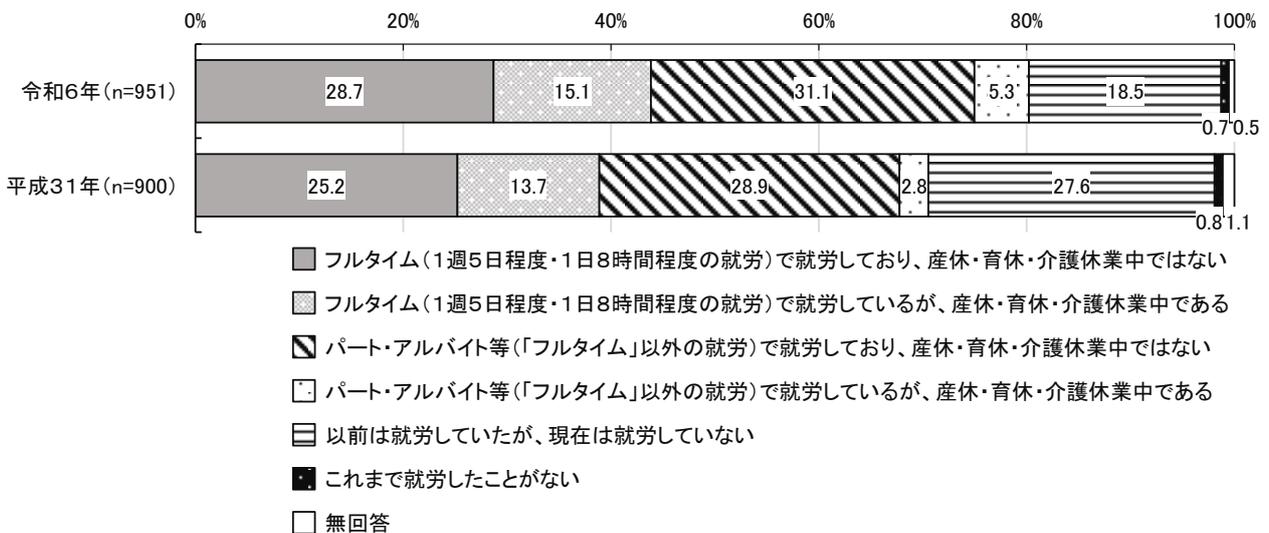
母親の就労状況については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.1%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（28.7%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（18.5%）等の順となっています。

【「母親」の就労状況】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「フルタイム」が4.9ポイント割合が高く、「就労していない」が9.1ポイント低くなっています。

【前回比較】

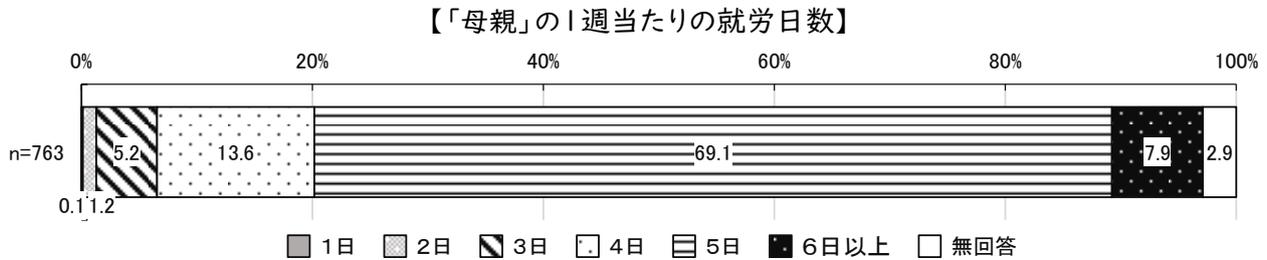


問13-1

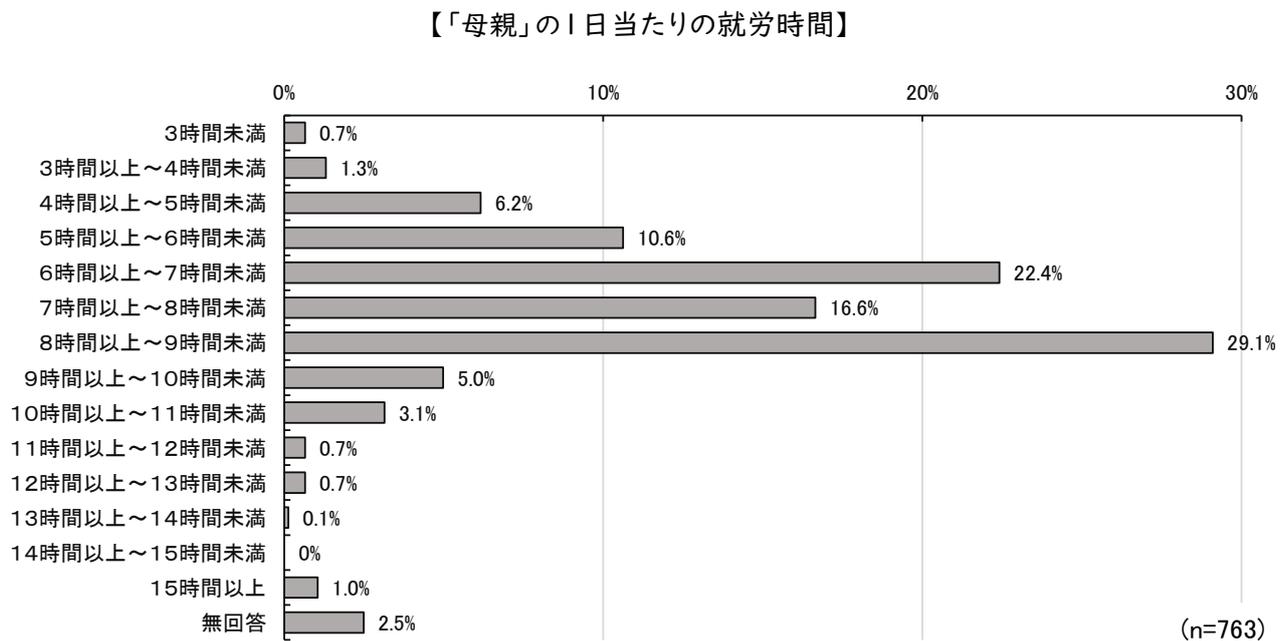
問13で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」についてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（ ）内に数字でご記入ください。

1週当たりの就労日数については、「5日」が69.1%と最も高く、次いで「4日」（13.6%）、「6日以上」（7.9%）等の順となっています。



1日当たりの就労時間については、「8時間以上～9時間未満」が29.1%と最も高く、次いで「6時間以上～7時間未満」（22.4%）、「7時間以上～8時間未満」（16.6%）等の順となっています。



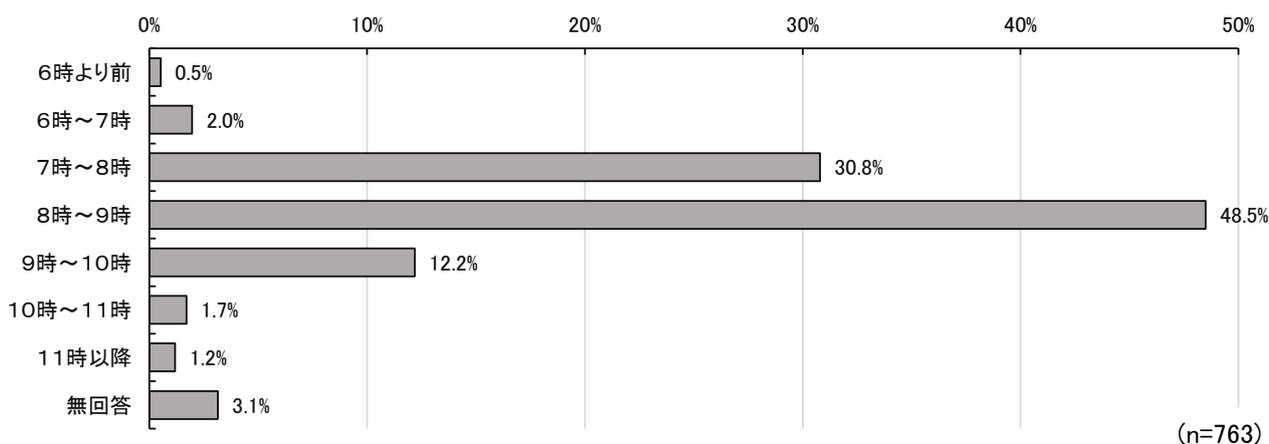
問13-2

問13で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

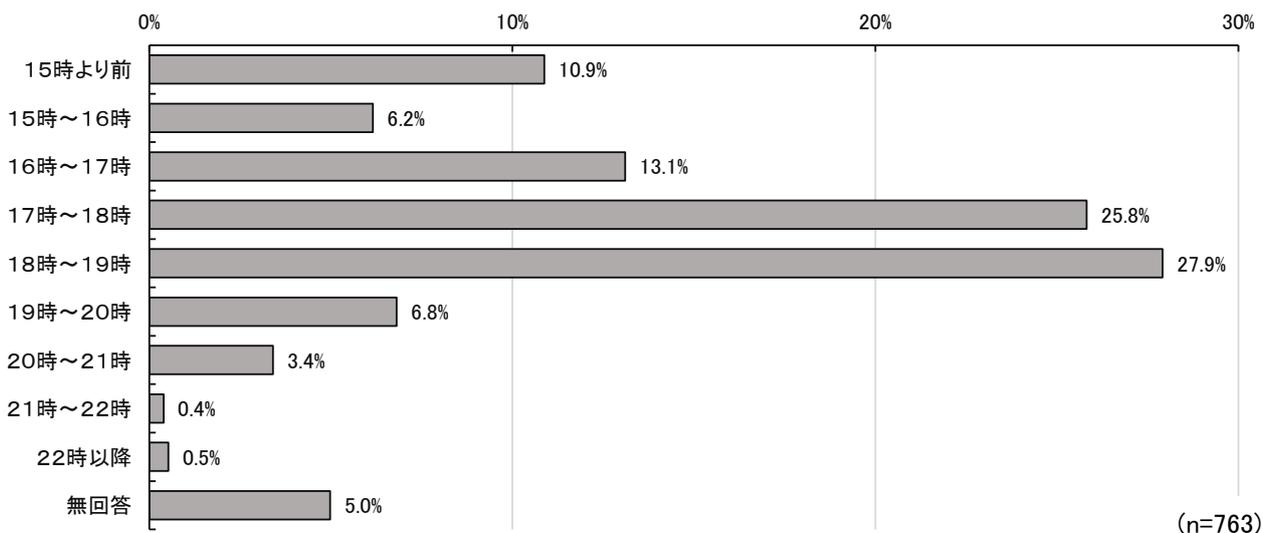
家を出る時刻については、「8時から9時」が48.5%と最も高く、次いで「7時~8時」(30.8%)、「9時~10時」(12.2%)等の順となっています。

【「母親」の家を出る時刻】



帰宅時刻については、「18時~19時」が27.9%と最も高く、次いで「17時~18時」(25.8%)、「16時~17時」(13.1%)等の順となっています。

【「母親」の帰宅時刻】



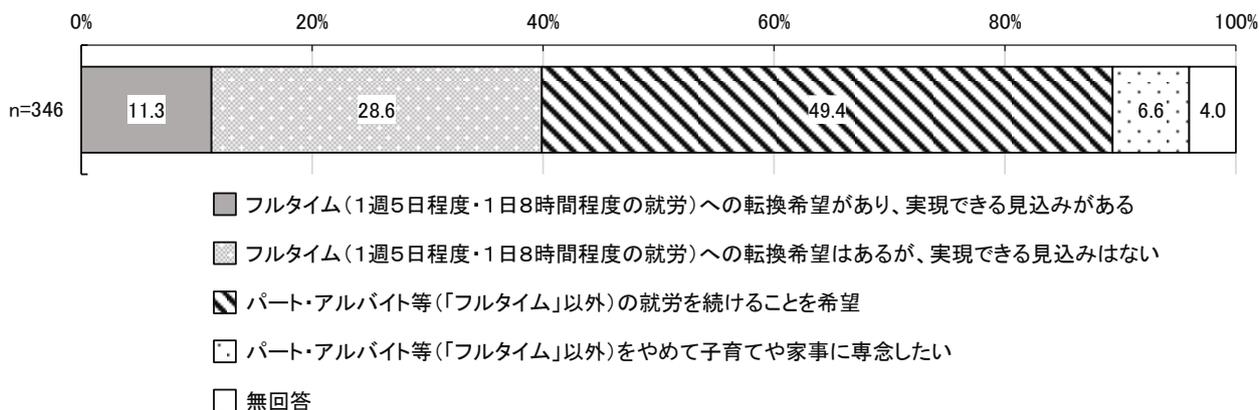
問13-3

問13で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が49.4%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（28.6%）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」（11.3%）、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」（6.6%）の順となっています。

【「母親」のフルタイムへの転換希望】



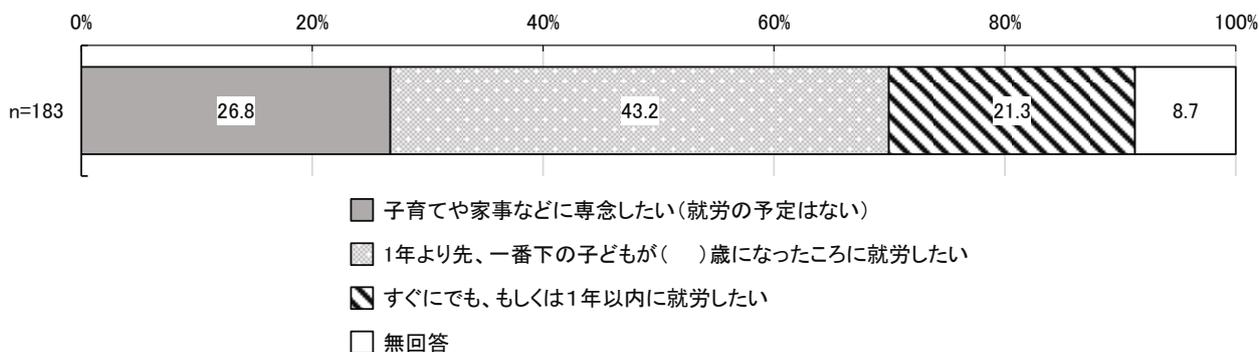
問13-4

問13で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

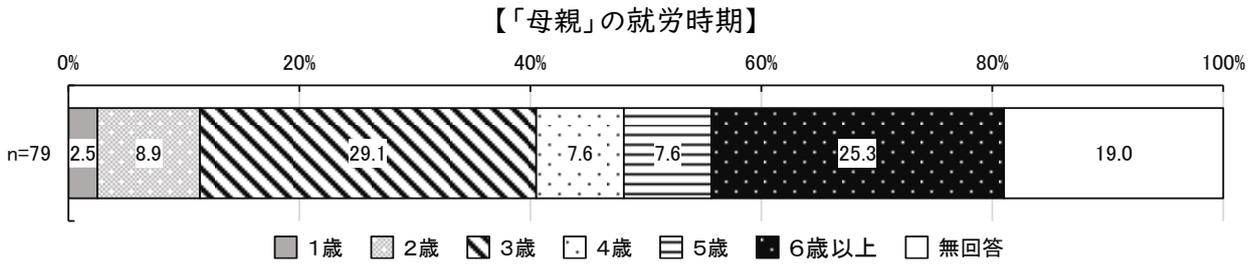
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。

就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が43.2%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」（26.8%）、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（21.3%）の順となっています。

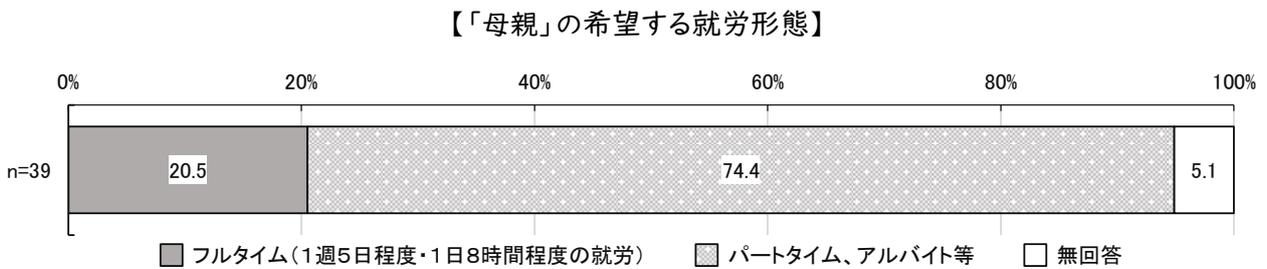
【「母親」の就労希望】



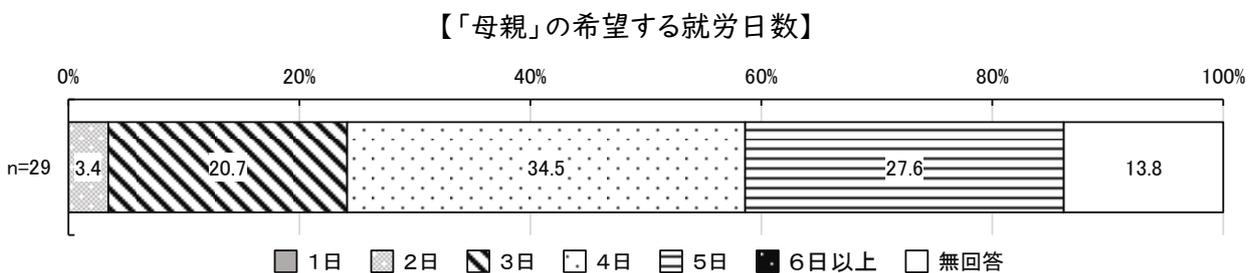
「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」については、「3歳」が29.1%と最も高く、次いで「6歳以上」(25.3%)、「2歳」(8.9%)等の順となっています。



「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」が74.4%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が20.5%となっています。

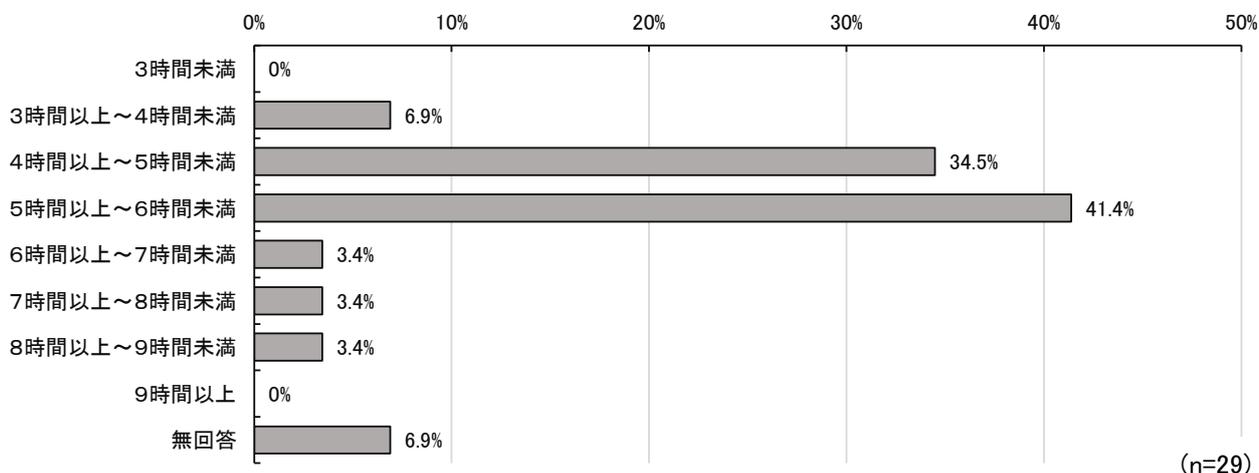


「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」を選んだ方の1週当たり就労日数については、「4日」が34.5%と最も高く、次いで「5日」(27.6%)、「3日」(20.7%)等の順となっています。



「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」を選んだ方の1日当たり就労時間については、「5時間以上～6時間未満」が41.4%と最も高く、次いで「4時間以上～5時間未満」（34.5%）、「3時間以上～4時間未満」（6.9%）等の順となっています。

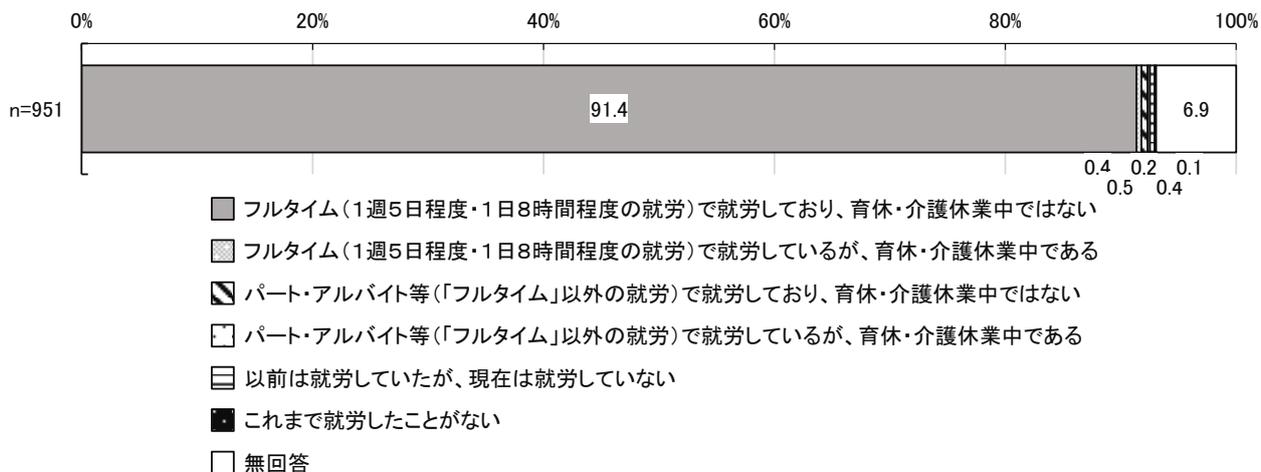
【「母親」の希望する就労時間】



問14 宛名のお子さんの「父親」の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

父親の就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が91.4%と最も高くなっています。

【「父親」の就労状況】



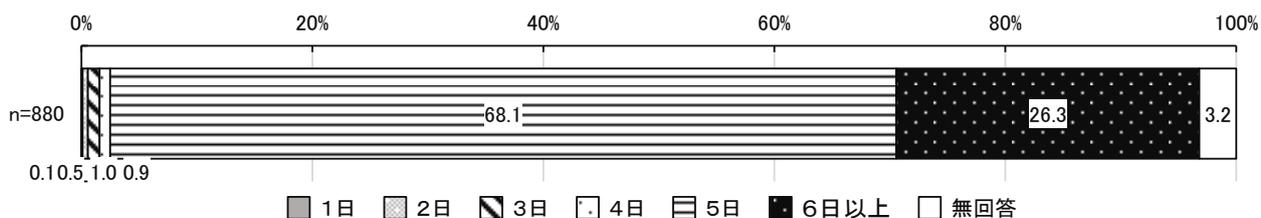
問14-1

問14で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」についてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（ ）内に数字でご記入ください。

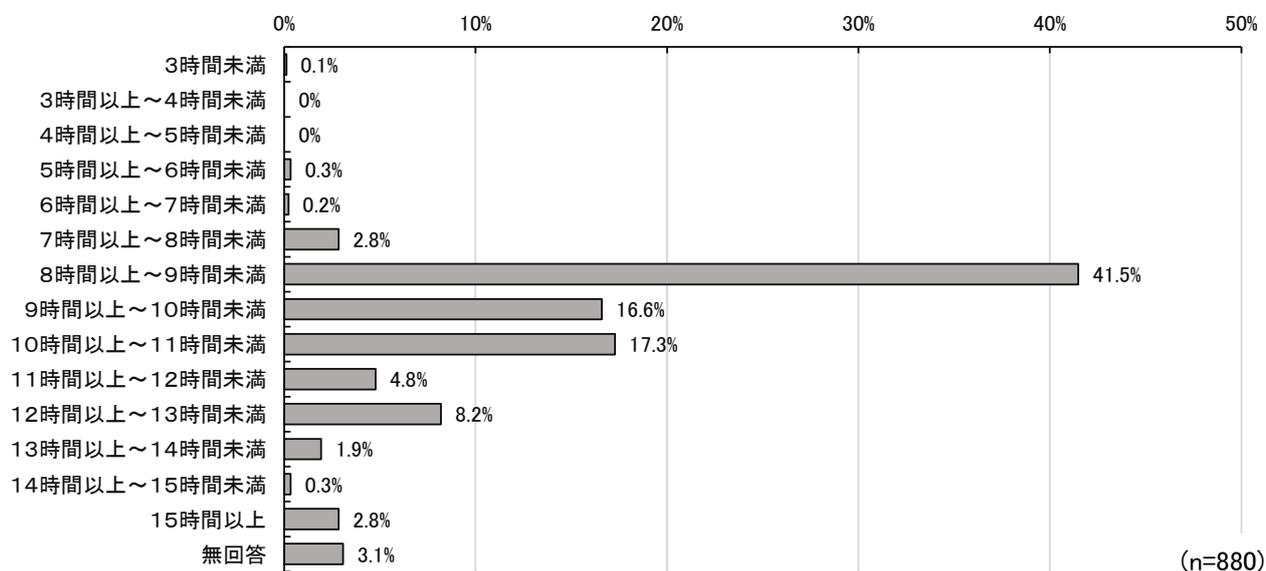
1週当たりの就労日数については、「5日」が68.1%と最も高く、次いで「6日以上」が26.3%となっています。

【「父親」の1週当たりの就労日数】



1日当たりの就労時間については、「8時間以上～9時間未満」が41.5%と最も高く、次いで「10時間以上～11時間未満」（17.3%）、「9時間以上～10時間未満」（16.6%）等の順となっています。

【「父親」の1日当たりの就労時間】



(n=880)

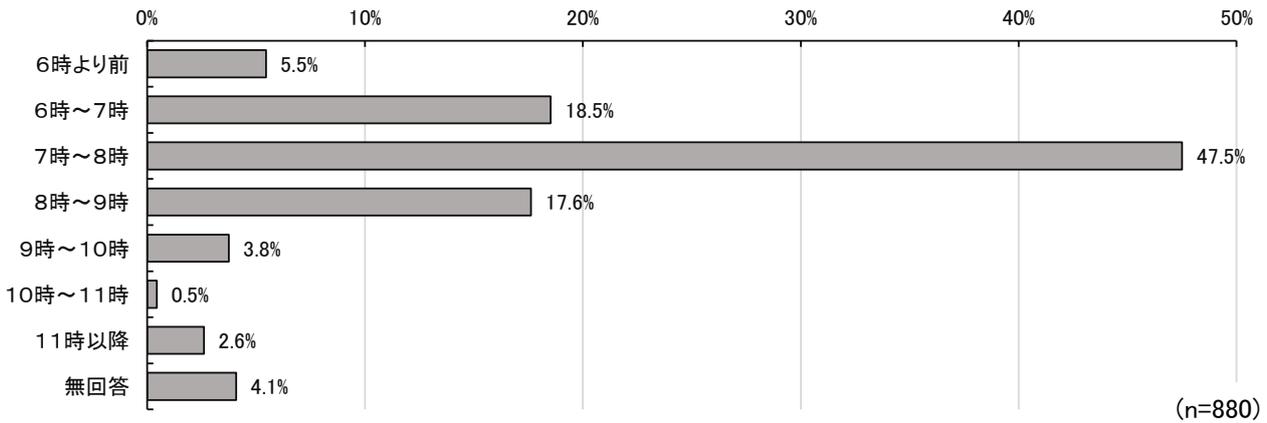
問14-2

問14で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

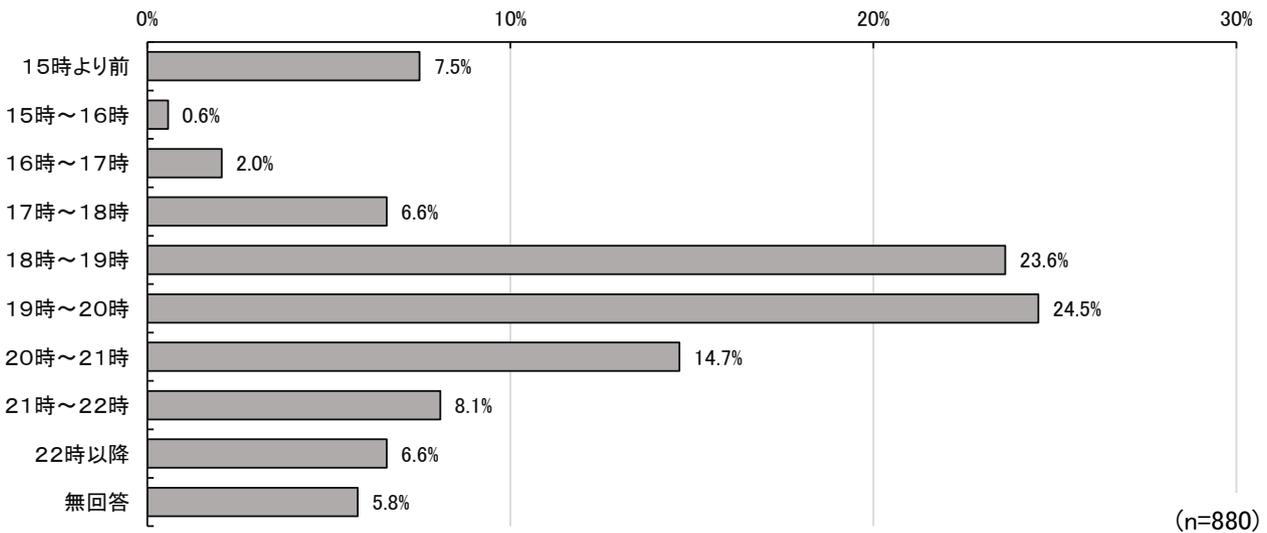
家を出る時刻については、「7時~8時」が47.5%と最も高く、次いで「6時~7時」(18.5%)、「8時~9時」(17.6%)等の順となっています。

【「父親」の家を出る時刻】



帰宅時刻については、「19時~20時」が24.5%と最も高く、次いで「18時~19時」(23.6%)、「20時~21時」(14.7%)等の順となっています。

【「父親」の帰宅時刻】



問14-3

問14で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

フルタイムへの転換希望については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ1件、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が5件となっています。

問14-4

問14で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。

就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が5件となっています。

「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」については、有効回答はありません。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が3件となっています。

問15

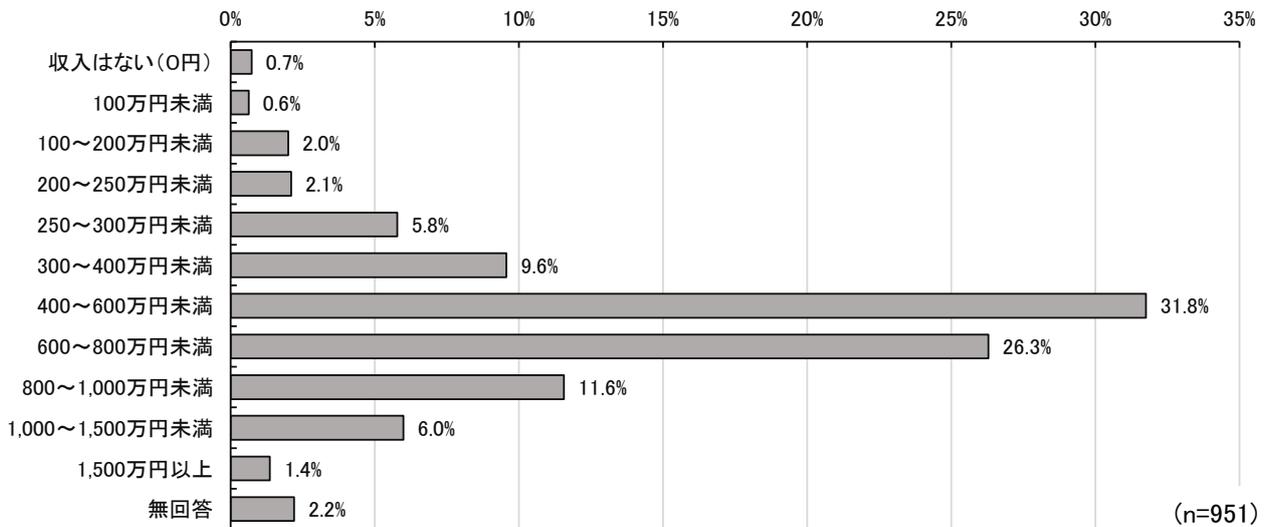
宛名のお子さんと生計をともにしている世帯全員の方の、おおよその年間収入(税込)はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※収入には、勤労収入(パート・アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金、仕送りや元配偶者からの養育費を含みます

※複数の収入源がある場合(父親が勤労収入、母親が事業収入など)は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

お子さんと生計をともにしている世帯全員の年間収入については、「400～600万円未満」が31.8%と最も高く、次いで「600～800万円未満」(26.3%)、「800～1,000万円未満」(11.6%)等の順となっています。

【世帯年収】

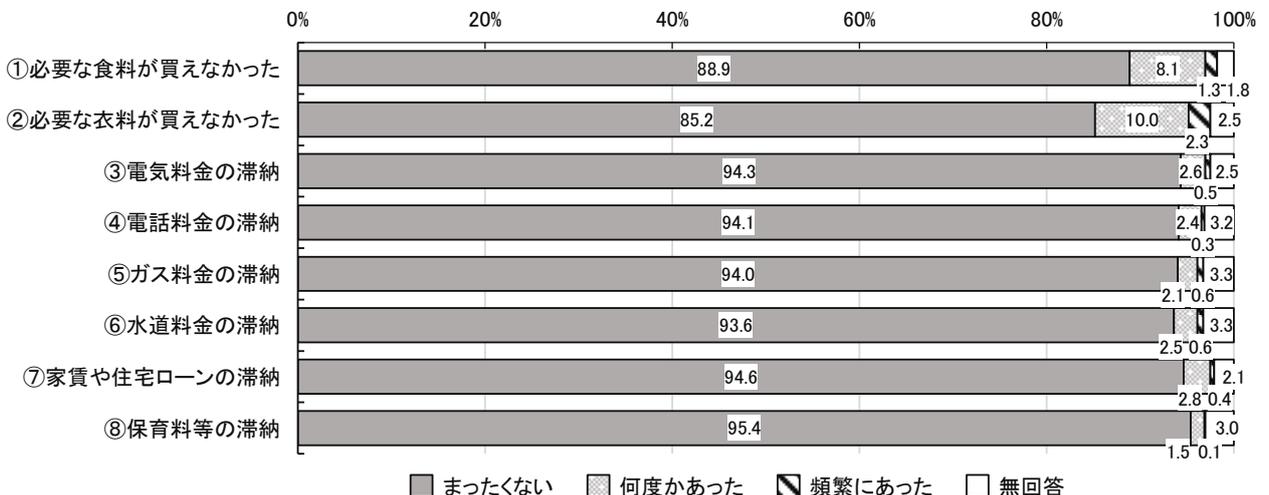


問16

あなたの世帯(家庭)では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。①～⑧の項目ごとに、当てはまる番号1つに○をつけてください。

経済的な理由による経験については、「何度かあった」では、②必要な衣料が買えなかったが10.0%と最も高く、次いで①必要な食料が買えなかった(8.1%)、⑦家賃や住宅ローンの滞納(2.8%)等の順となっています。

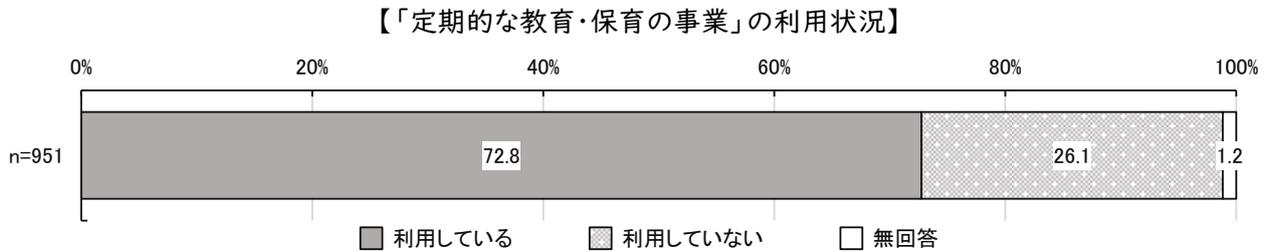
【経済的な理由による経験】



5 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

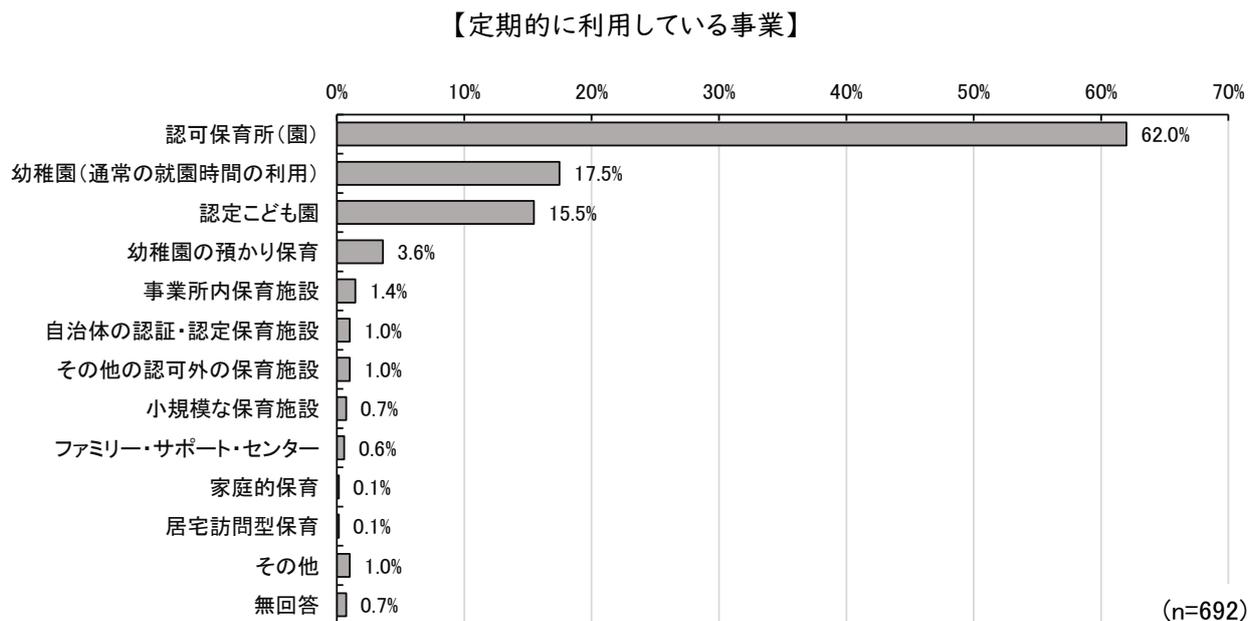
問17 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「定期的な教育・保育の事業」の利用状況については、「利用している」が72.8%、「利用していない」が26.1%となっています。

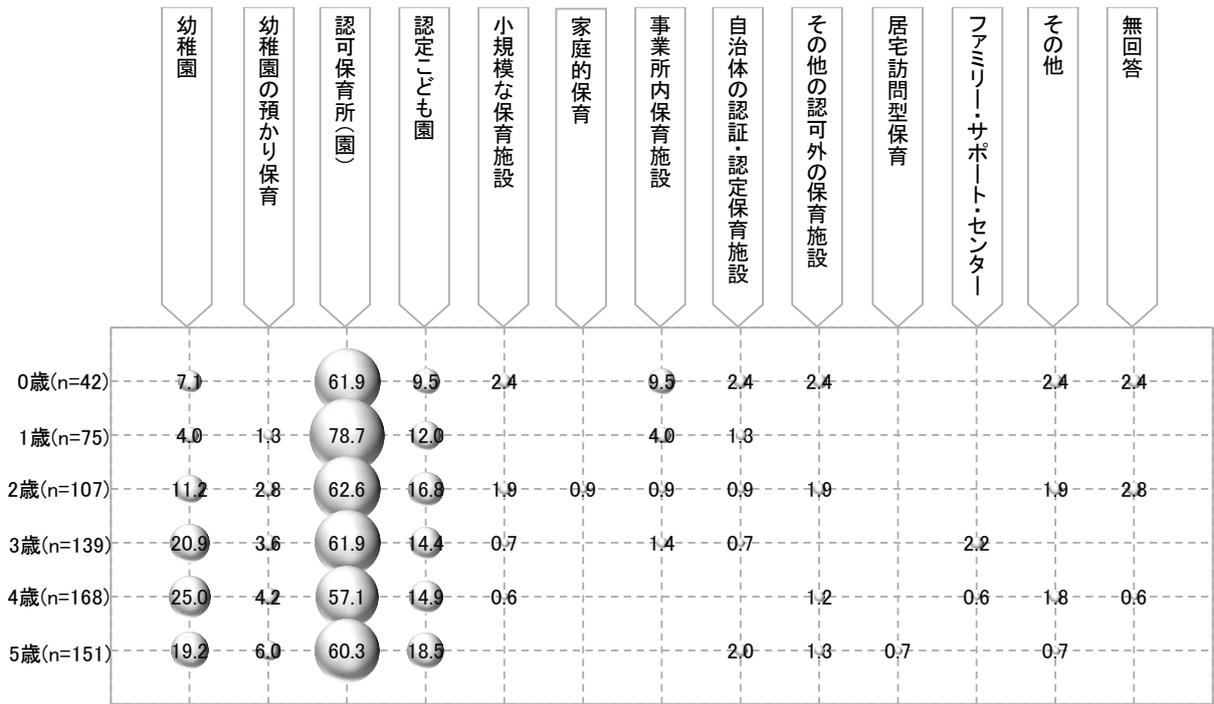


問17-1 問17-1～問17-4は、問17で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※6、8、10の事業については、現在松阪市内では実施されていません。

お子さんが定期的に利用している事業については、「認可保育所(園)」が62.0%と最も高く、次いで「幼稚園(通常の就園時間の利用)」(17.5%)、「認定こども園」(15.5%)等の順となっています。



年齢別でみると、0～5歳の年齢すべてで「認可保育所（園）」の割合が高く、1歳では7割を超えています。また、3歳以上では「幼稚園」の割合が高くなっています。

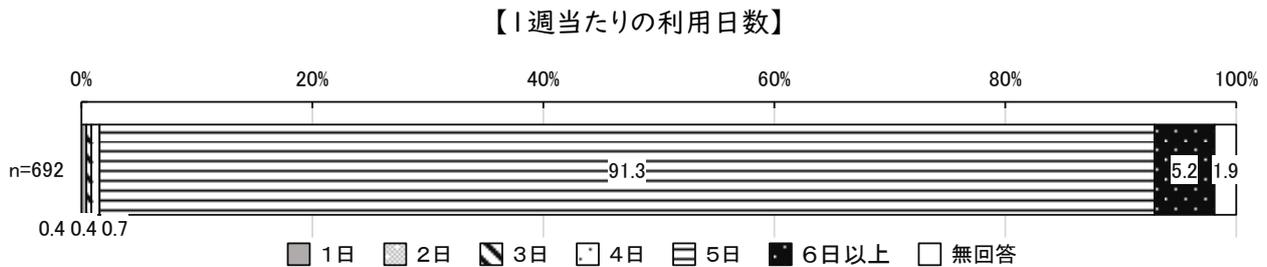


問17-2

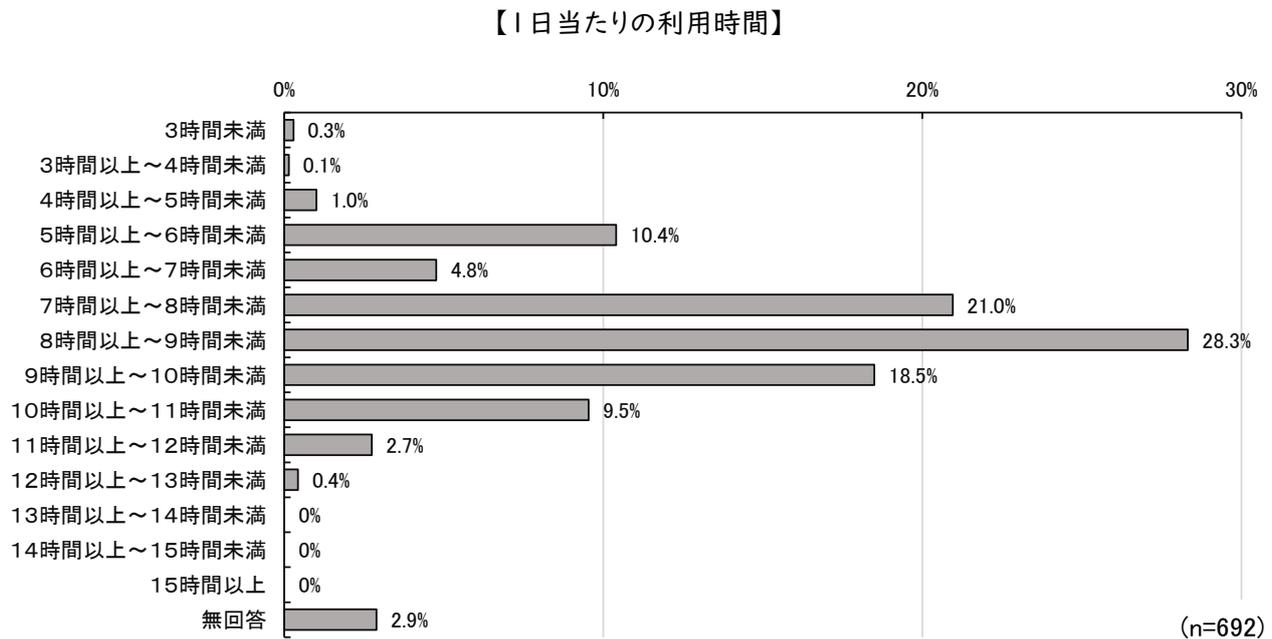
平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たりの利用日数については、「5日」が91.3%と最も高くなっています。

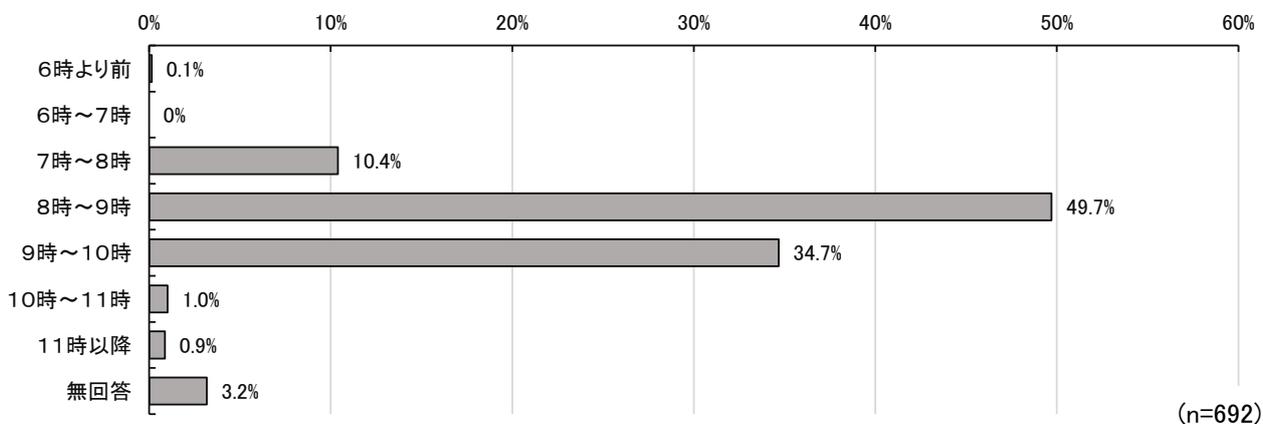


1日当たりの利用時間については、「8時間以上～9時間未満」が28.3%と最も高く、次いで「7時間以上～8時間未満」（21.0%）、「9時間以上～10時間未満」（18.5%）等の順となっています。



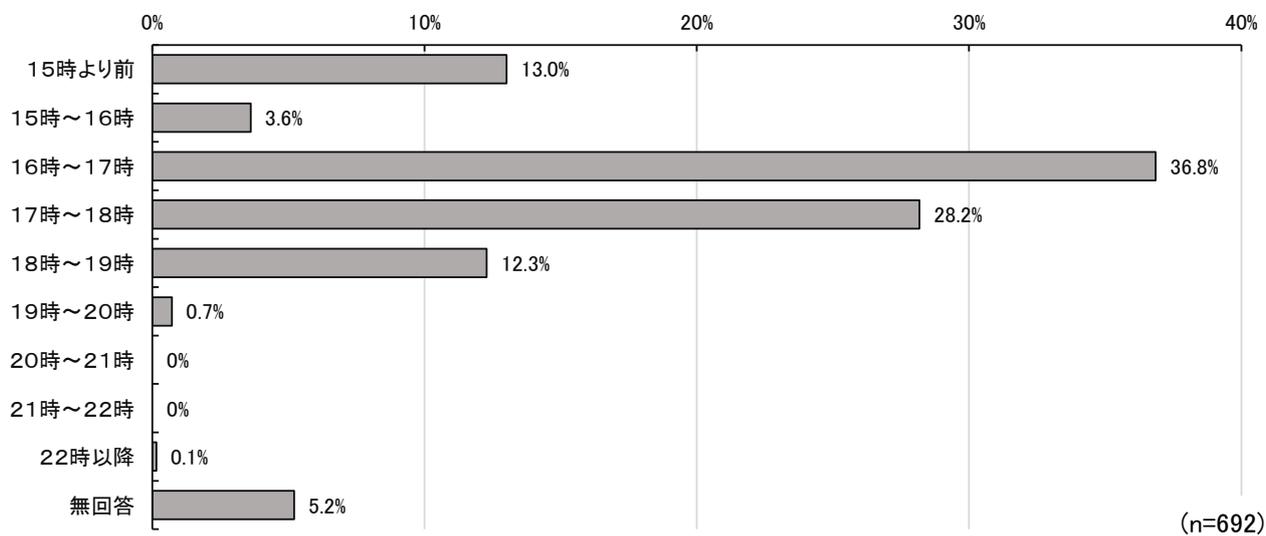
開始時刻については、「8時から9時」が49.7%と最も高く、次いで「9時～10時」(34.7%)、「7時～8時」(10.4%)等の順となっています。

【利用開始時刻】



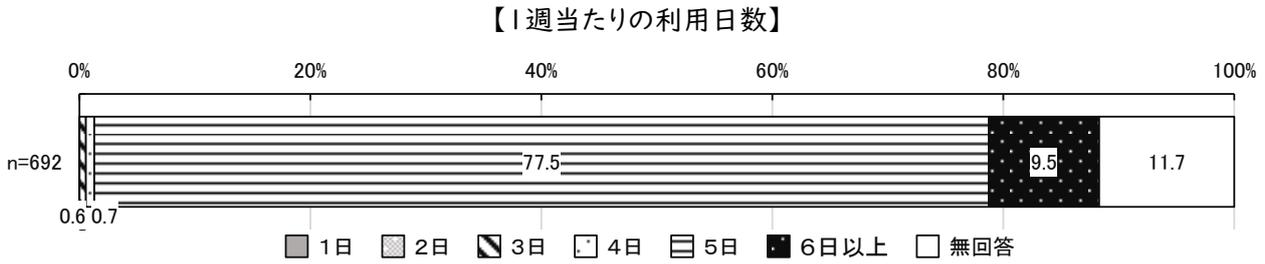
終了時刻については、「16時～17時」が36.8%と最も高く、次いで「17時～18時」(28.2%)、「15時より前」(13.0%)等の順となっています。

【利用終了時刻】

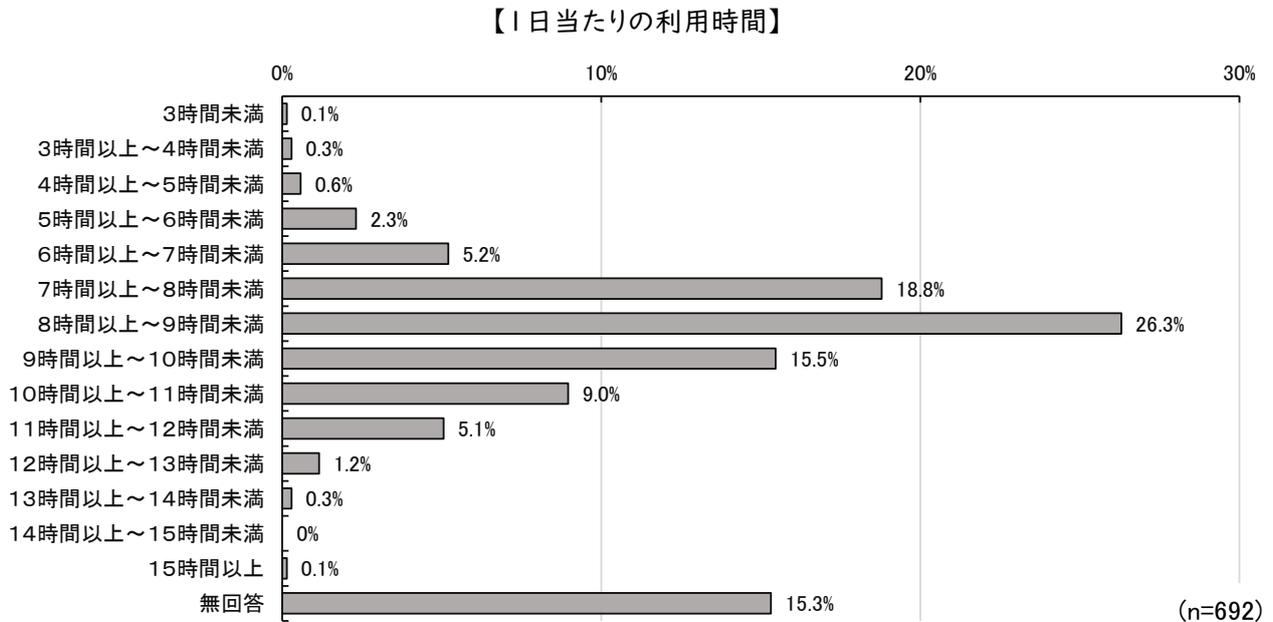


(2) 希望

1週当たりの利用日数については、「5日」が77.5%と最も高く、次いで「6日以上」が9.5%となっています。

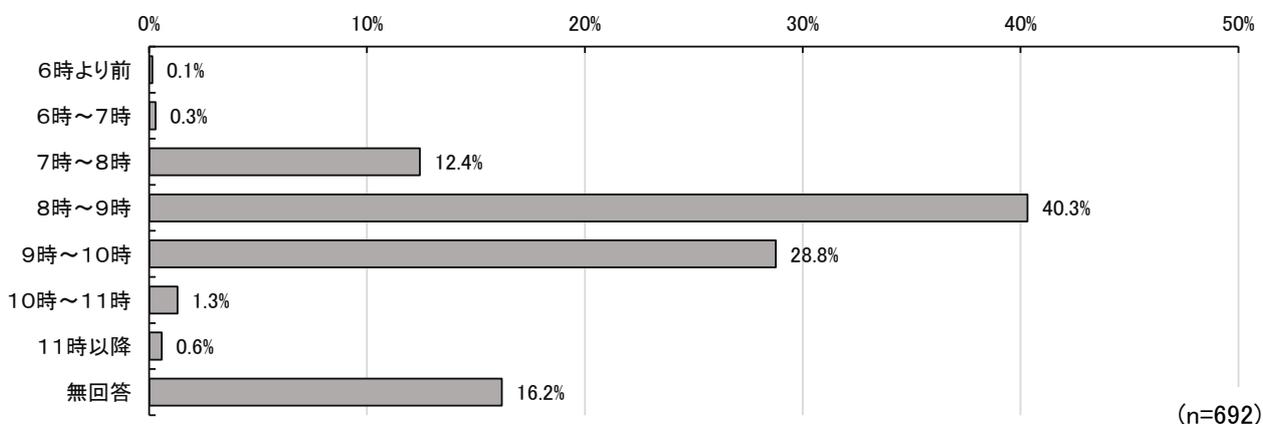


1日当たりの利用時間については、「8時間以上～9時間未満」が26.3%と最も高く、次いで「7時間以上～8時間未満」(18.8%)、「9時間以上～10時間未満」(15.5%)等の順となっています。



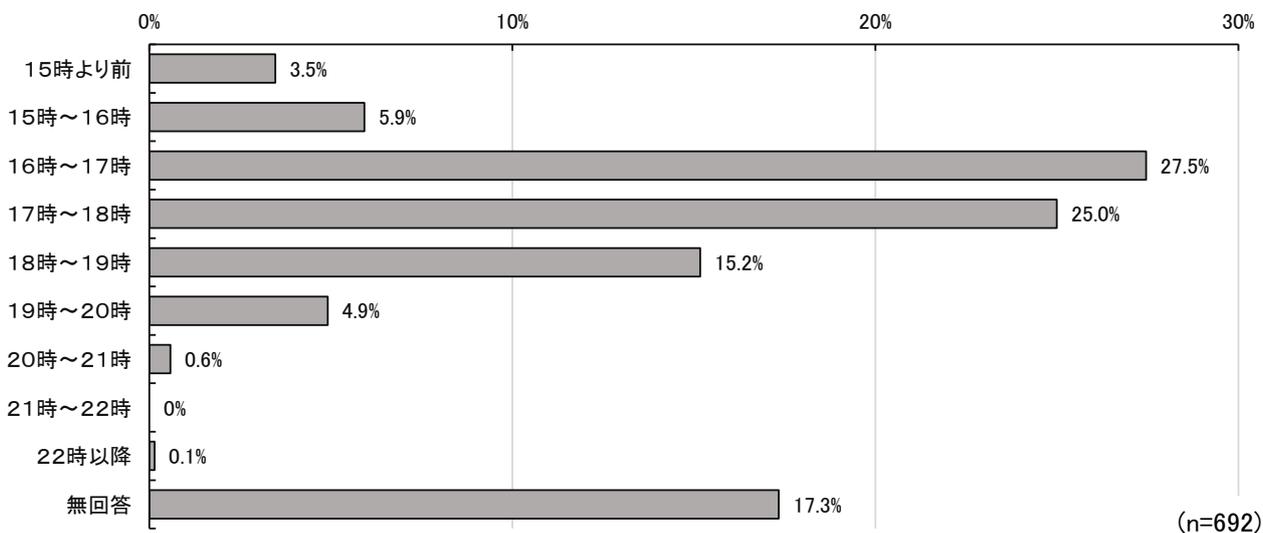
利用開始時刻については、「8時～9時」が40.3%と最も高く、次いで「9時～10時」(28.8%)、「7時～8時」(12.4%)等の順となっています。

【利用開始時刻】



利用終了時刻については、「16時～17時」が27.5%と最も高く、次いで「17時～18時」(25.0%)、「18時～19時」(15.2%)等の順となっています。

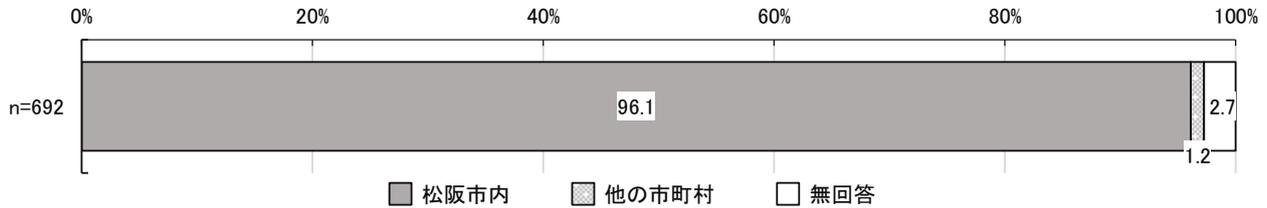
【利用終了時刻】



問17-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

利用している教育・保育事業の実施場所については、「松阪市内」が96.1%、「他の市町村」が1.2%となっています。

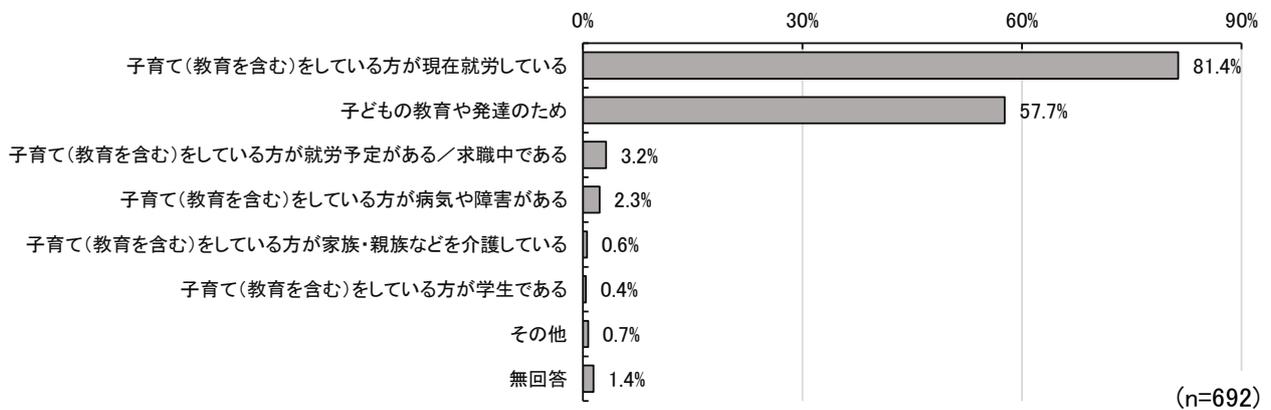
【利用している教育・保育事業の実施場所】



問17-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

定期的に教育・保育の事業を利用している理由については、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が81.4%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(57.7%)等の順となっています。

【教育・保育の事業を利用している理由】



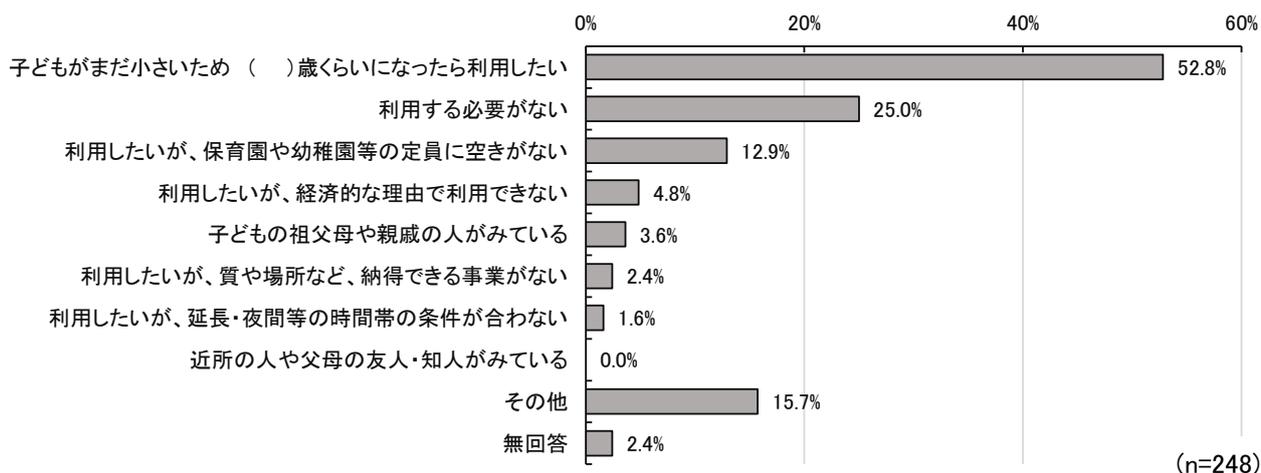
問17-5

問17で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

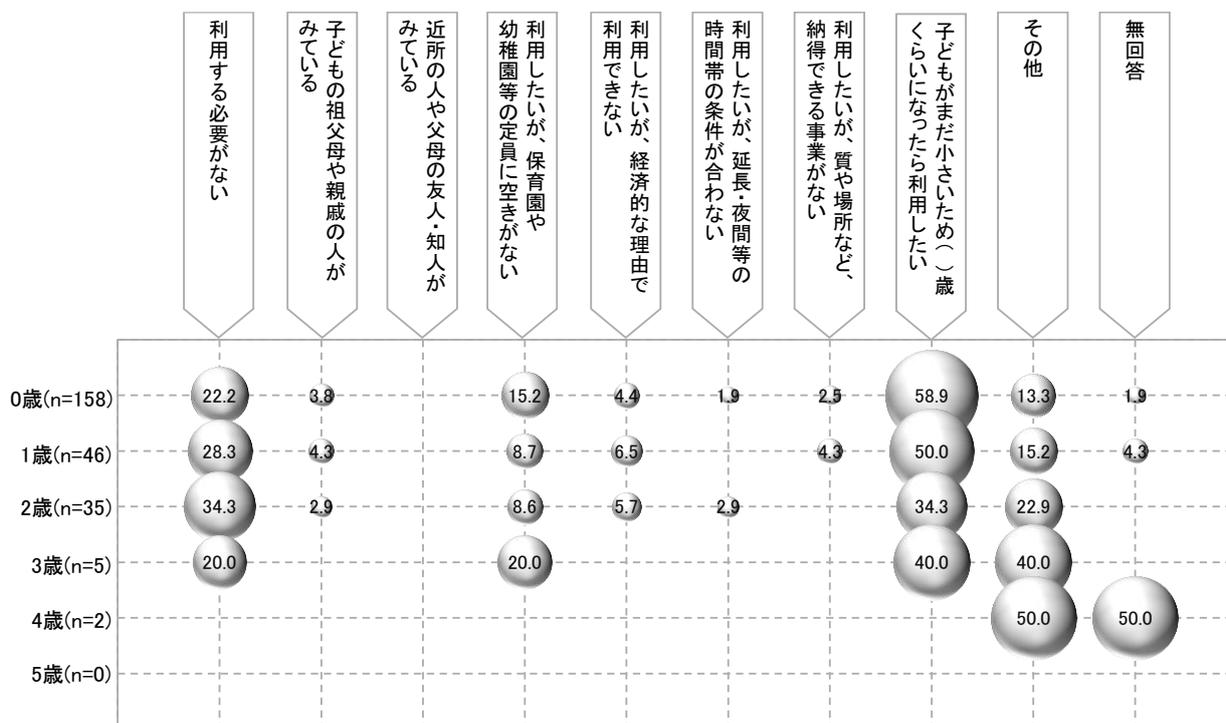
利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用したい」が52.8%と最も高く、次いで「利用する必要がない」(25.0%)、「利用したいが、保育園や幼稚園等の定員に空きがない」(12.9%)等の順となっています。

【利用していない理由】

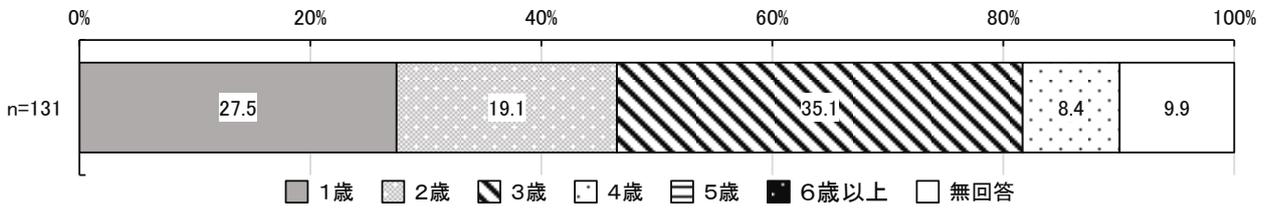


年齢別でみると、他の年齢に比べ、2歳で「利用する必要がない」の割合が高くなっています。



「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用したい」と答えた人の()歳の年齢区分については、「3歳」が35.1%と最も高く、次いで「1歳」(27.5)、「2歳」(19.1%)等の順となっています。

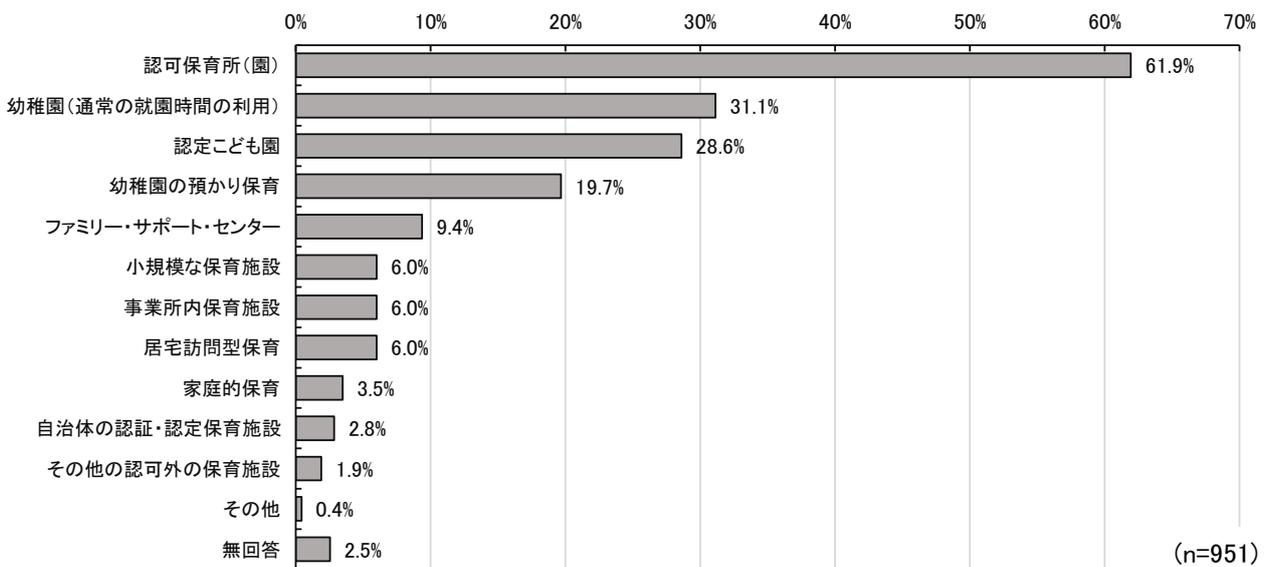
【利用したいと思う子どもの年齢】



問18 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

定期的に利用したいと考える事業については、「認可保育所(園)」が61.9%と最も高く、次いで「幼稚園(通常の就園時間の利用)」(31.1%)、「認定こども園」(28.6%)等の順となっています。

【定期的に利用したい事業】

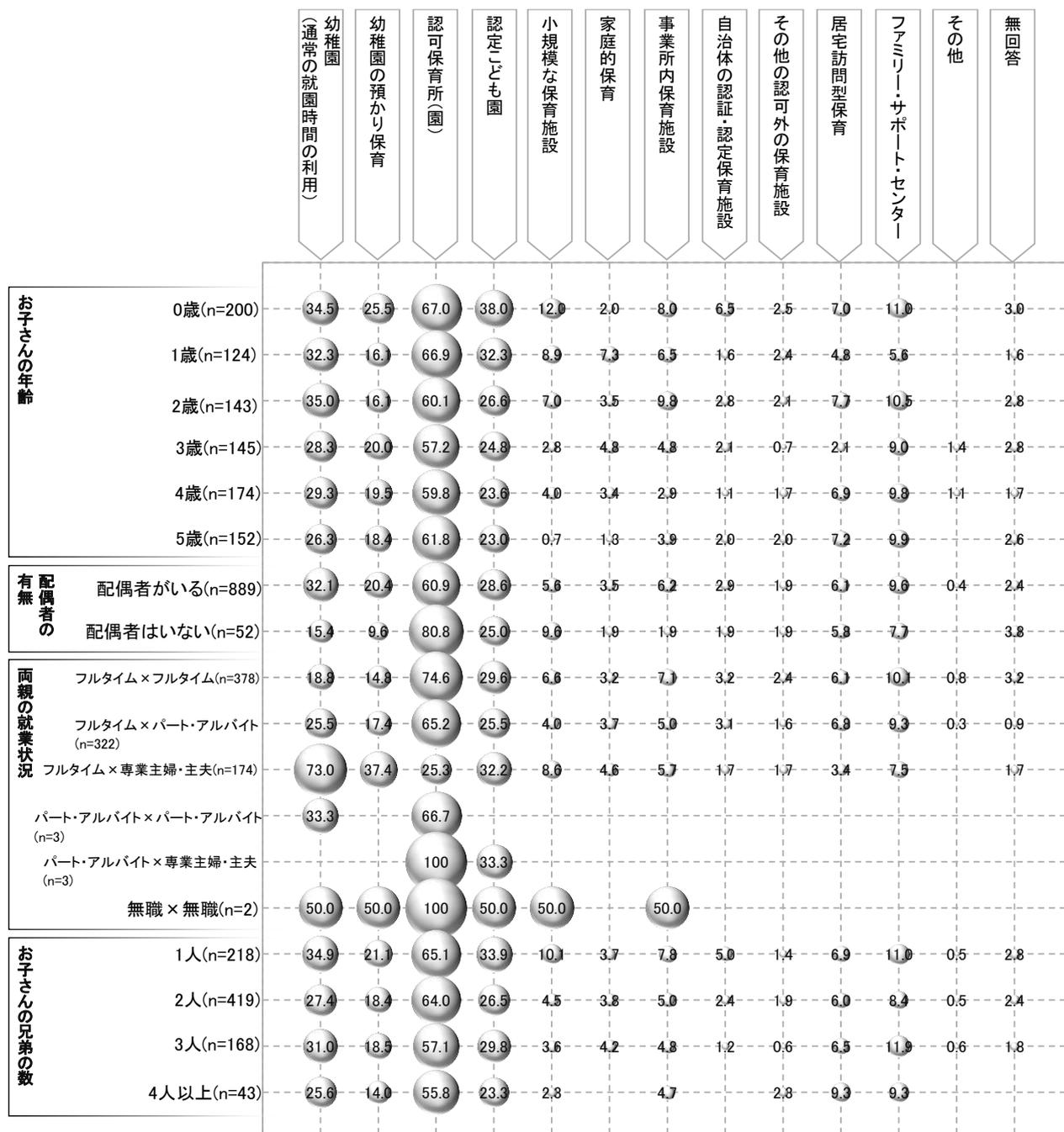


年齢別で見ると、0～5歳の年齢すべてで「認可保育所」の割合が高くなっています。「認定こども園」では、0歳の割合が高く、年齢が高くなるにつれ、割合が低くなっています。

配偶者の有無で見ると、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」では、配偶者がいる方の割合が高くなっています。

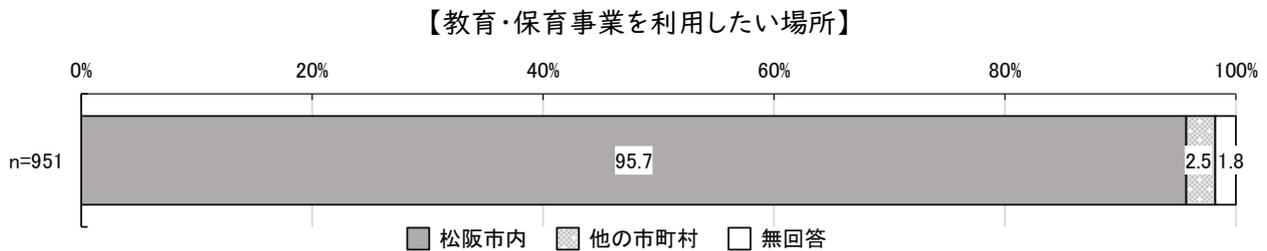
両親の就業状況で見ると、「幼稚園」では、フルタイム×専業主婦・主夫の割合が高くなっています。

お子さんの兄弟の数で見ると、あまり大きな差は見られませんでした。



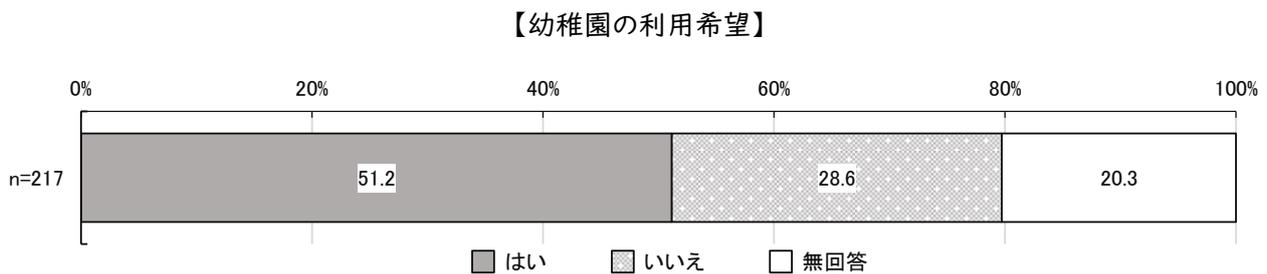
問18-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

教育・保育事業を利用したい場所については、「松阪市内」が95.7%、「他の市町村」が2.5%となっています。



問18-2 問18で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3~12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

幼稚園の利用を強く希望するかについては、「はい」が51.2%、「いいえ」が28.6%となっています。

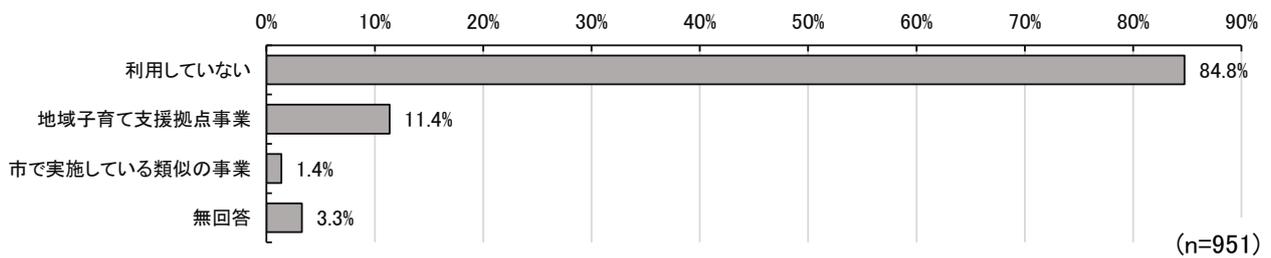


6 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

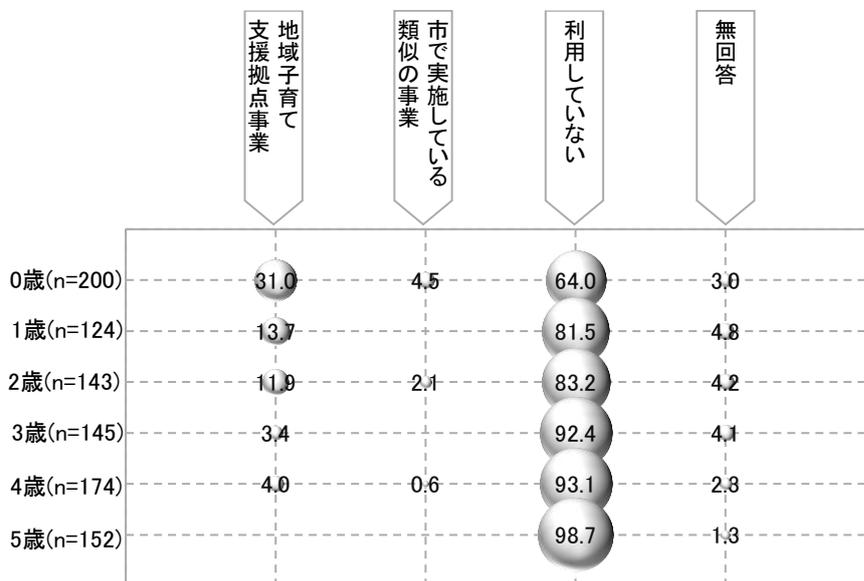
問19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過したり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

地域子育て支援拠点事業の利用については、「利用していない」が84.8%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」(11.4%)、「市で実施している類似の事業」(1.4%)の順となっています。

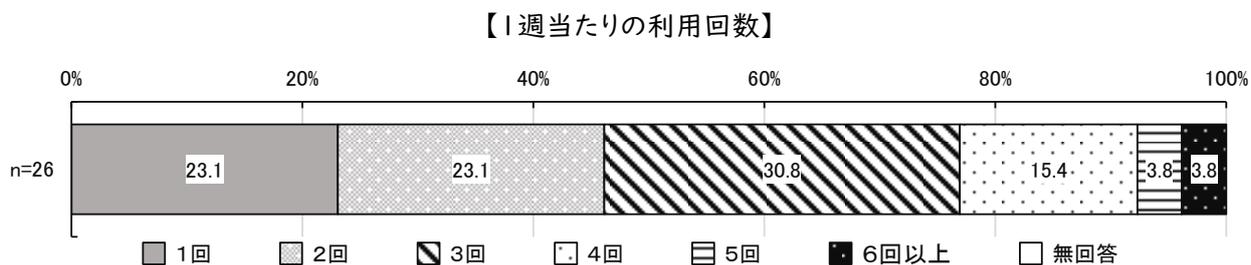
【地域子育て支援拠点事業の利用について】



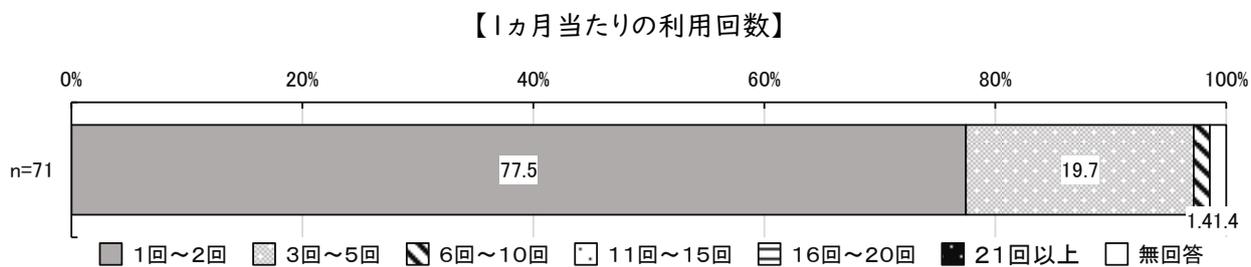
年齢別でみると、「地域子育て支援拠点事業」では、2歳以下の割合が高くなっています。



「地域子育て支援拠点事業」の1週当たりの利用回数については、「3回」が30.8%と最も高く、次いで「1回」「2回」（それぞれ23.1%）等の順となっています。



1ヵ月当たりの利用回数については、「1回～2回」が77.5%と最も高く、次いで「3回～5回」（19.7%）等の順となっています。



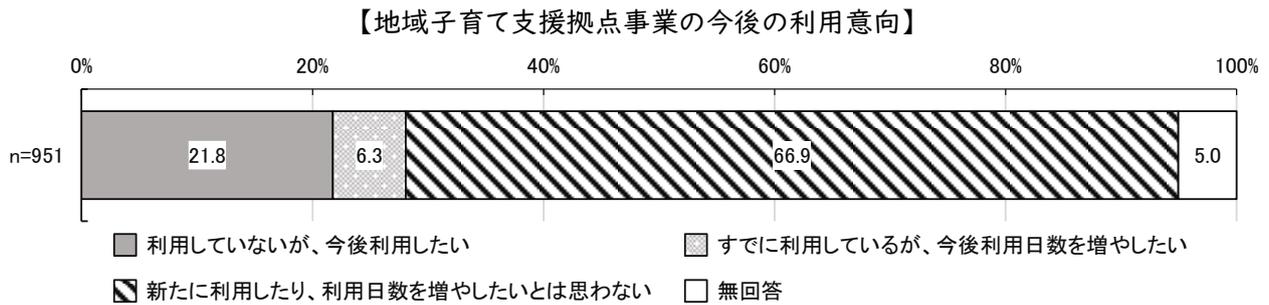
「市で実施している類似の事業」の1週当たりの利用回数については、有効回答はありません。

1ヵ月当たりの利用回数については、「1回～2回」が9件となっています。

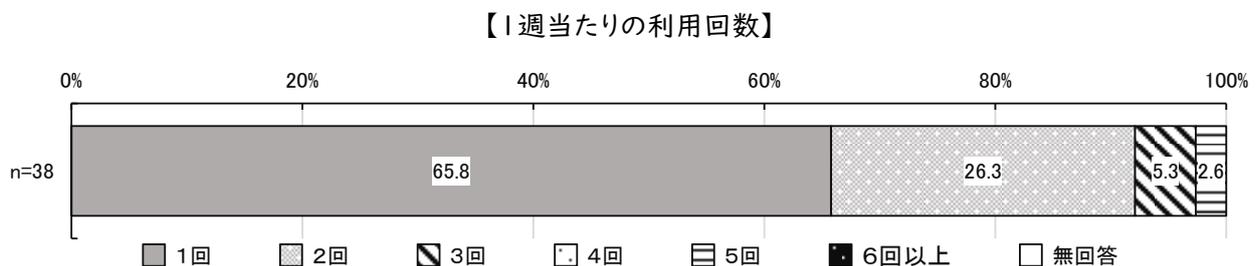
問20

問19のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

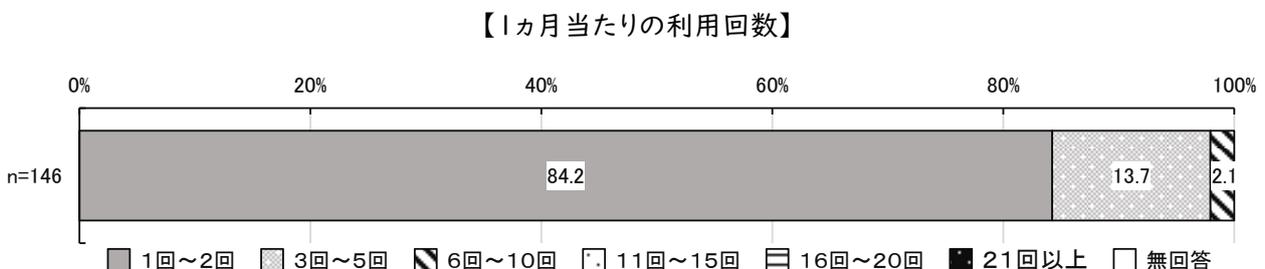
地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が66.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(21.8%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(6.3%)の順となっています。



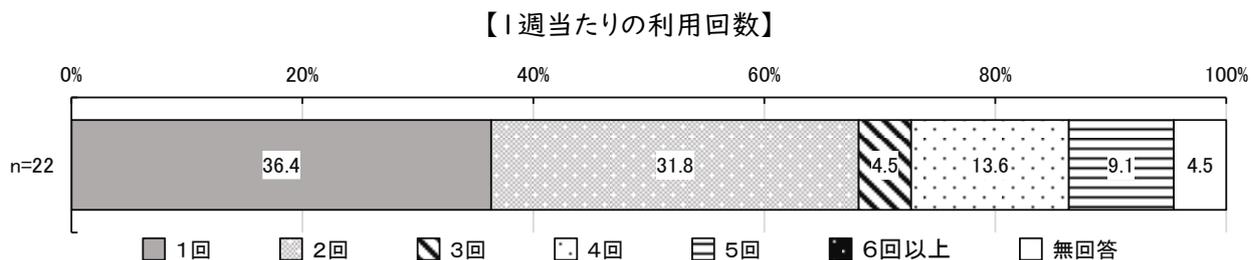
「利用していないが、今後利用したい」の希望の1週当たりの利用回数については、「1回」が65.8%と最も高く、次いで「2回」(26.3%)、「3回」(5.3%)、「5回」(2.6%)の順となっています。



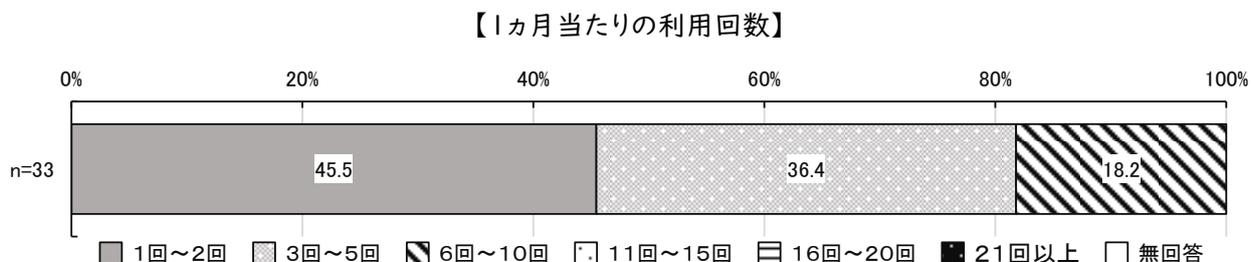
1ヵ月当たりの利用回数については、「1回~2回」が84.2%、「3回~5回」が13.7%、「6回~10回」が2.1%となっています。



「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の1週当たりの利用回数については、「1回」が36.4%と最も高く、次いで「2回」(31.8%)、「4回」(13.6%)等の順となっています。



1ヵ月当たりの利用回数については、「1回～2回」が45.5%と最も高く、次いで「3回～5回」(36.4%)、「6回～10回」(18.2%)の順となっています。

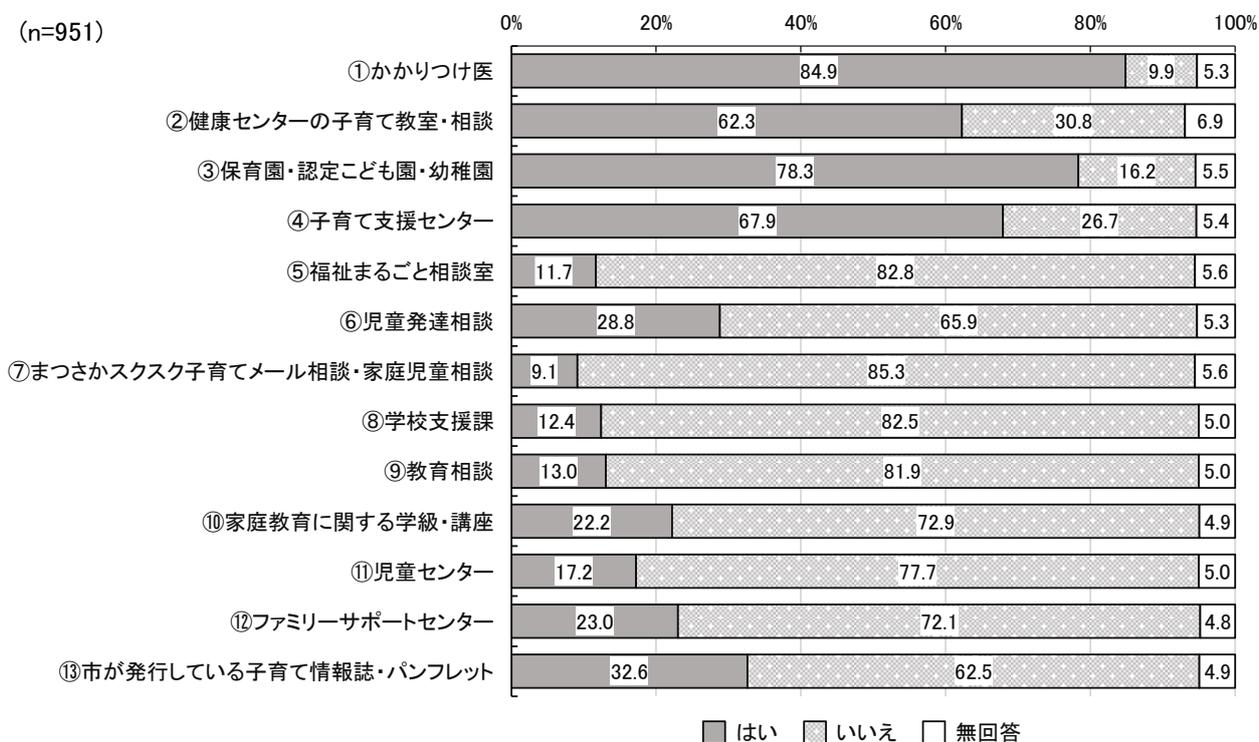


問21 子育て・発達に関して、下記の市の機関又は関係する機関の相談窓口等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
 ①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

(1) 認知度(A知っている)

認知度については、①かかりつけ医、②健康センターの子育て教室・相談、③保育園・認定こども園・幼稚園、④子育て支援センターで「はい」の割合が高く、⑤福祉まるごと相談室、⑦まつさかスクスク子育てメール相談・家庭児童相談、⑧学校支援課、⑨教育相談で「いいえ」の割合が高くなっています。

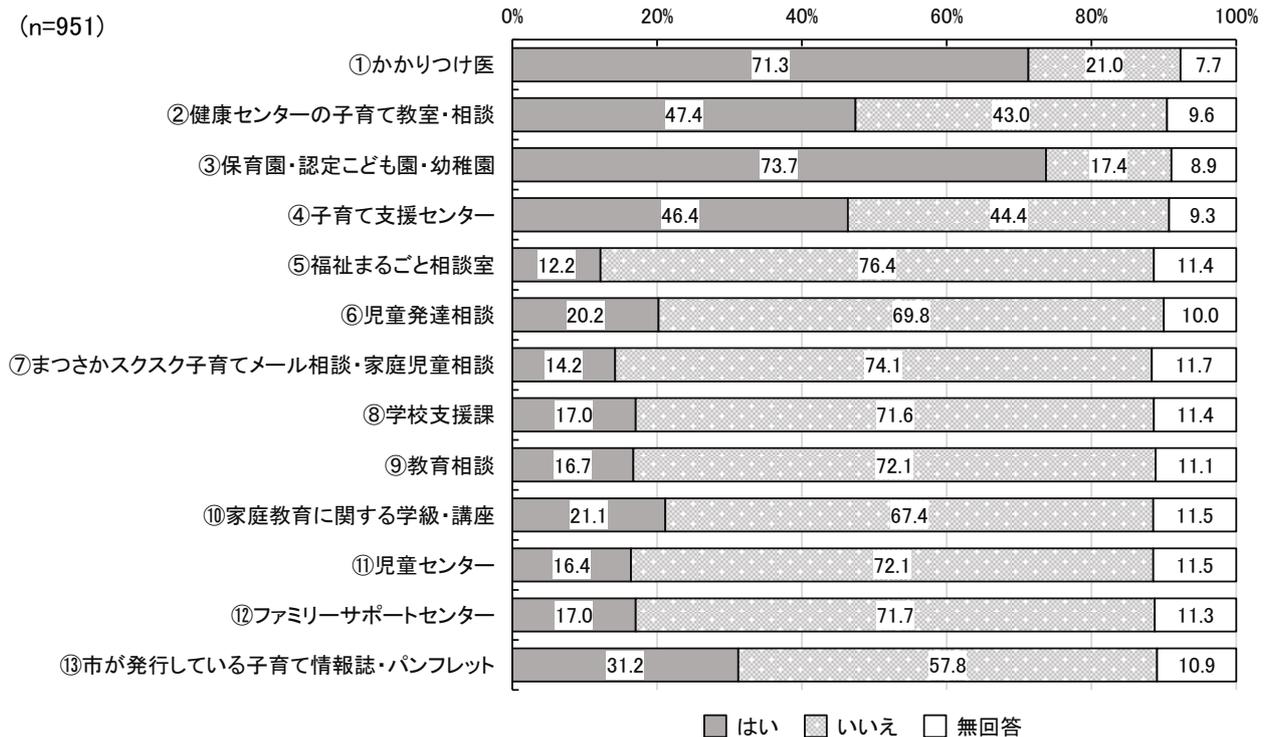
【認知度】



(2) 利用度 (B これまでに利用したことがある)

利用度については、①かかりつけ医、③保育園・認定こども園・幼稚園で「はい」の割合が高く、⑤福祉まるごと相談室、⑦まつさかスクスク子育てメール相談・家庭児童相談で「いいえ」の割合が高くなっています。

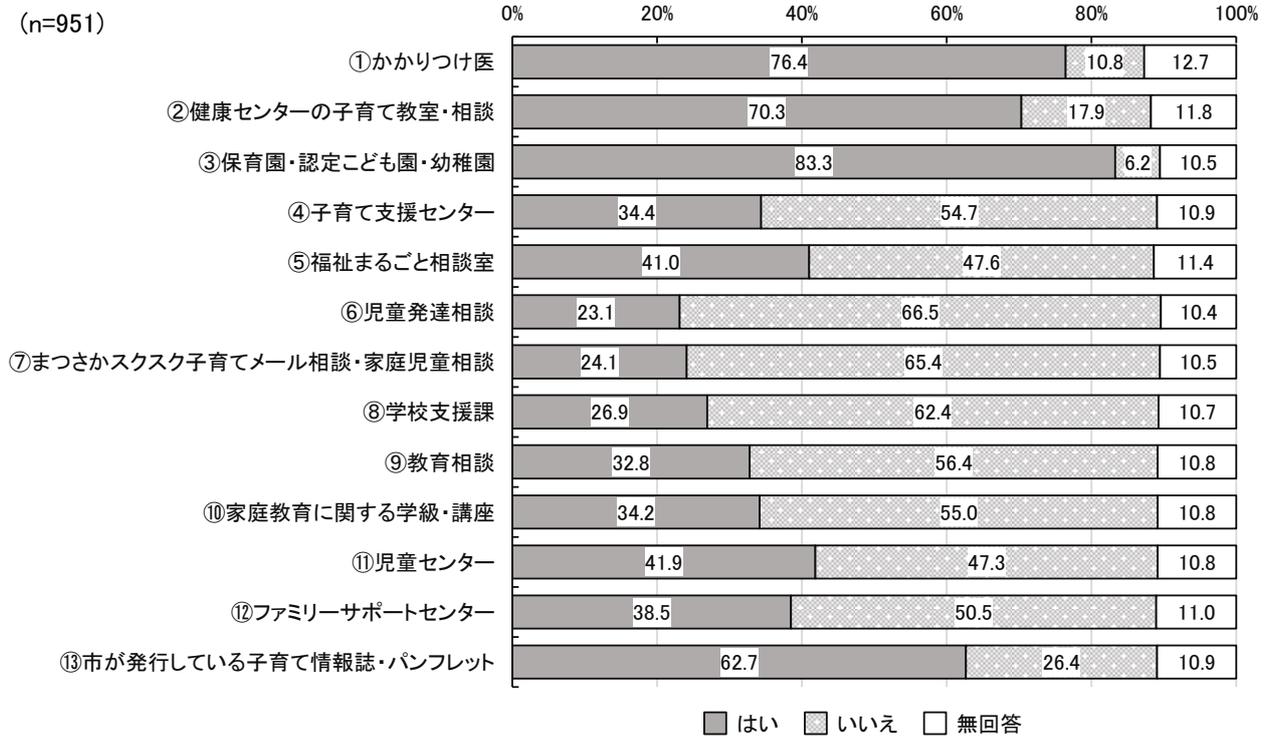
【利用度】



(3) 利用希望度 (C 今後利用したい)

利用希望度については、①かかりつけ医、②健康センターの子育て教室・相談、③保育園・認定こども園・幼稚園、⑬市が発行している子育て情報誌・パンフレットで「はい」の割合が高くなっています。

【利用希望度】



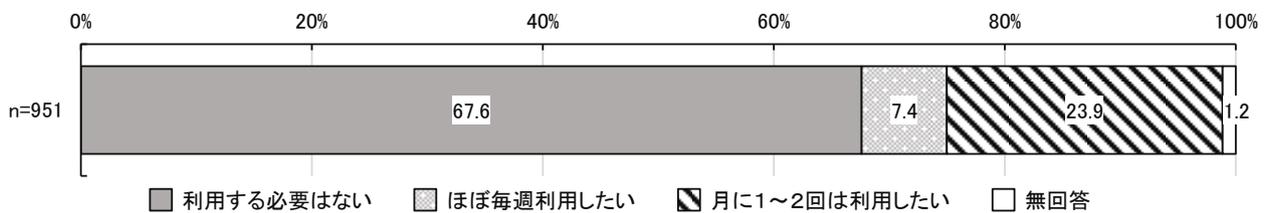
7 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

問22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)。(1)と(2)それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(土曜日)

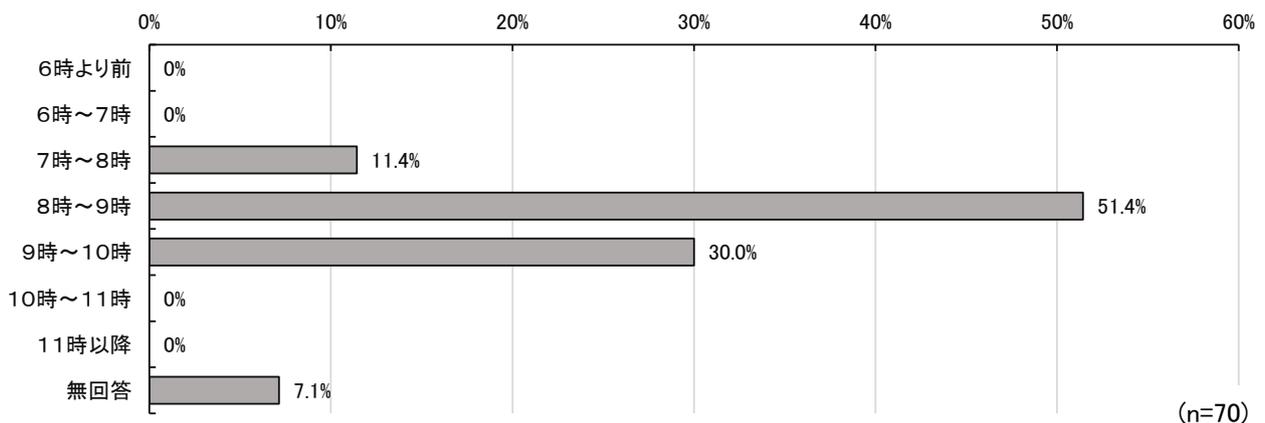
土曜日の利用意向については、「利用する必要はない」が67.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」(23.9%)、「ほぼ毎週利用したい」(7.4%)の順となっています。

【土曜日の利用意向】



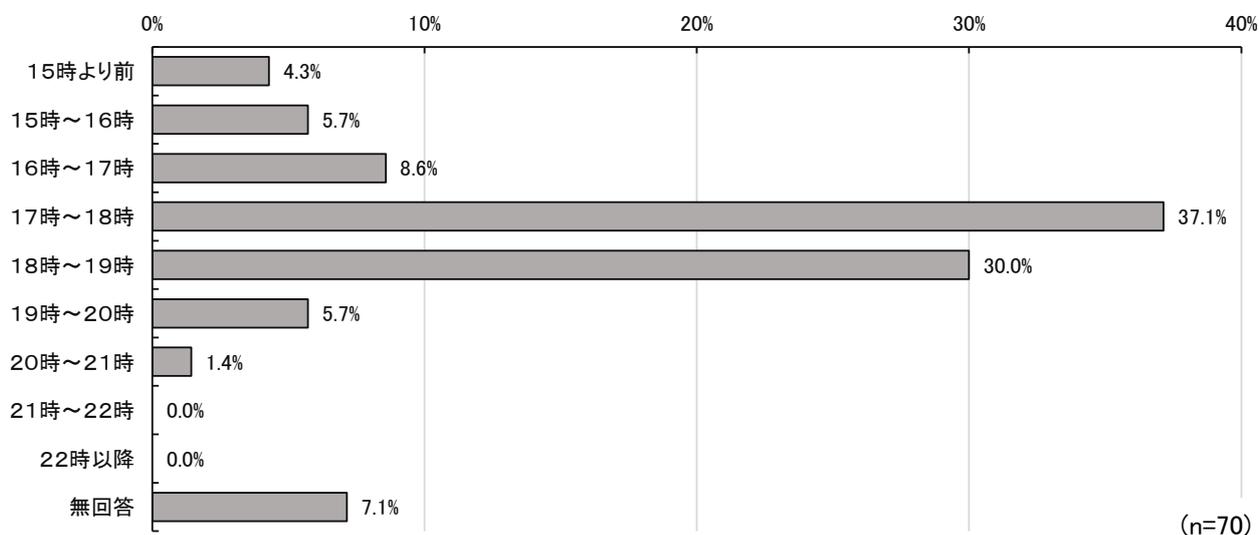
「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が51.4%と最も高く、次いで「9時～10時」(30.0%)、「7時～8時」(11.4%)の順となっています。

【利用開始時間】



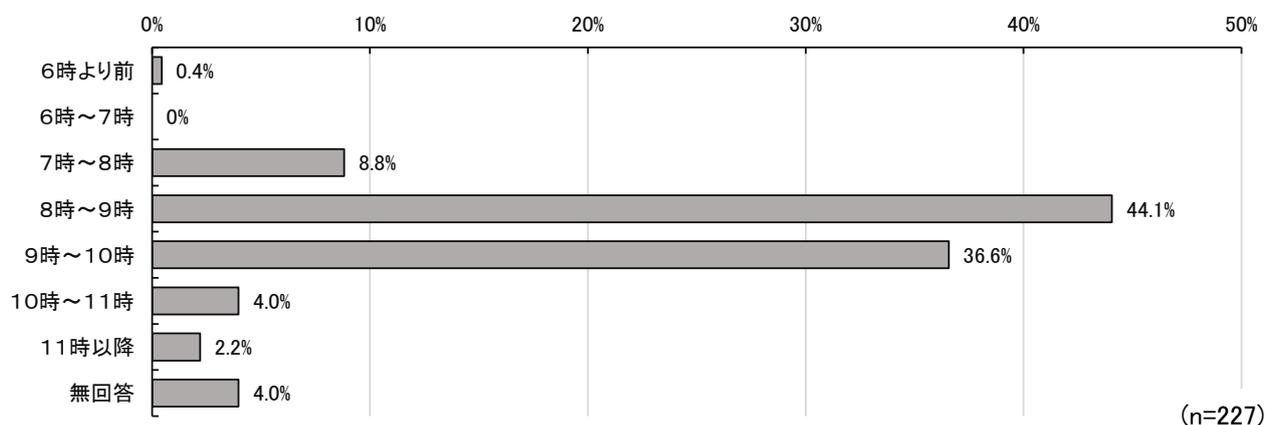
「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時～18時」が37.1%と最も高く、次いで「18時～19時」(30.0%)、「16時～17時」(8.6%)等の順となっています。

【利用終了時間】



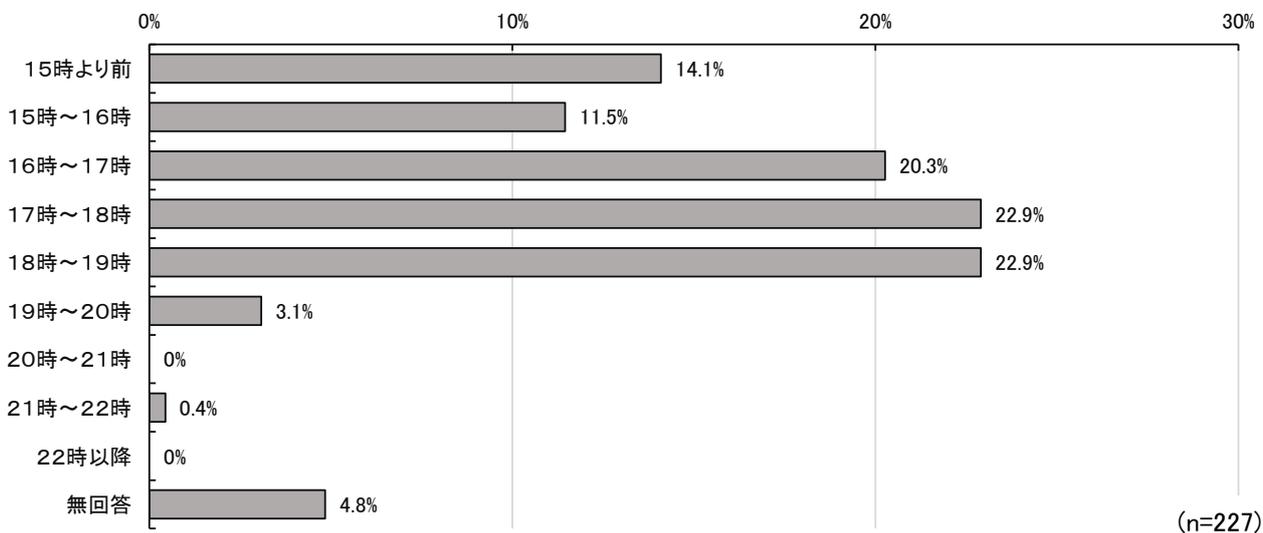
「月に1～2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が44.1%と最も高く、次いで「9時～10時」(36.6%)、「7時～8時」(8.8%)等の順となっています。

【利用開始時間】



「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時~18時」「18時~19時」がそれぞれ22.9%と最も高く、次いで「16時~17時」(20.3%)、「15時より前」(14.1%)の順となっています。

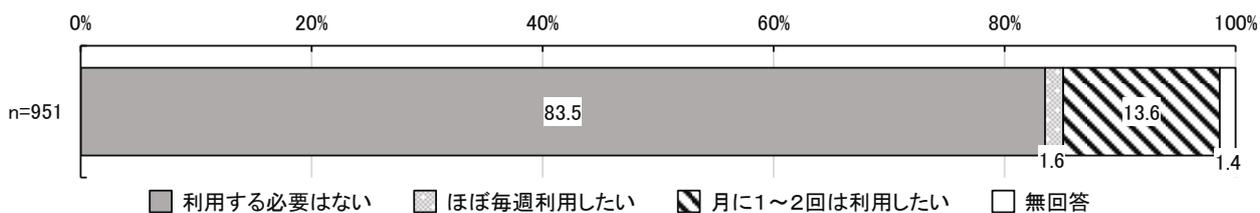
【利用終了時間】



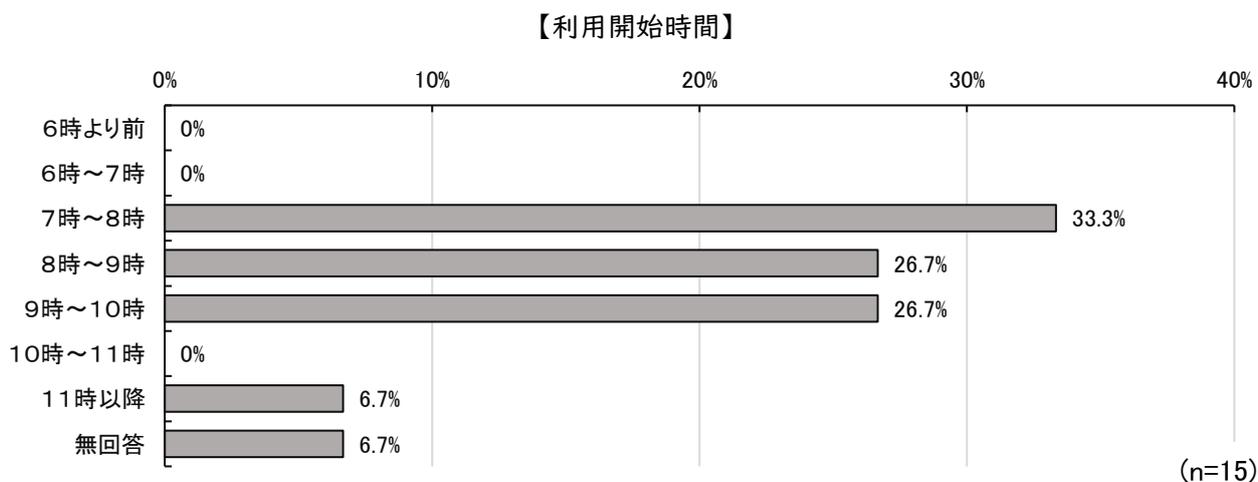
(日曜日・祝日)

日曜日・祝日の利用意向については、「利用する必要はない」が83.5%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」(13.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.6%)の順となっています。

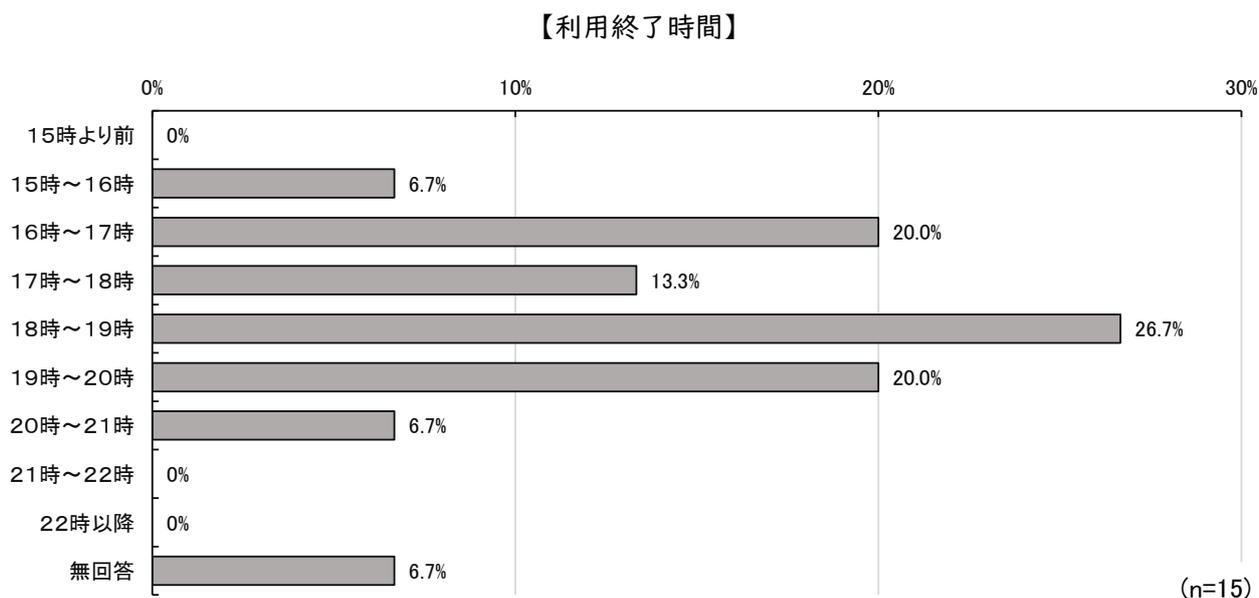
【日曜日・祝日の利用意向】



「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「7時～8時」が33.3%と最も高く、次いで「8時～9時」「9時～10時」（それぞれ26.7%）等の順となっています。

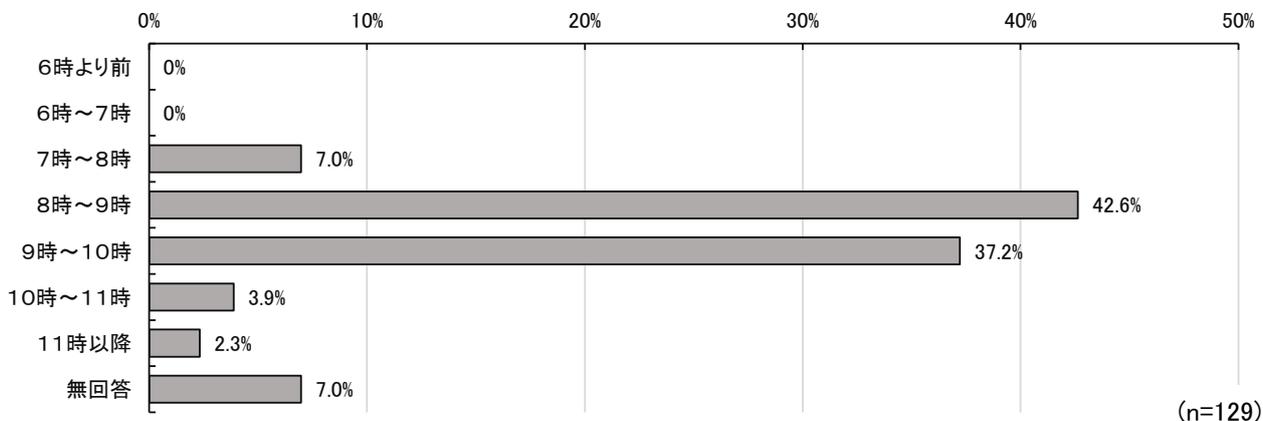


「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「18時～19時」が26.7%と最も高く、次いで「16時～17時」「19時～20時」（それぞれ20.0%）等の順となっています。



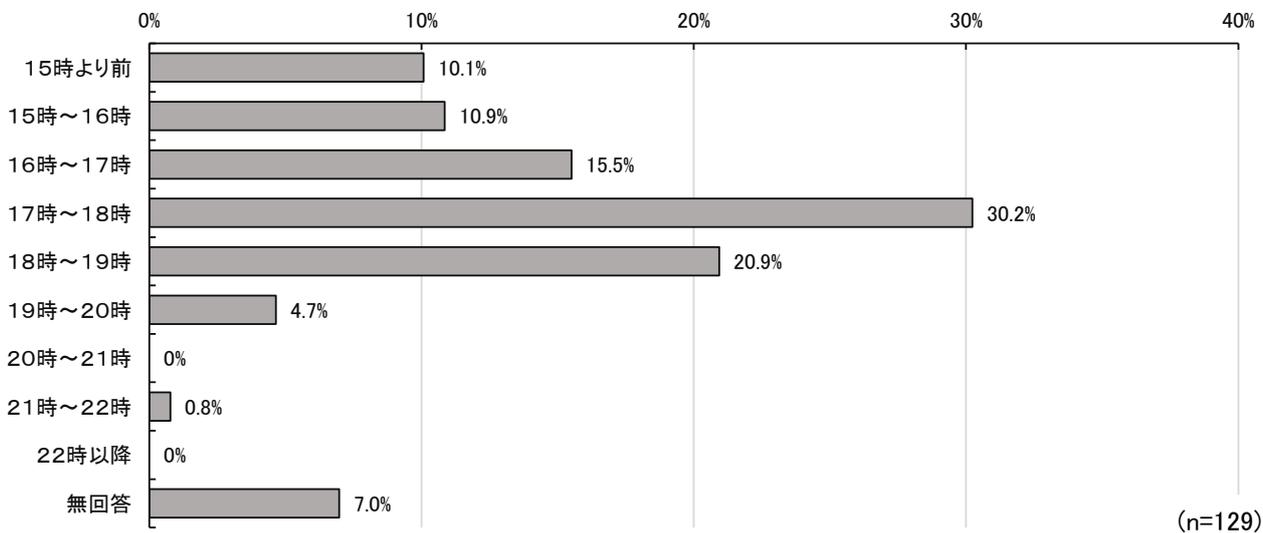
「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時~9時」が42.6%と最も高く、次いで「9時~10時」(37.2%)、「7時~8時」(7.0%)等の順となっています。

【利用開始時間】



「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時~18時」が30.2%と最も高く、次いで「18時~19時」(20.9%)、「16時~17時」(15.5%)等の順となっています。

【利用終了時間】

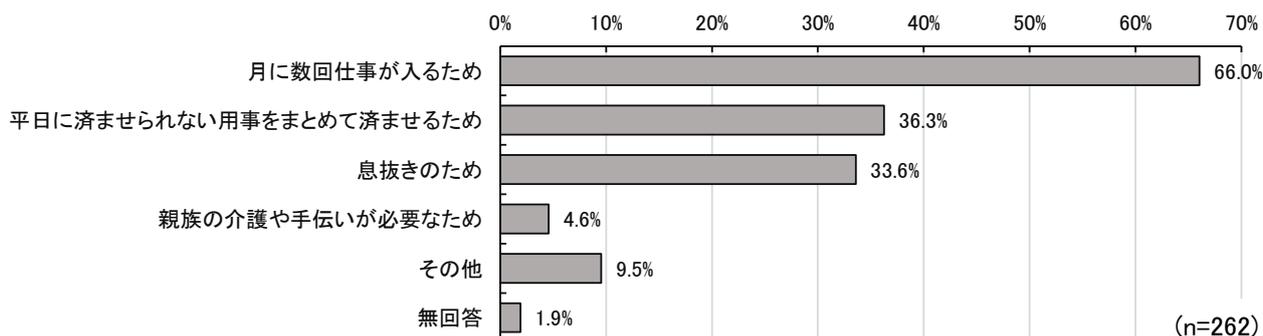


問22-1

問22の(1)もしくは(2)で、「3.月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が66.0%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(36.3%)、「息抜きのため」(33.6%)等の順となっています。

【たまに利用したい理由】

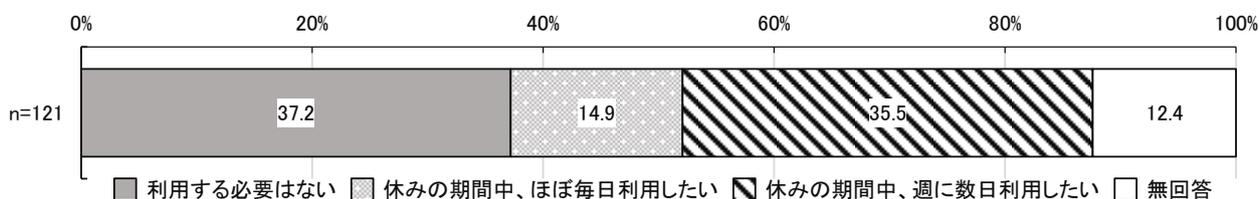


問23

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。時間は必ず(例)9時~18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

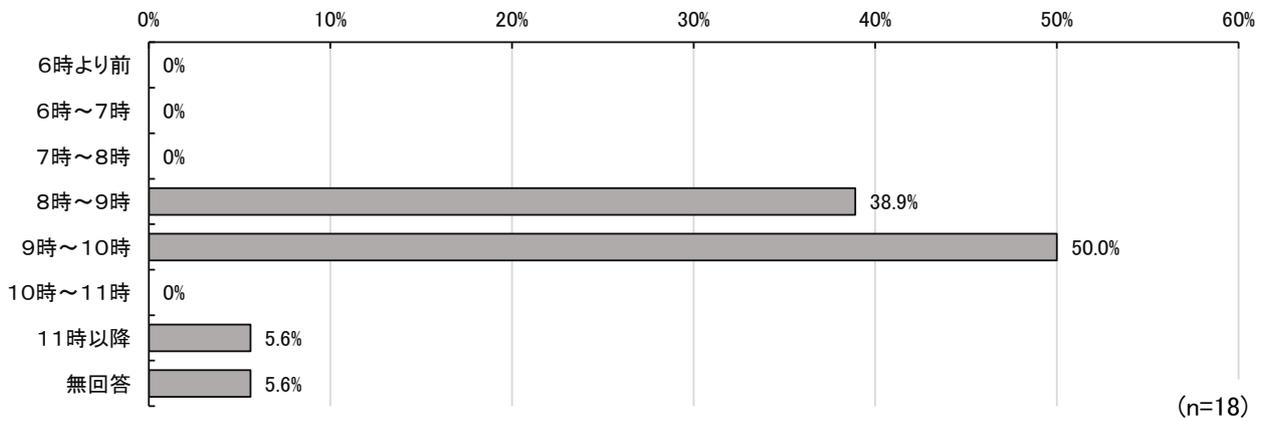
長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用意向については、「利用する必要はない」が37.2%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」(35.5%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(14.9%)の順となっています。

【長期休暇中の利用意向】



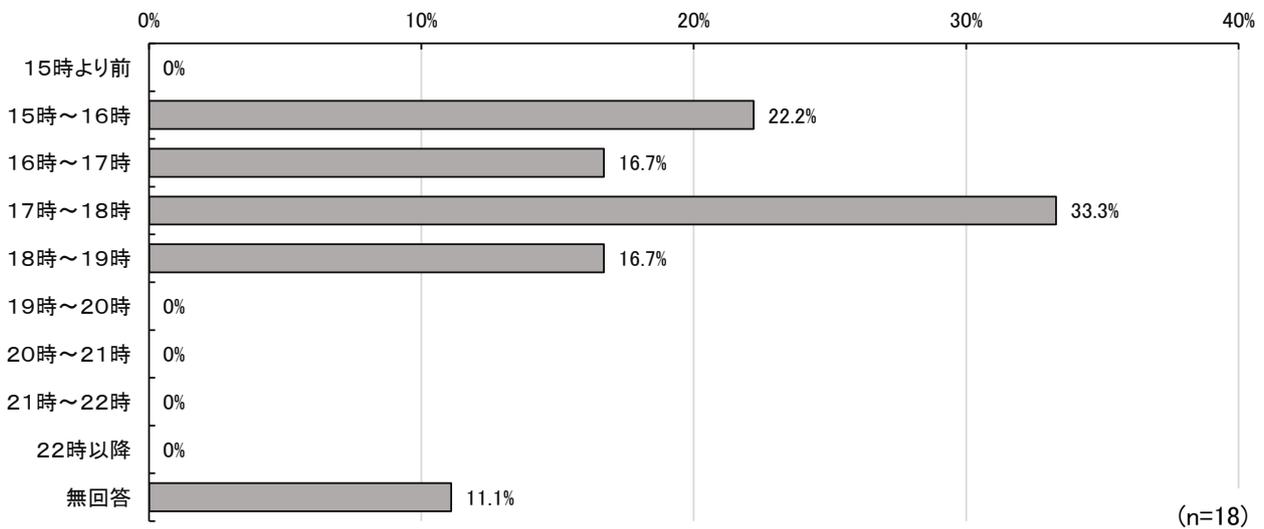
「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「9時～10時」が50.0%と最も高く、次いで「8時～9時」(38.9%)、「11時以降」(5.6%)の順となっています。

【利用開始時間】



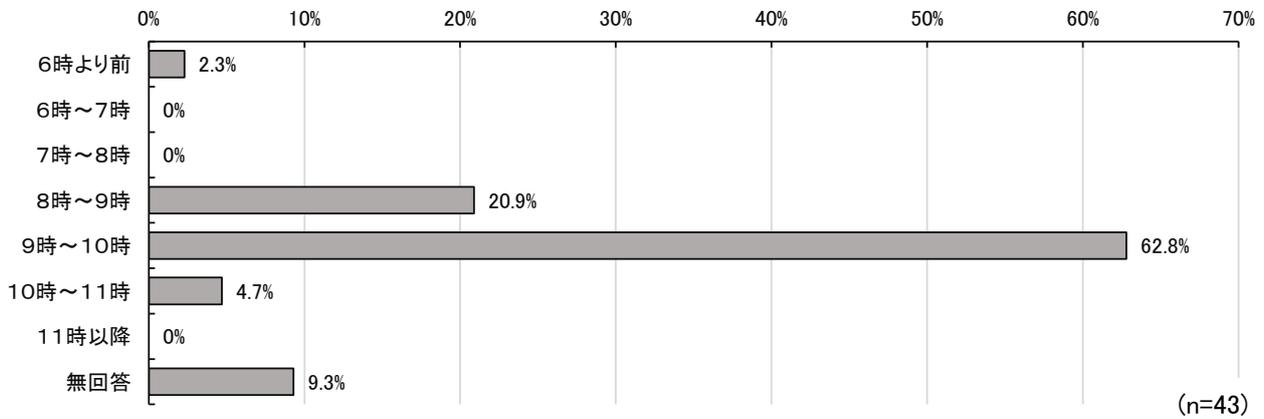
「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時～18時」が33.3%と最も高く、次いで「15時～16時」(22.2%)、「16時～17時」「18時～19時」(それぞれ16.7%)の順となっています。

【利用終了時間】



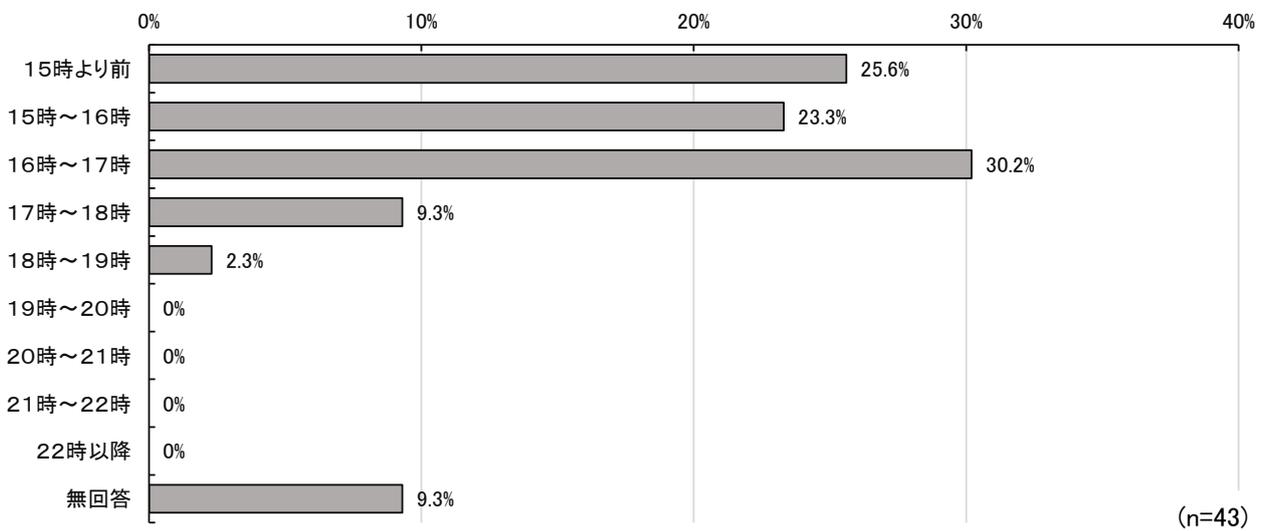
「休みの期間中、週に数日利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「9時～10時」が62.8%と最も高く、次いで「8時～9時」（20.9%）、「6時より前」（2.3%）の順となっています。

【利用開始時間】



「休みの期間中、週に数日利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「16時～17時」が30.2%と最も高く、次いで「15時より前」（25.6%）、「15時～16時」（23.3%）等の順となっています。

【利用終了時間】

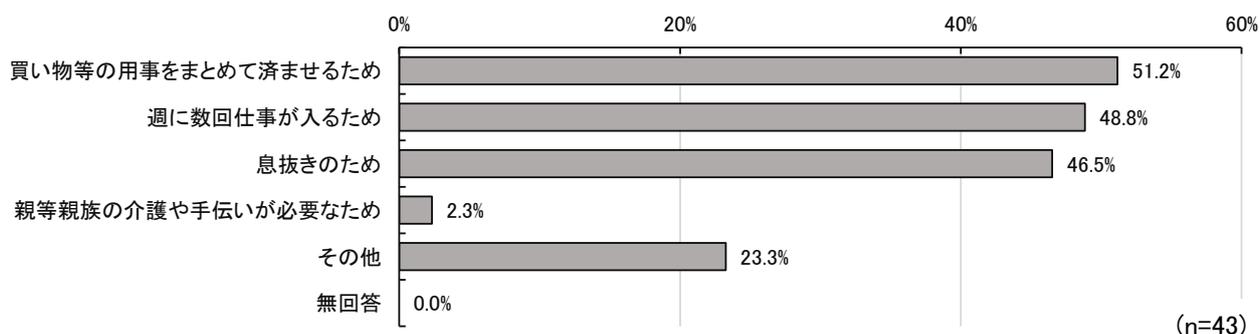


問23-1

問 23 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

たまに利用したい理由については、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が51.2%と最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」(48.8%)、「息抜きのため」(46.5%)等の順となっています。

【たまに利用したい理由】



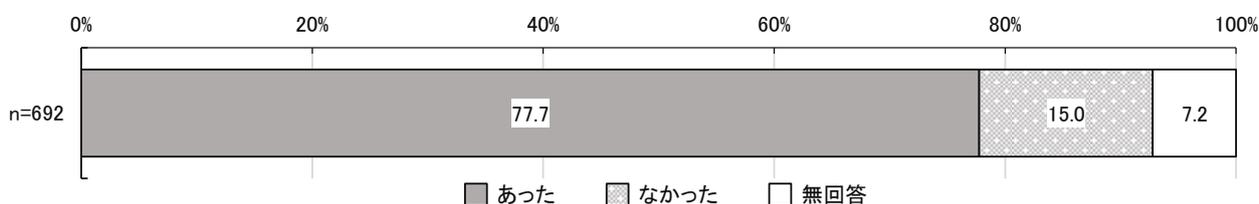
8 宛名のお子さんの病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問24

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問17で「1.」に○をつけた方)にうかがいます。利用していない方は、問25にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無については、「あった」が77.7%、「なかった」が15.0%となっています。

【病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無】

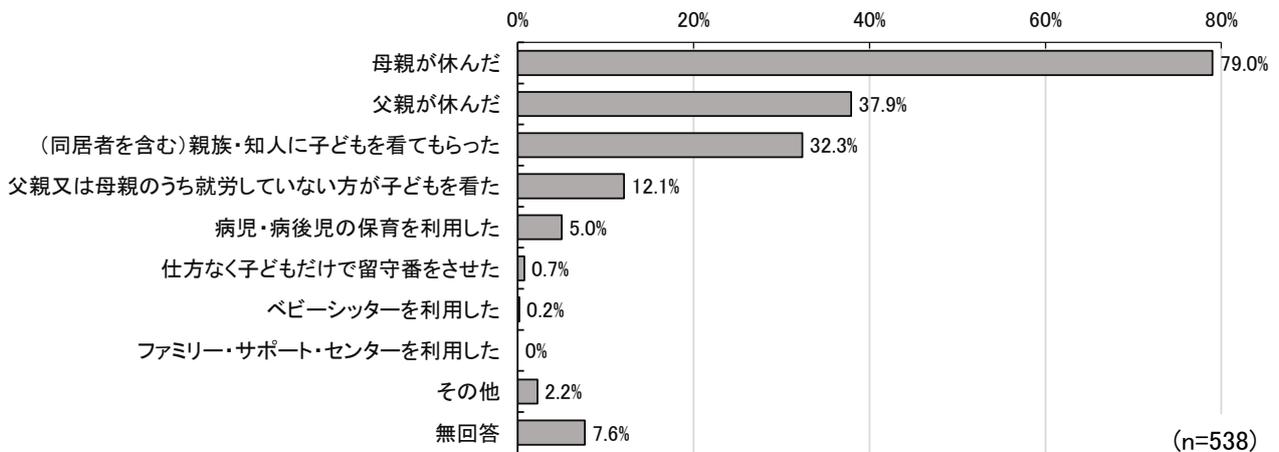


問24-1

宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

お子さんが病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった際の対処方法については、「母親が休んだ」が79.0%と最も高く、次いで「父親が休んだ」(37.9%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」(32.3%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」(12.1%)等の順となっています。

【お子さんが病気やケガをした際の対処方法】

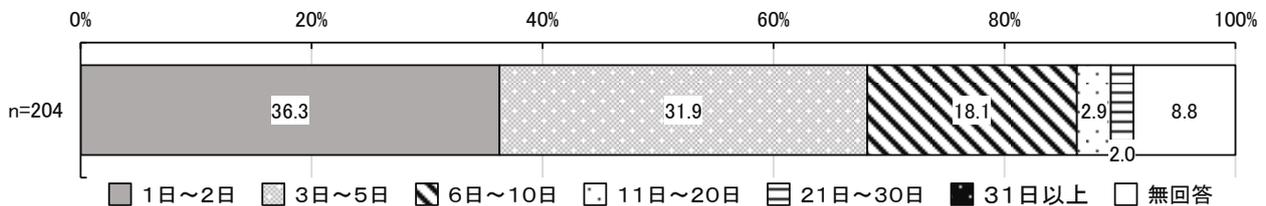


(日数)

(1) 父親が休んだ

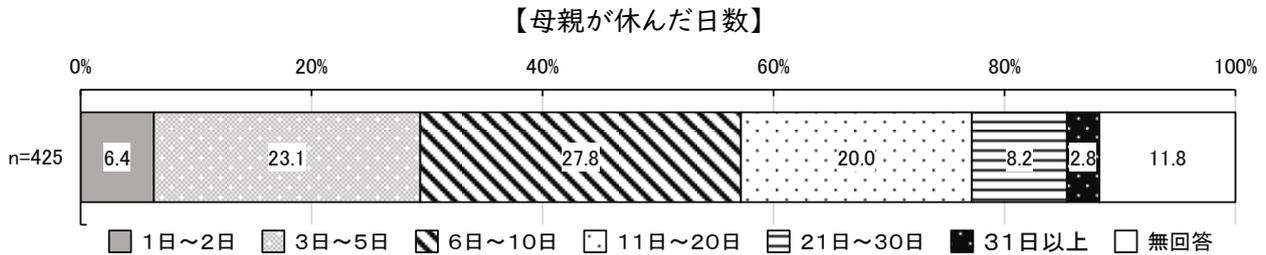
父親が休んだ日数は、「1日~2日」が36.3%と最も高く、次いで「3日~5日」(31.9%)、「6日~10日」(18.1%)等の順となっています。

【父親が休んだ日数】



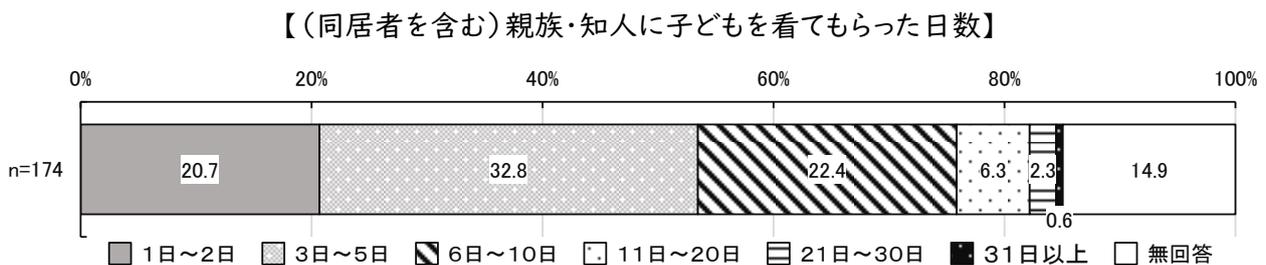
(2) 母親が休んだ

母親が休んだ日数は、「6日～10日」が27.8%と最も高く、次いで「3日～5日」(23.1%)、「11日～20日」(20.0%)等の順となっています。



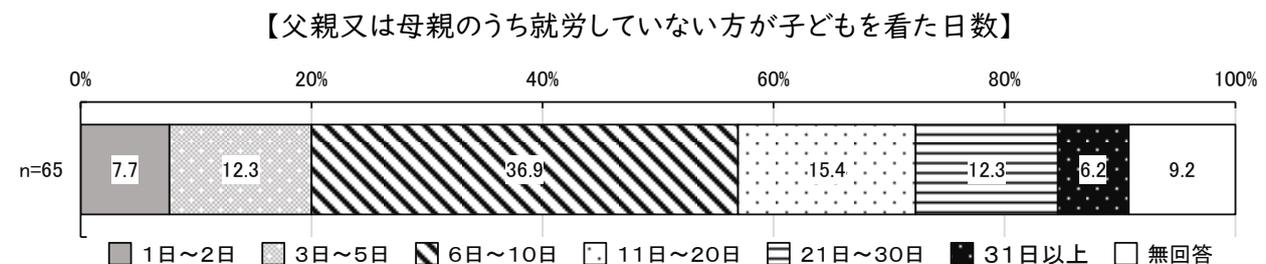
(3) (同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった

(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった日数は、「3日～5日」が32.8%と最も高く、次いで「6日～10日」(22.4%)、「1日～2日」(20.7%)等の順となっています。



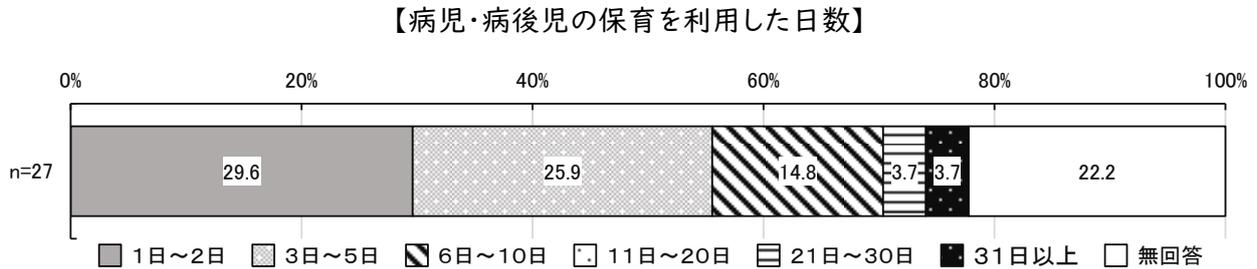
(4) 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た

父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た日数は、「6日～10日」が36.9%と最も高く、次いで「11日～20日」(15.4%)、「3日～5日」「21日～30日」(それぞれ12.3%)等の順となっています。



(5) 病児・病後児の保育を利用した

病児・病後児の保育を利用した日数は、「1日～2日」が29.6%と最も高く、次いで「3日～5日」(25.9%)、「6日～10日」(14.8%)等の順となっています。



(6) ベビーシッターを利用した

有効回答はありません。

(7) ファミリー・サポート・センターを利用した

有効回答はありません。

(8) 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

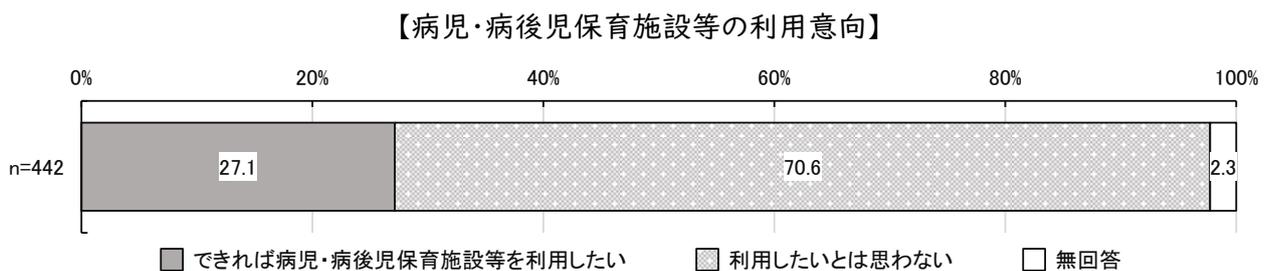
仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数は、「1日～2日」が2件、「3日～5日」が1件となっています。

(9) その他

その他の日数は、「1日～2日」が2件、「3日～5日」が6件、「6日～10日」が2件となっています。

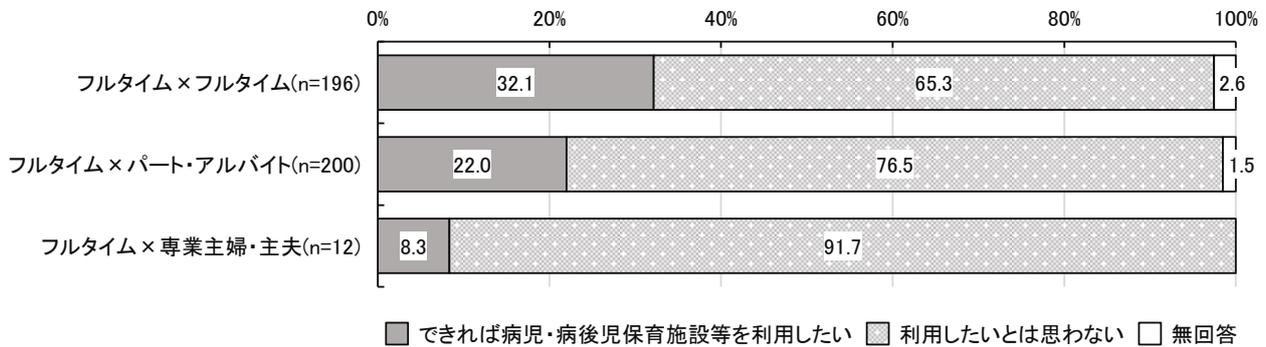
問24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思うかどうかについては、「利用したいとは思わない」が70.6%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が27.1%となっています。



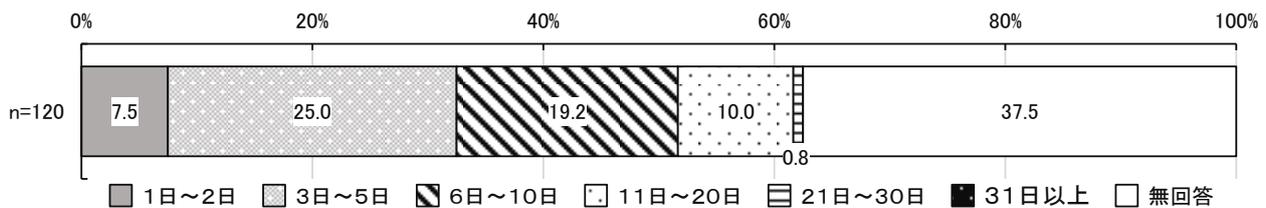
親の就労状況別でみると、両親とも就労している方で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が高くなっています。

【親の就労状況別の利用意向】



「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方の希望する利用日数については、「3日～5日」が25.0%と最も高く、次いで「6日～10日」(19.2%)、「11日～20日」(10.0%)等の順となっています。

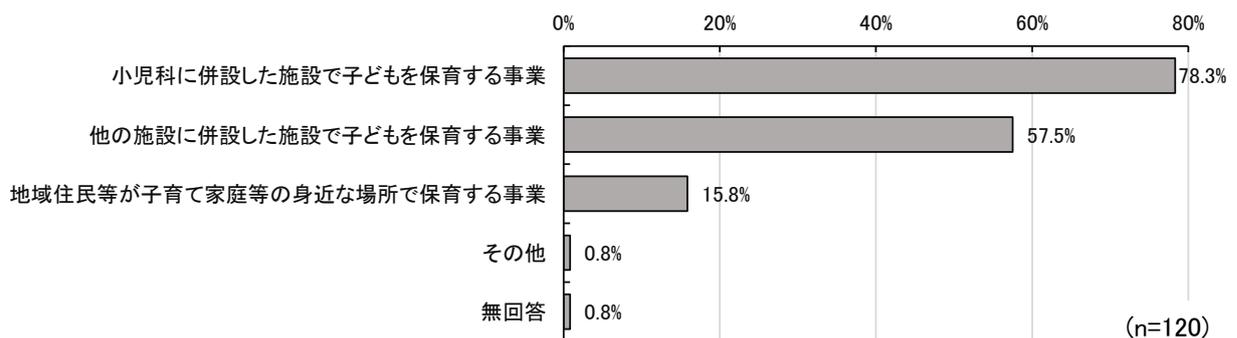
【希望する利用日数】



問24-3 問24-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもを預ける場合、望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が78.3%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(57.5%)、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」(15.8%)の順となっています。

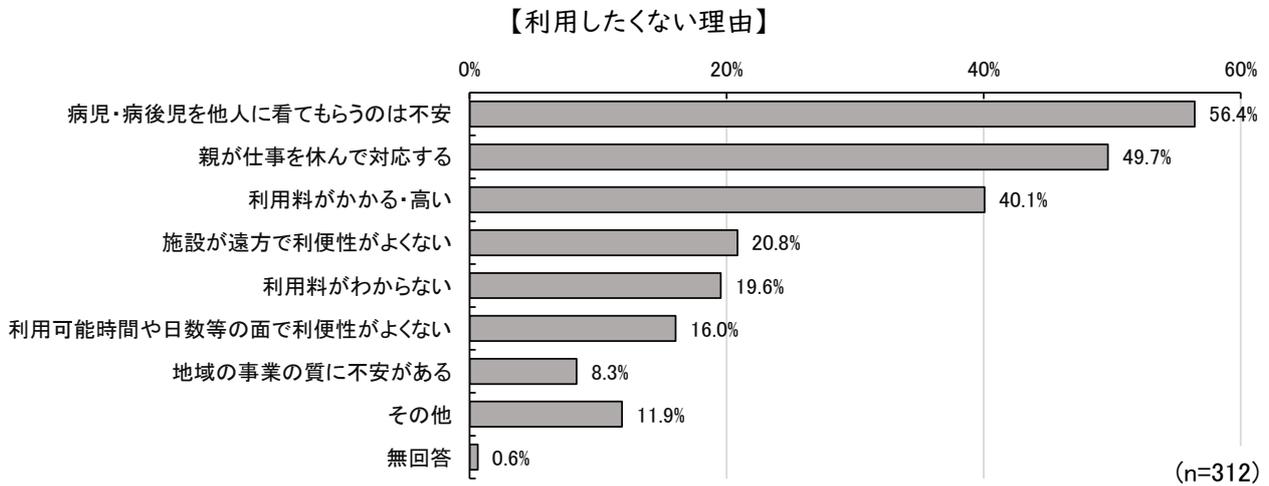
【施設の望ましい事業形態】



問24-4

問24-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

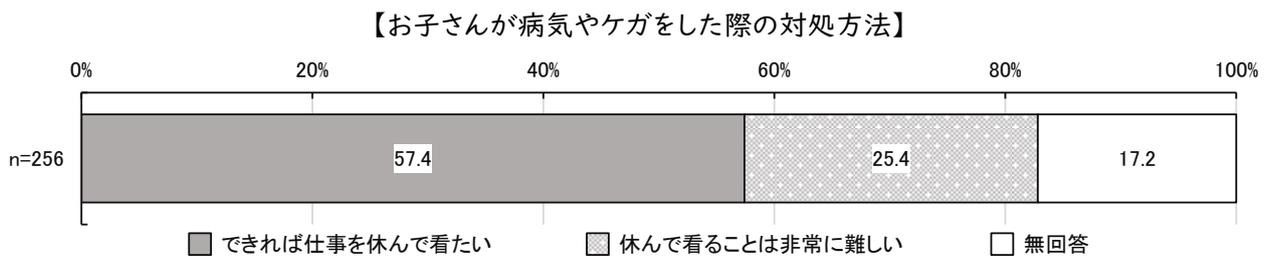
利用したくない理由については、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が56.4%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」(49.7%)、「利用料がかかる・高い」(40.1%)等の順となっています。



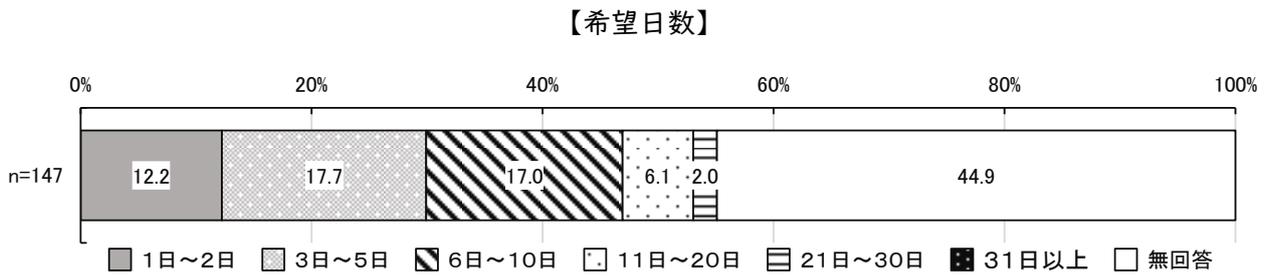
問24-5

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても()内に数字でご記入ください。

お子さんが病気やケガをした際の対処方法については、「できれば仕事を休んで看たい」が57.4%、「休んで看ることは非常に難しい」が25.4%となっています。

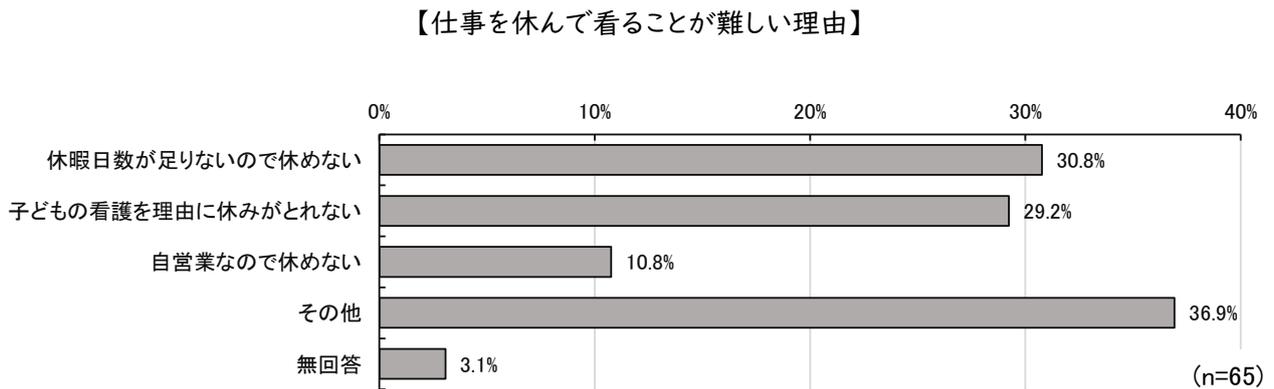


「できれば仕事を休んで看たい」の日数については、「3日～5日」が17.7%と最も高く、次いで「6日～10日」(17.0%)、「1日～2日」(12.2%)等の順となっています。



問24-6 問24-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

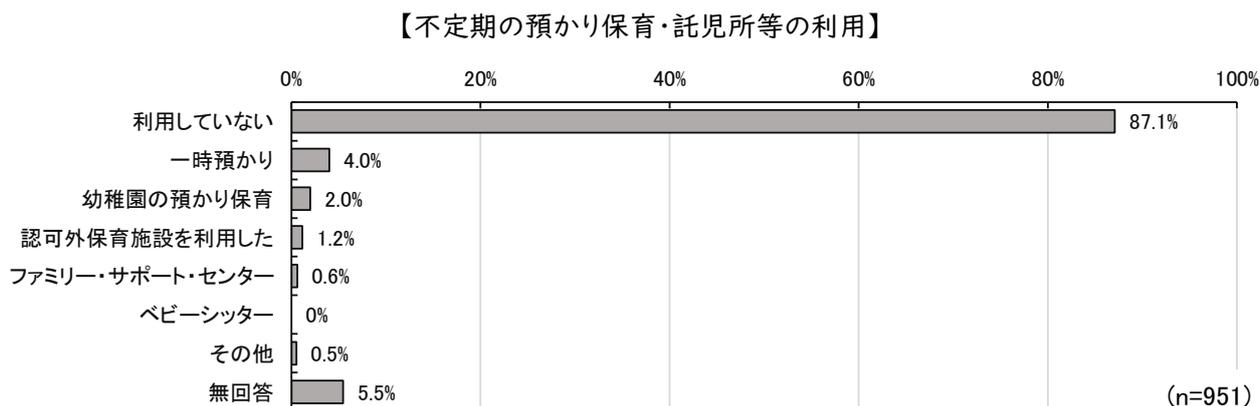
仕事を休んで看ることが難しい理由については、「休暇日数が足りないので休めない」が30.8%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」(29.2%)、「自営業なので休めない」(10.8%)の順となっています。



9 宛名のお子さんの不規則の預かり保育・託児所等の利用について

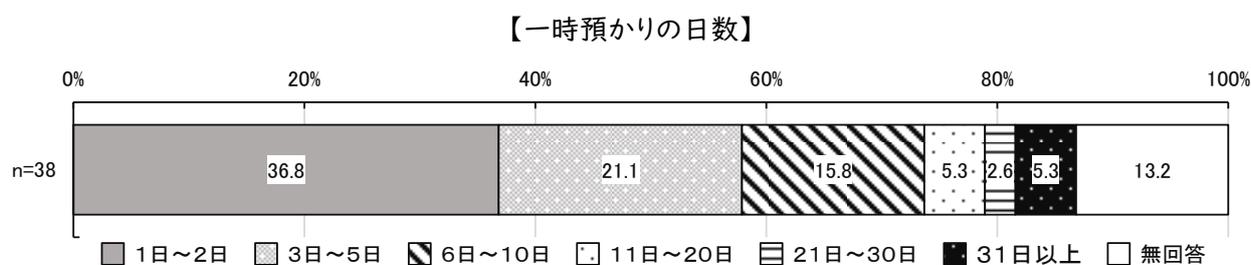
問25 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、使用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字でご記入ください。

不規則の預かり保育・託児所等の利用については、「利用していない」が87.1%と最も高く、次いで「一時預かり」(4.0%)、「幼稚園の預かり保育」(2.0%)等の順となっています。



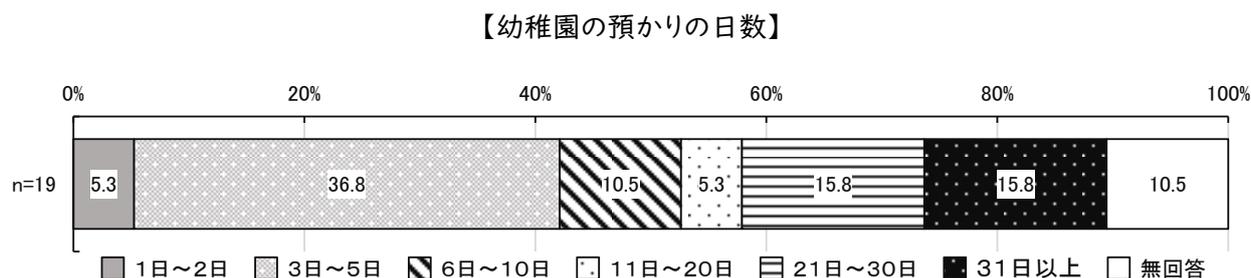
(1) 一時預かり

一時預かりの日数については、「1日~2日」が36.8%と最も高く、次いで「3日~5日」(21.1%)、「6日~10日」(15.8%)等の順となっています。



(2) 幼稚園の預かり保育

幼稚園の預かり保育の日数については、「3日~5日」が36.8%と最も高く、次いで「21日~30日」「31日以上」(それぞれ15.8%)等の順となっています。

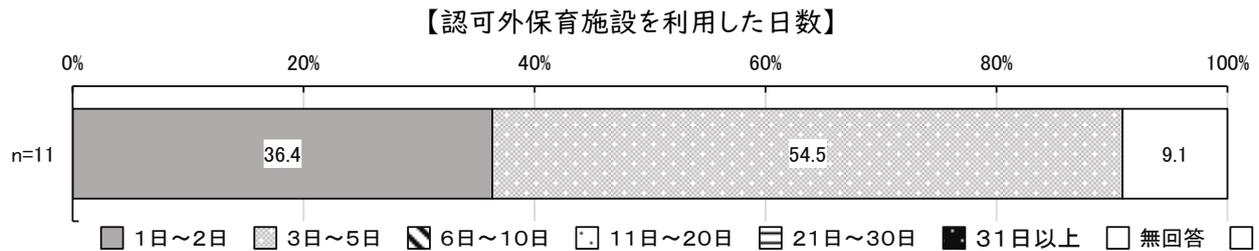


(3) ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの日数については、「1日～2日」「11日～20日」がそれぞれ2件、「3日～5日」「6日～10日」がそれぞれ1件となっています。

(4) 認可外保育施設を利用した

認可外保育施設を利用した日数については、「3日～5日」が54.5%、「1日～2日」が36.4%となっています。



(5) ベビーシッター

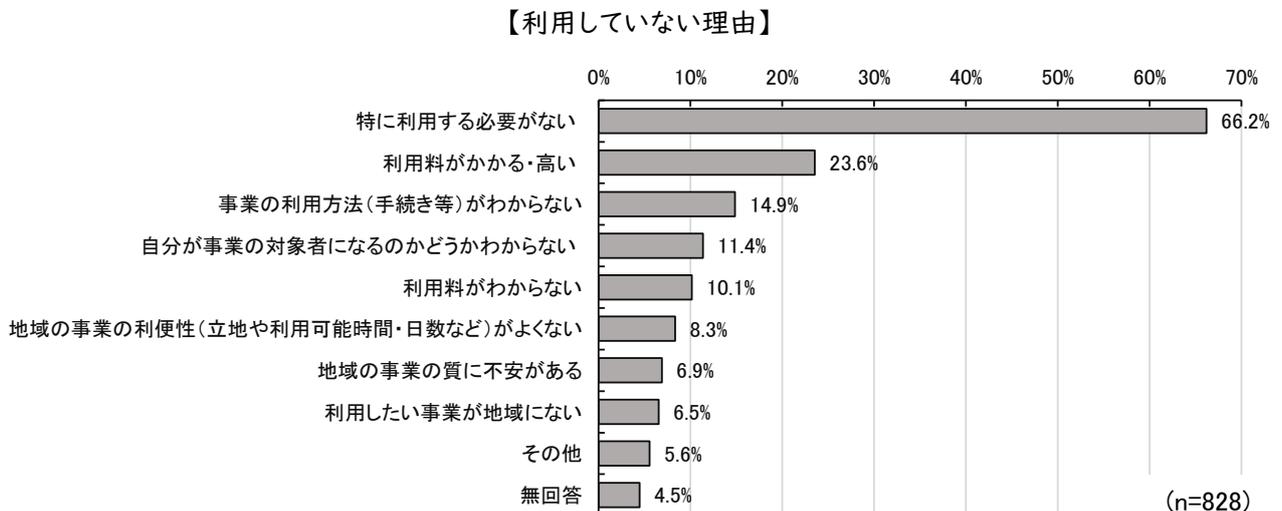
有効回答はありません。

(6) その他

その他の日数については、「31日以上」が2件、「1日～2日」「6日～10日」がそれぞれ1件となっています。

問25-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が66.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」(23.6%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(14.9%)等の順となっています。

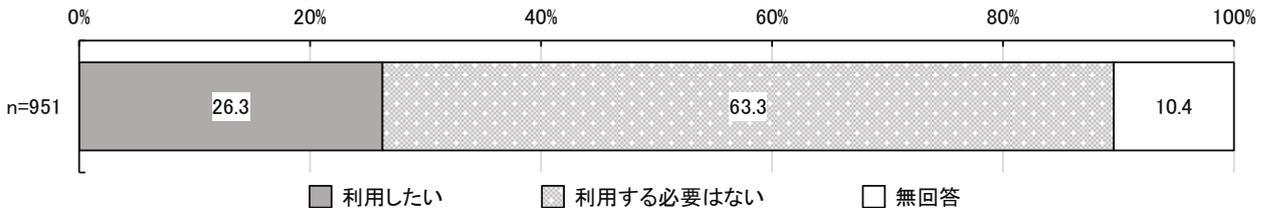


問26

宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

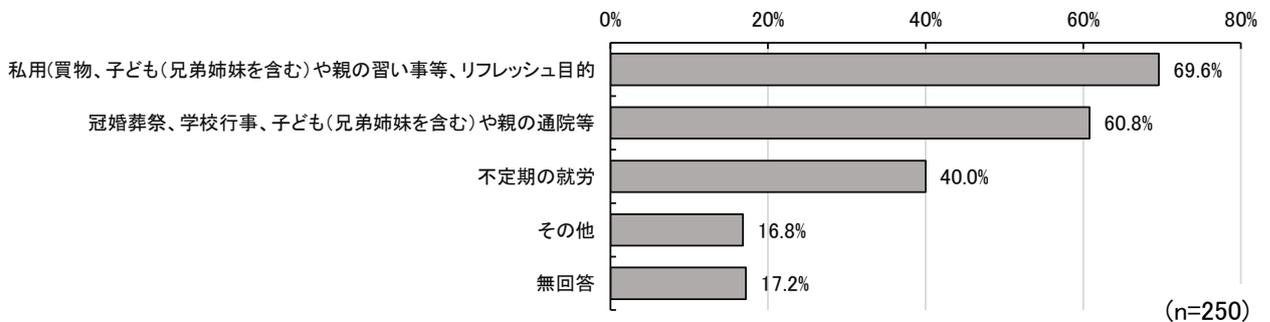
不定期の預かり保育・託児所等の利用について、「利用する必要はない」が63.3%、「利用したい」が26.3%となっています。

【不定期の預かり保育・託児所等の利用について】



「利用したい」方の利用する目的については、「私用（買物、子どもや親の習い事等、リフレッシュ目的）」が69.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（60.8%）、「不定期の就労」（40.0%）の順となっています。

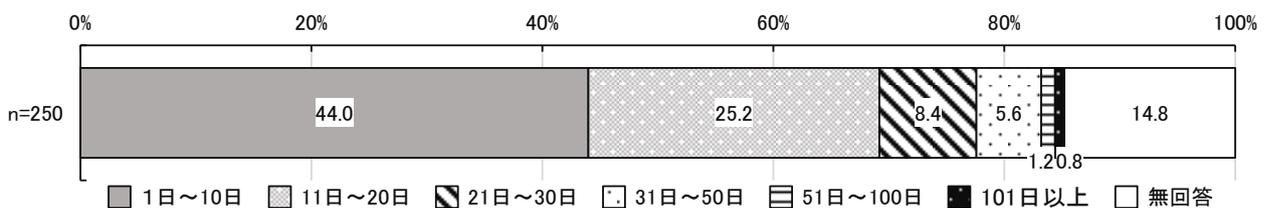
【利用目的】



(1年間の合計日数)

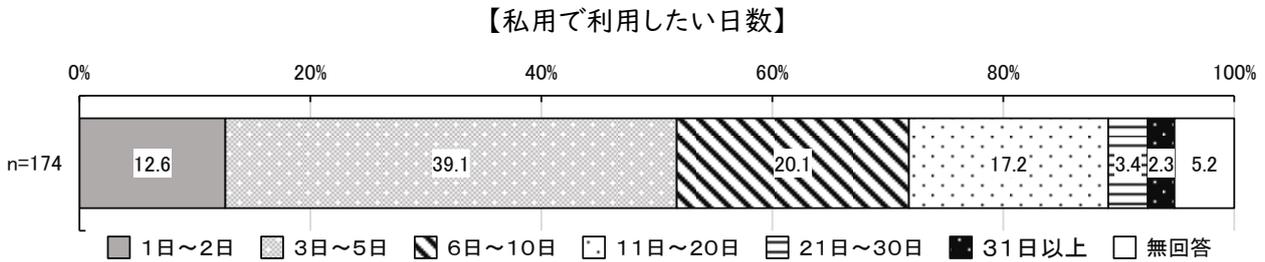
利用したい日数については、「1日～10日」が44.0%と最も高く、次いで「11日～20日」（25.2%）、「21日～30日」（8.4%）等の順となっています。

【1年間の合計日数】



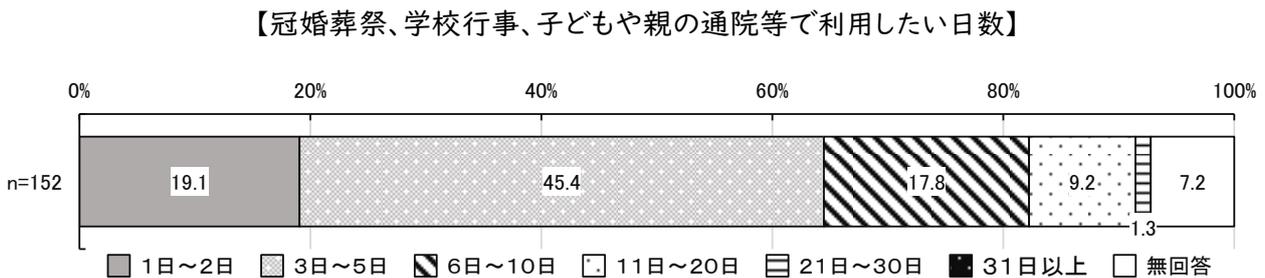
(1) 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)

私用で利用したい日数については、「3日～5日」が39.1%と最も高く、次いで「6日～10日」(20.1%)、「11日～20日」(17.2%)等の順となっています。



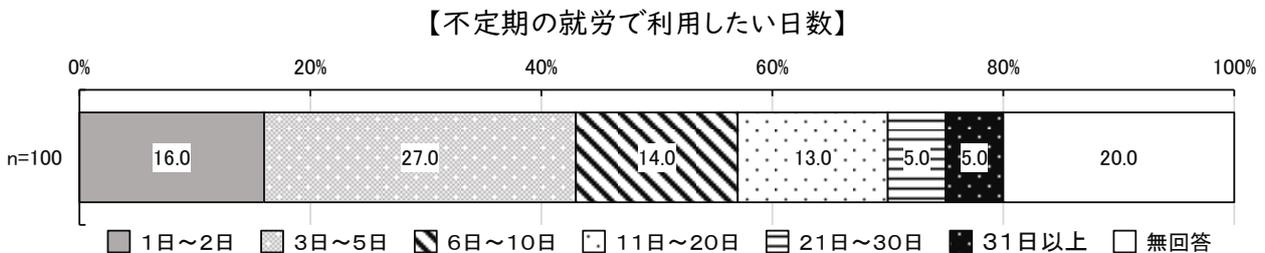
(2) 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等

冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等で利用したい日数については、「3日～5日」が45.4%と最も高く、次いで「1日～2日」(19.1%)、「6日～10日」(17.8%)等の順となっています。



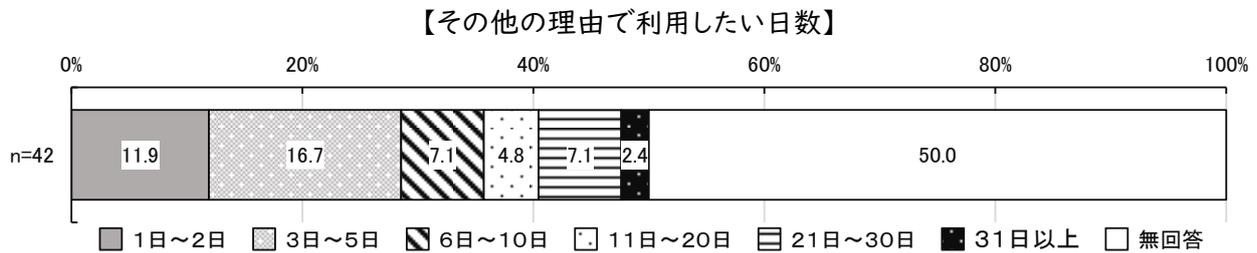
(3) 不定期の就労

不定期の就労で利用したい日数については、「3日～5日」が27.0%と最も高く、次いで「1日～2日」(16.0%)、「6日～10日」(14.0%)等の順となっています。



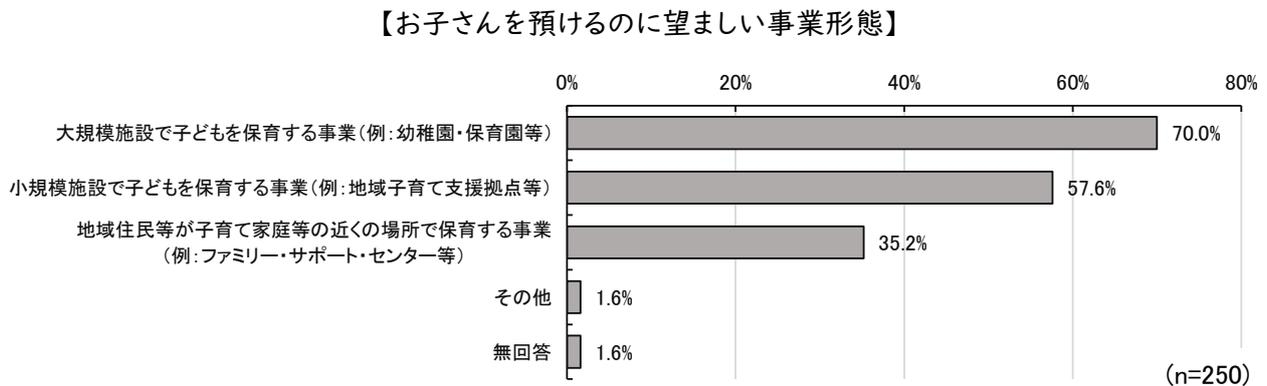
(4) その他

その他の理由で利用したい日数については、「3日～5日」が16.7%と最も高く、次いで「1日～2日」(11.9%)、「6日～10日」「21日～30日」(それぞれ7.1%)等の順となっています。



問26-1 問26の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

お子さんを預けるのに望ましい事業形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業」が70.0%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」(57.6%)、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」(35.2%)の順となっています。

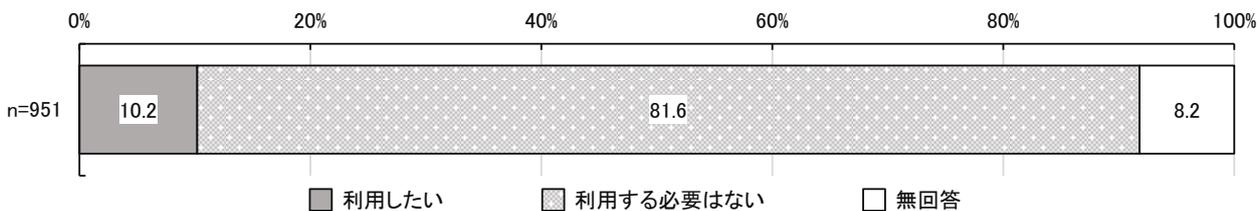


問27

宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹を含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を()内に数字でご記入ください)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

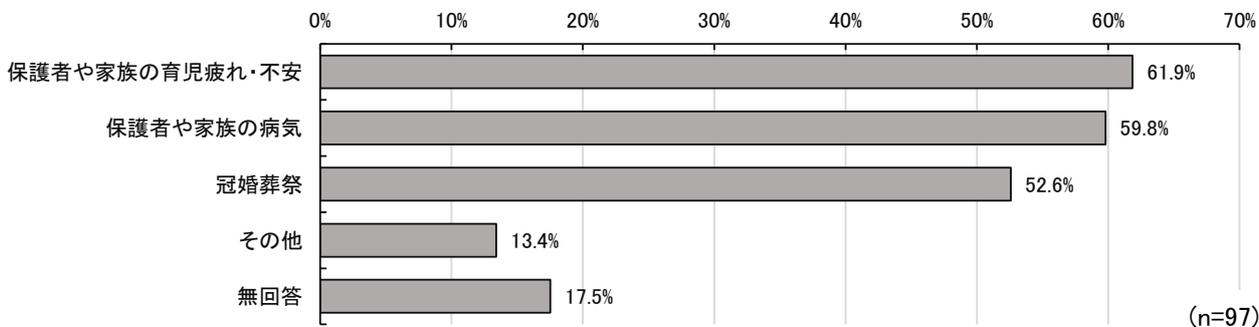
短期入所生活援助事業の利用希望については、「利用する必要はない」が81.6%、「利用したい」が10.2%となっています。

【短期入所生活援助事業の利用希望】



利用したい理由については、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が61.9%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」(59.8%)、「冠婚葬祭」(52.6%)の順となっています。

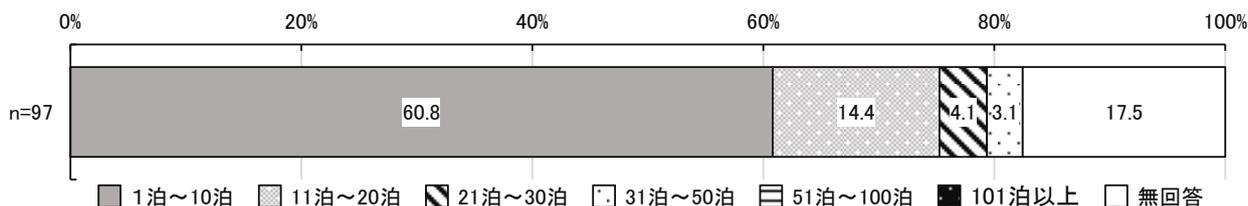
【利用したい理由】



(1年間の合計利用泊数)

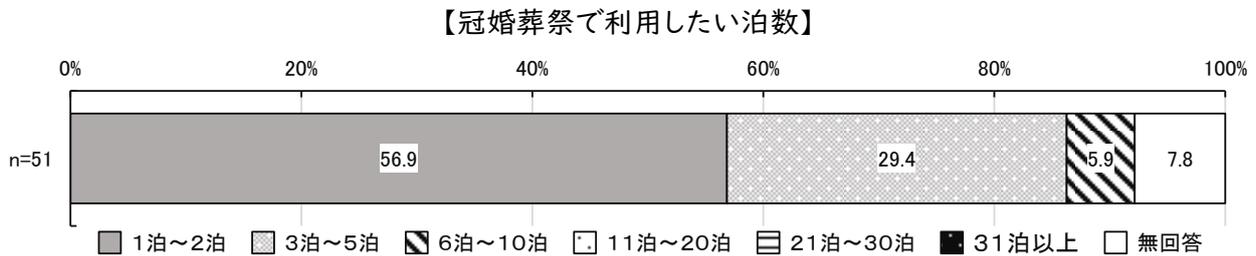
利用したい泊数については、「1泊~10泊」が60.8%と最も高く、次いで「11泊~20泊」(14.4%)、「21泊~30泊」(4.1%)等の順となっています。

【1年間の合計利用泊数】



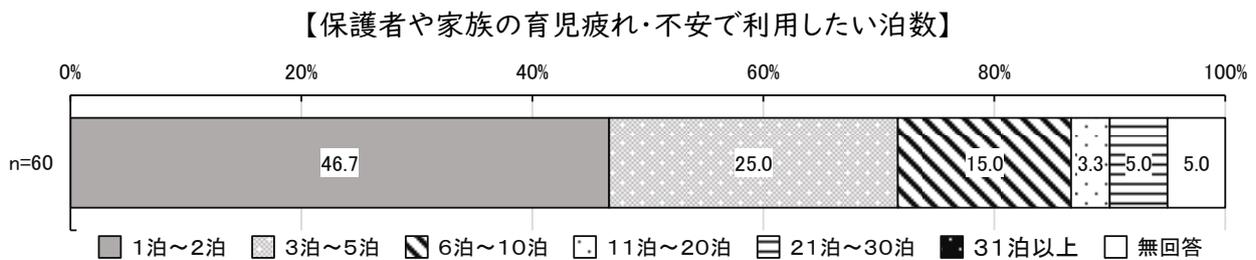
(1) 冠婚葬祭

冠婚葬祭で利用したい泊数については、「1泊～2泊」が56.9%と最も高く、次いで「3泊～5泊」(29.4%)、「6泊～10泊」(5.9%)の順となっています。



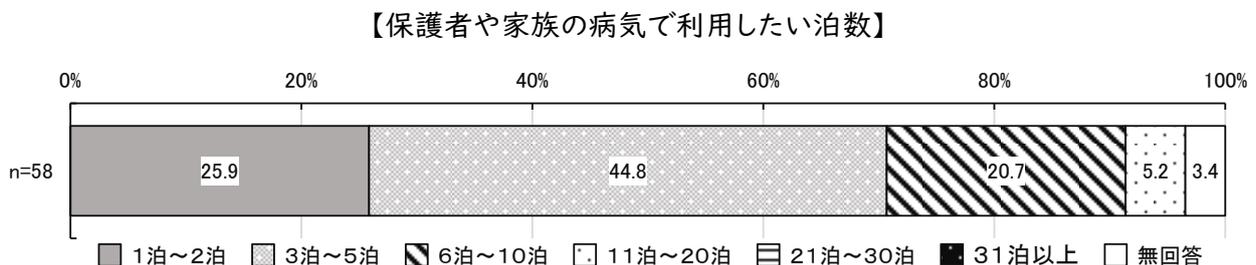
(2) 保護者や家族の育児疲れ・不安

保護者や家族の育児疲れ・不安で利用した泊数については、「1泊～2泊」が46.7%と最も高く、次いで「3泊～6泊」(25.0%)、「6泊～10泊」(15.0%)等の順となっています。



(3) 保護者や家族の病気

保護者や家族の病気で利用したい泊数については、「3泊～5泊」が44.8%と最も高く、次いで「1泊～2泊」(25.9%)、「6泊～10泊」(20.7%)等の順となっています。



(4) その他

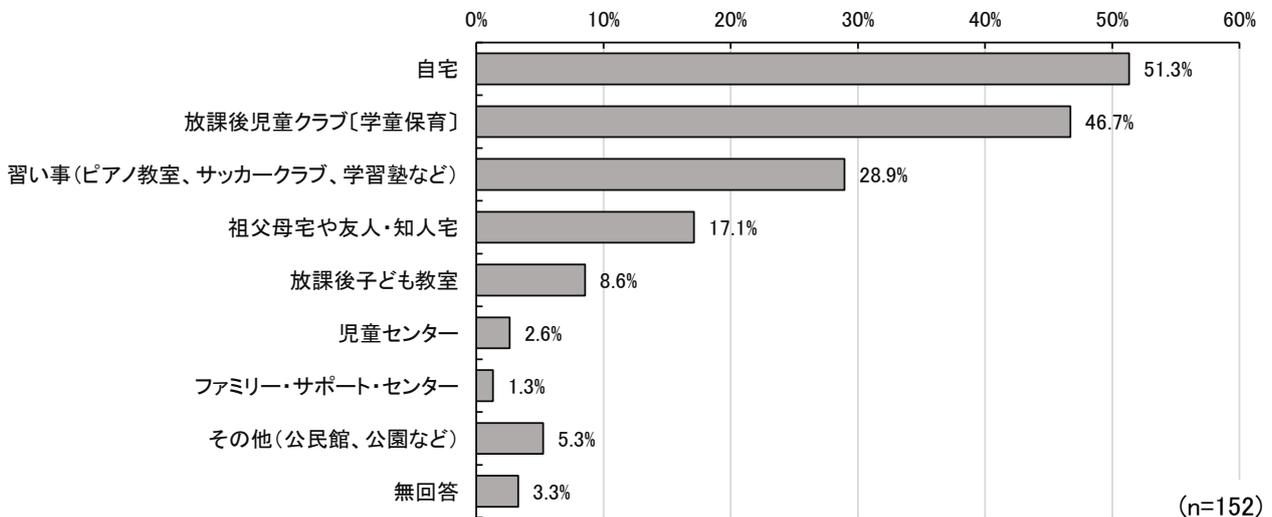
その他の理由で利用したい泊数については、「1泊～2泊」が4件、「3泊～5泊」「6泊～10泊」「11泊～20泊」がそれぞれ1件となっています。

10 小学校就学後の放課後の過ごし方について(5歳以上のみ)

問28 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ[学童保育]」の場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

小学校低学年時の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについては、「自宅」が51.3%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ[学童保育]」(46.7%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(28.9%)等の順となっています。

【放課後の時間を過ごさせたい場所(低学年)】

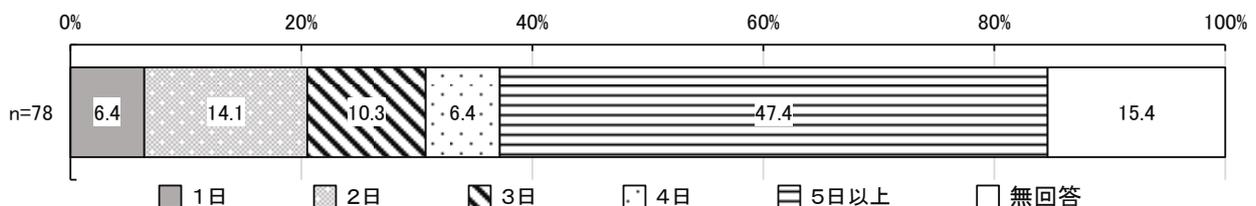


(1週当たりの利用日数)

(1) 自宅

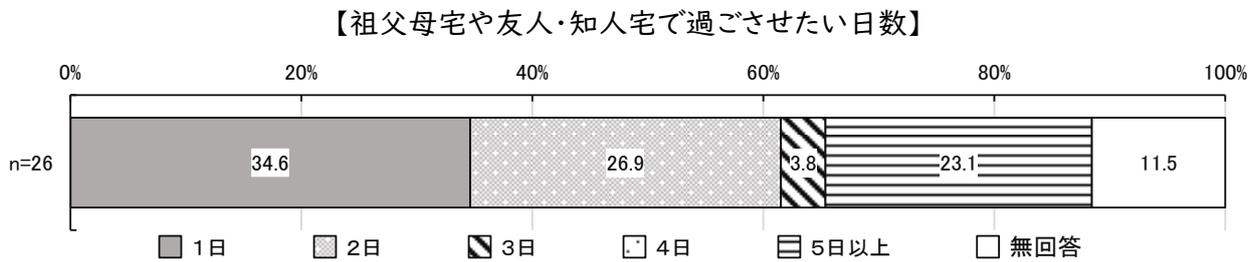
自宅で過ごさせたい日数については、「5日以上」が47.4%と最も高く、次いで「2日」(14.1%)、「3日」(10.3%)等の順となっています。

【自宅で過ごさせたい日数】



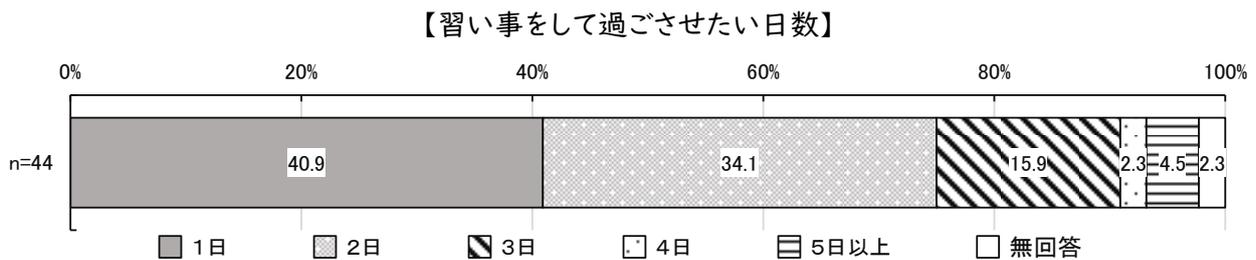
(2) 祖父母宅や友人・知人宅

祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数については、「1日」が34.6%と最も高く、次いで「2日」(26.9%)、「5日以上」(23.1%)等の順となっています。



(3) 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

習い事をして過ごさせたい日数については、「1日」が40.9%と最も高く、次いで「2日」(34.1%)、「3日」(15.9%)等の順となっています。

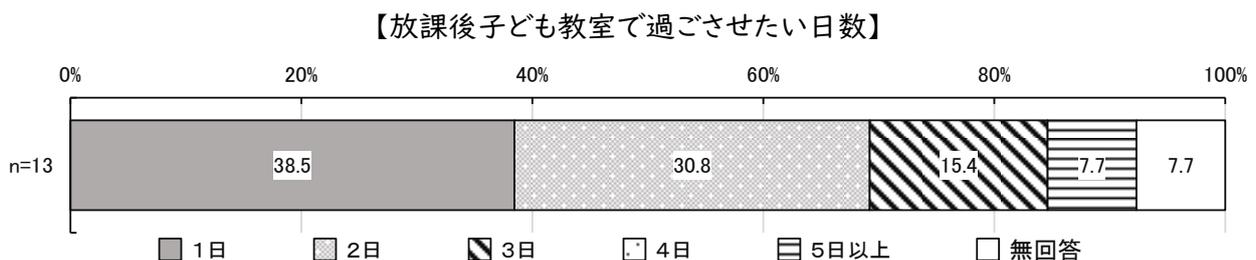


(4) 児童センター

児童センターで過ごさせたい日数については、「2日」「3日」「5日以上」がそれぞれ1件となっています。

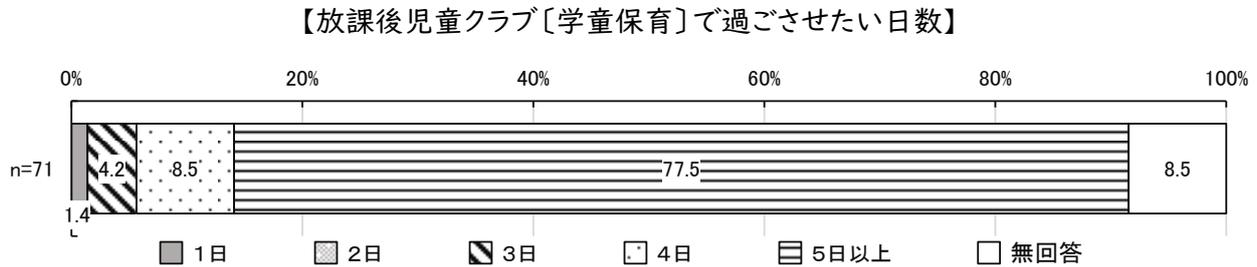
(5) 放課後子ども教室

放課後子ども教室で過ごさせたい日数については、「1日」が38.5%と最も高く、次いで「2日」(30.8%)、「3日」(15.4%)等の順となっています。

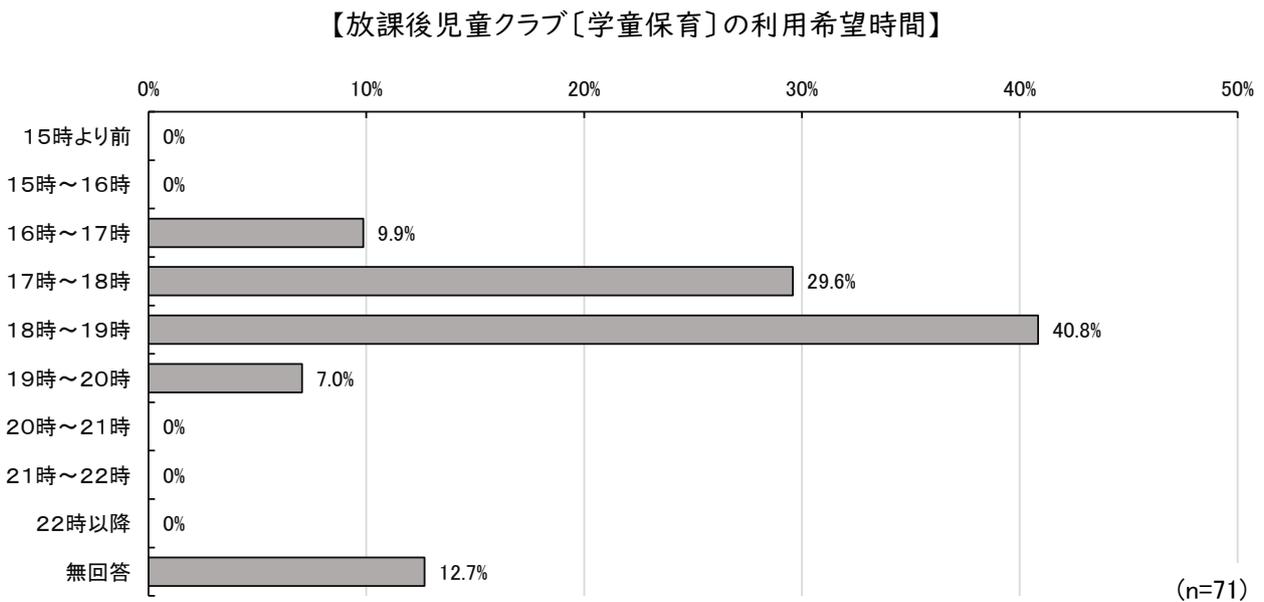


(6) 放課後児童クラブ〔学童保育〕

放課後児童クラブ〔学童保育〕で過ごさせたい日数については、「5日以上」が77.5%と最も高く、次いで「4日」(8.5%)、「3日」(4.2%)等の順となっています。



放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望時間(下校時から()時まで)については、「18時～19時」が40.8%と最も高く、次いで「17時～18時」(29.6%)、「16時～17時」(9.9%)等の順となっています。



(7) ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターで過ごさせたい日数については、「3日」が1件となっています。

(8) その他(公民館、公園など)

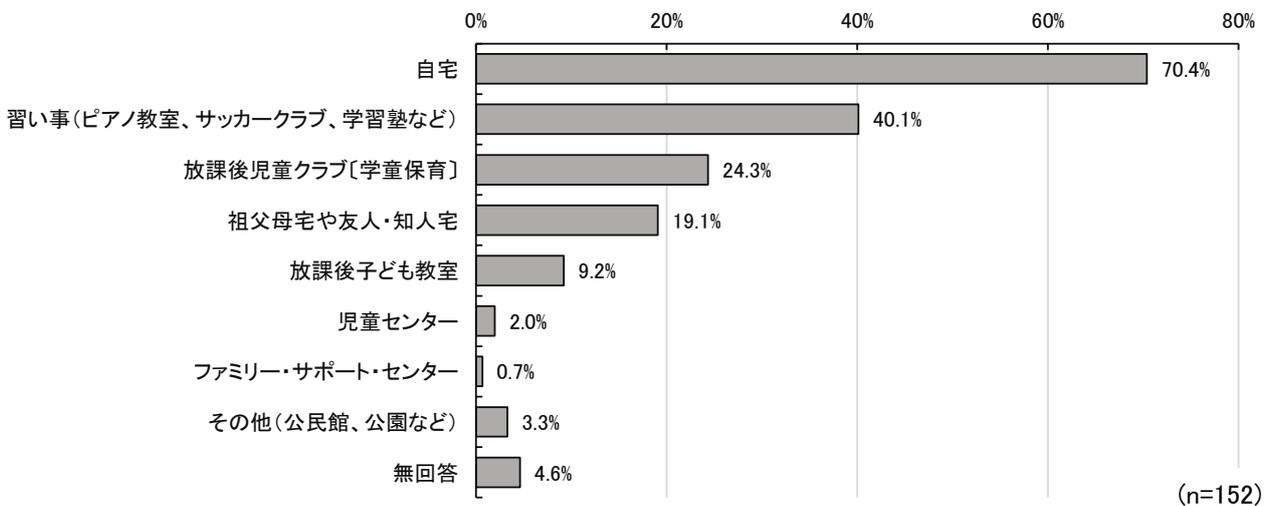
その他(公民館、公園など)で過ごさせたい日数については、「1日」「2日」がそれぞれ2件、「3日」「4日」「5日以上」がそれぞれ1件となっています。

問29

宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

小学校高学年時の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについては、「自宅」が70.4%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(40.1%)、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」(24.3%)等の順となっています。

【放課後の時間を過ごさせたい場所(高学年)】

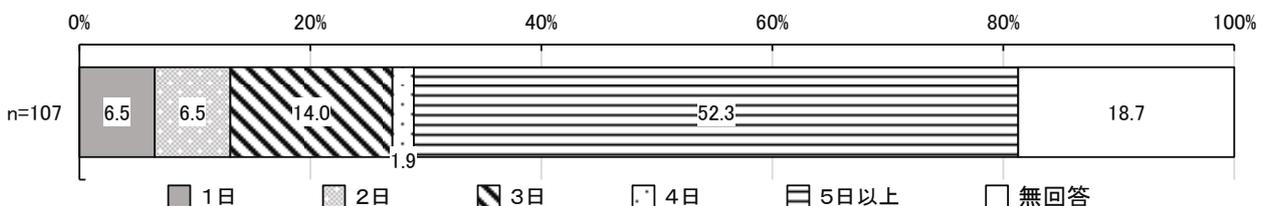


(1週当たりの利用日数)

(1) 自宅

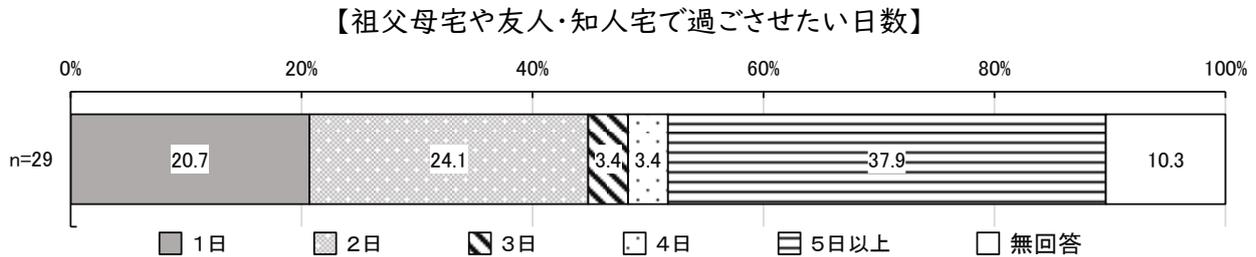
自宅で過ごさせたい日数については、「5日以上」が52.3%と最も高く、次いで「3日」(14.0%)、「1日」「2日」(それぞれ6.5%)等の順となっています。

【自宅で過ごさせたい日数】



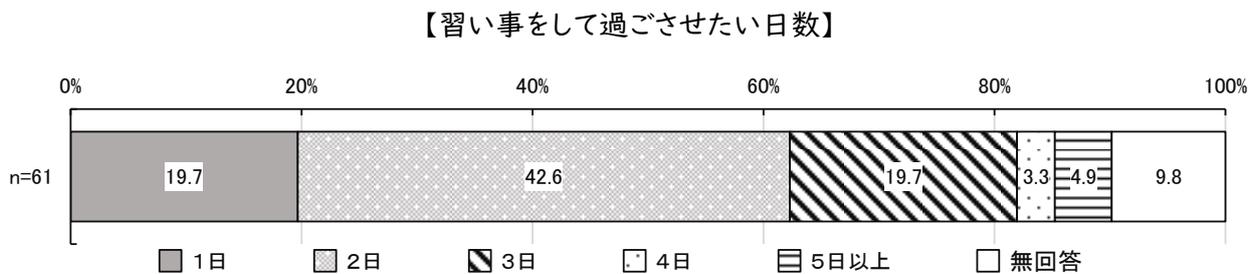
(2) 祖父母宅や友人・知人宅

祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数については、「5日以上」が37.9%と最も高く、次いで「2日」(24.1%)、「1日」(20.7%)等の順となっています。



(3) 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)をして過ごさせたい日数については、「2日」が42.6%と最も高く、次いで「1日」「3日」(それぞれ19.7%)等の順となっています。

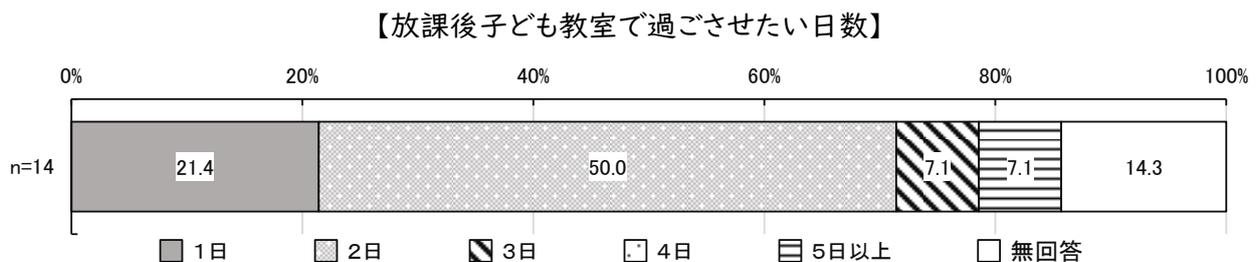


(4) 児童センター

児童センターで過ごさせたい日数については、「1日」「3日」がそれぞれ1件となっています。

(5) 放課後子ども教室

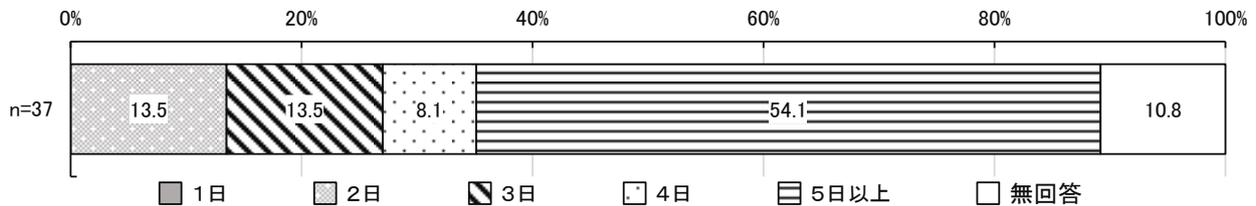
放課後子ども教室で過ごさせたい日数については、「2日」が50.0%と最も高く、次いで「1日」(21.4%)、「3日」「5日以上」(それぞれ7.1%)の順となっています。



(6) 放課後児童クラブ〔学童保育〕

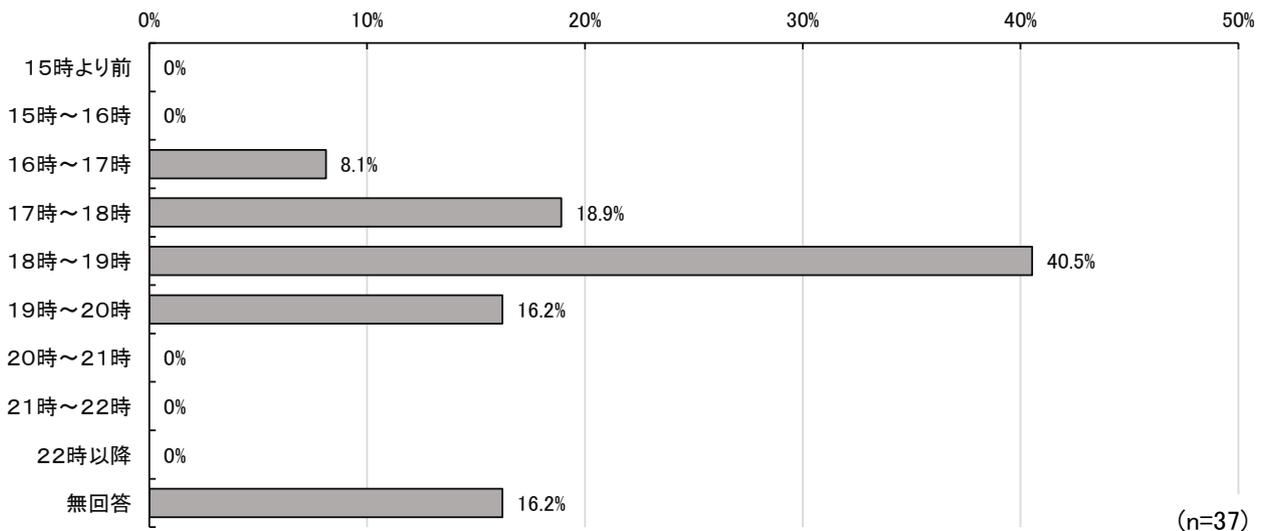
放課後児童クラブ〔学童保育〕で過ごさせたい日数については、「5日以上」が54.1%と最も高く、次いで「1日」「2日」（それぞれ13.5%）等の順となっています。

【放課後児童クラブ〔学童保育〕で過ごさせたい日数】



放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望時間（下校時から（ ）時まで）については、「18時～19時」が40.5%と最も高く、次いで「17時～18時」（18.9%）、「19時～20時」（16.2%）等の順となっています。

【放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望時間】



(7) ファミリー・サポート・センター

有効回答はありません。

(8) その他（公民館、公園など）

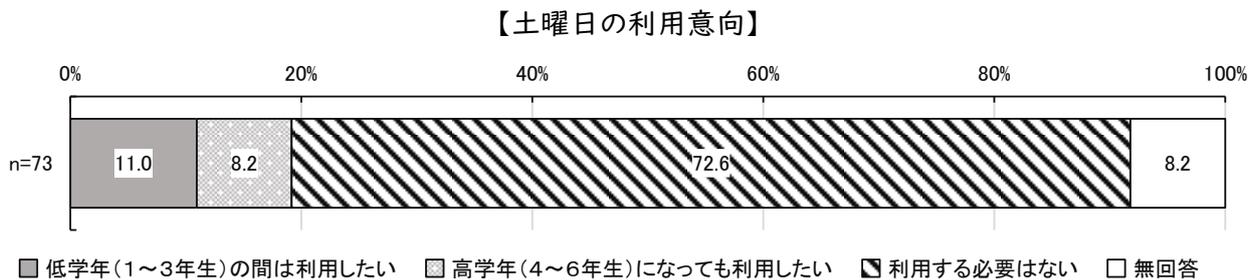
その他（公民館、公園など）で過ごさせたい日数については、「2日」が3件、「1日」が2件となっています。

問30

問28または問29で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。次の(1)、(2)のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

(土曜日)

土曜日の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用意向については、「利用する必要はない」が72.6%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(11.0%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(8.2%)の順となっています。



「低学年(1～3年生)の間は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が2件、「7時～8時」「9時～10時」「11時以降」がそれぞれ1件となっています。

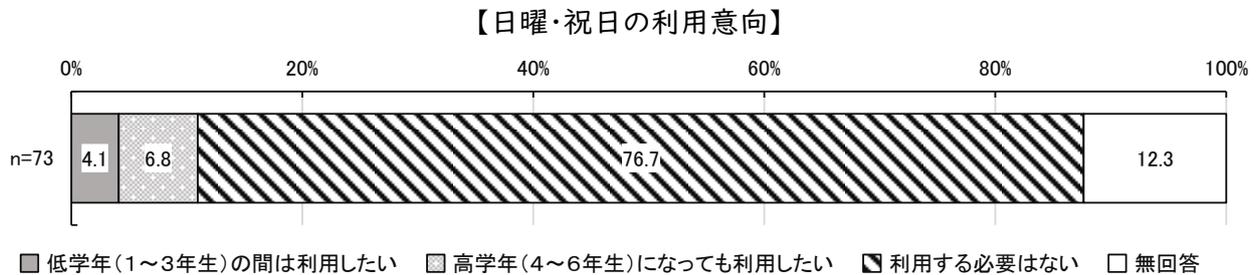
「低学年(1～3年生)の間は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時～18時」が2件、「16時～17時」「19時～20時」がそれぞれ1件となっています。

「高学年(4～6年生)になっても利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が3件、「9時～10時」が1件となっています。

「高学年(4～6年生)になっても利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「19時～20時」が2件、「16時～17時」「18時～19時」がそれぞれ1件となっています。

（日曜・祝日）

日曜・祝日の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用意向については、「利用する必要はない」が76.7%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（6.8%）、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（4.1%）の順となっています。



「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が2件となっています。

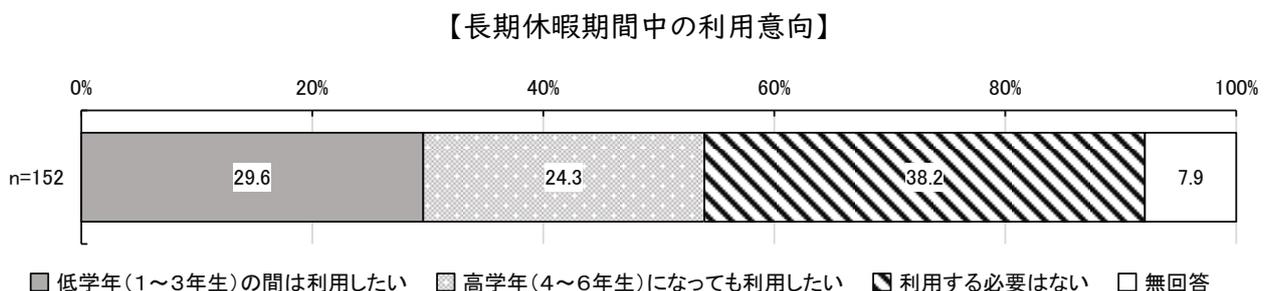
「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時～18時」「18時～19時」がそれぞれ1件となっています。

「高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が2件、「7時～8時」「9時～10時」がそれぞれ1件となっています。

「高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「19時～20時」が3件、「16時～17時」が1件となっています。

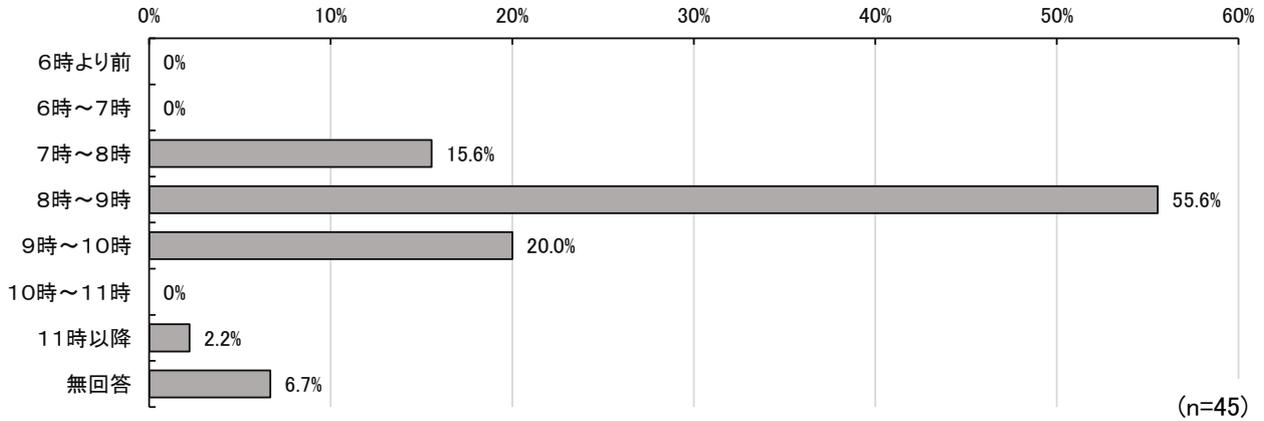
問31 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

長期休暇期間中の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用意向については、「利用する必要はない」が38.2%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（29.6%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（24.3%）の順となっています。



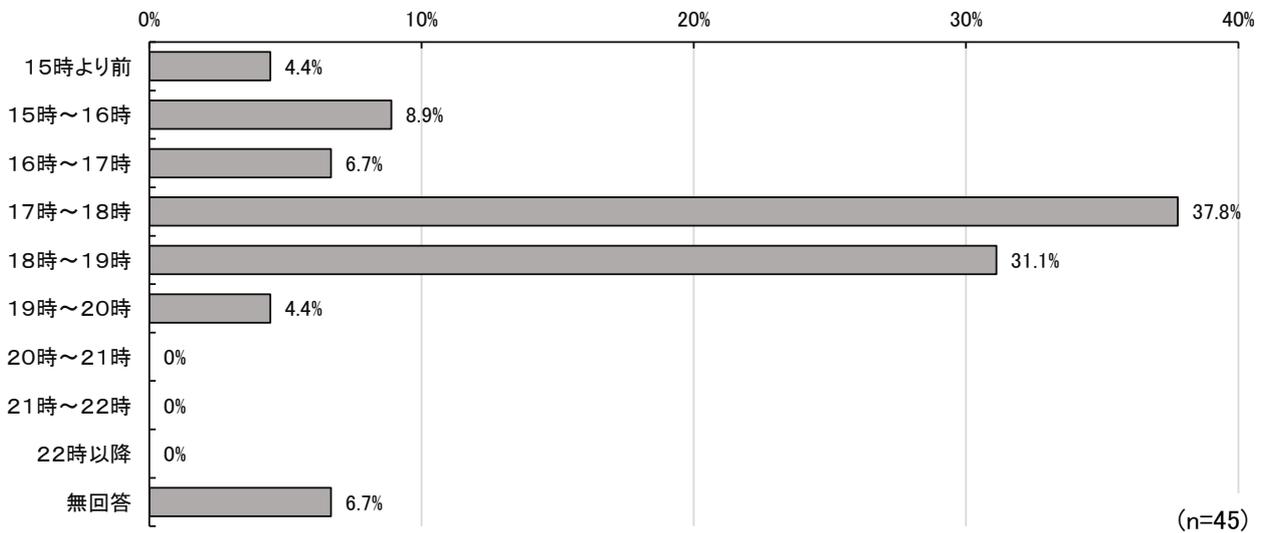
「低学年(1~3年生)の間は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時~9時」が55.6%と最も高く、次いで「9時~10時」(20.0%)、「7時~8時」(15.6%)等の順となっています。

【長期休暇期間中の利用開始時刻(低学年)】



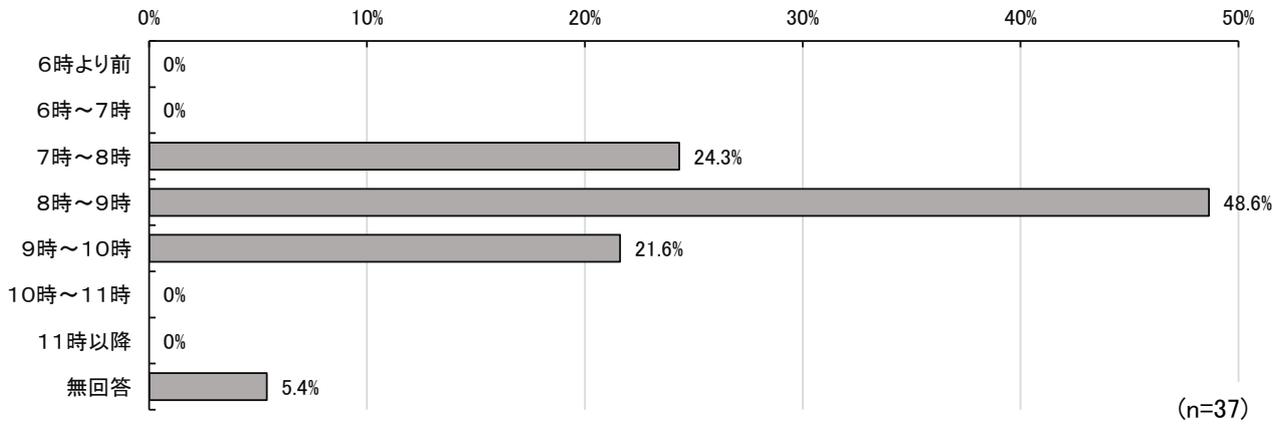
「低学年(1~3年生)の間は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時~18時」が37.8%と最も高く、次いで「18時~19時」(31.1%)、「15時~16時」(8.9%)等の順となっています。

【長期休暇期間中の利用終了時刻(低学年)】



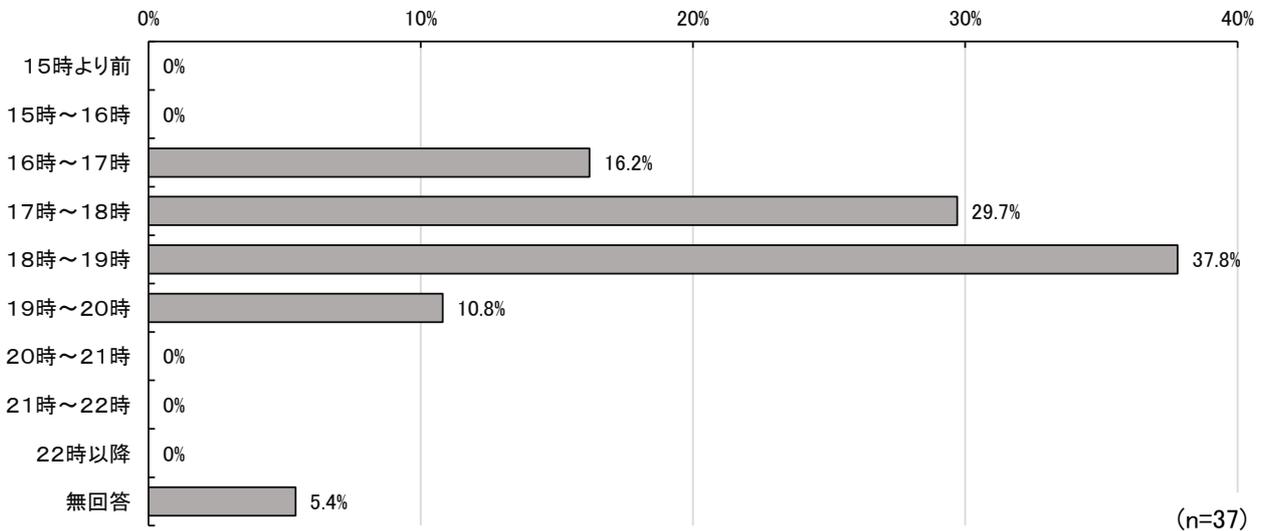
「高学年(4～6年生)になっても利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が48.6%と最も高く、次いで「7時～8時」(24.3%)、「9時～10時」(21.6%)の順となっています。

【長期休暇期間中の利用開始時刻(高学年)】



「高学年(4～6年生)になっても利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「18時～19時」が37.8%と最も高く、次いで「17時～18時」(29.7%)、「16時～17時」(16.2%)等の順となっています。

【長期休暇期間中の利用終了時刻(高学年)】



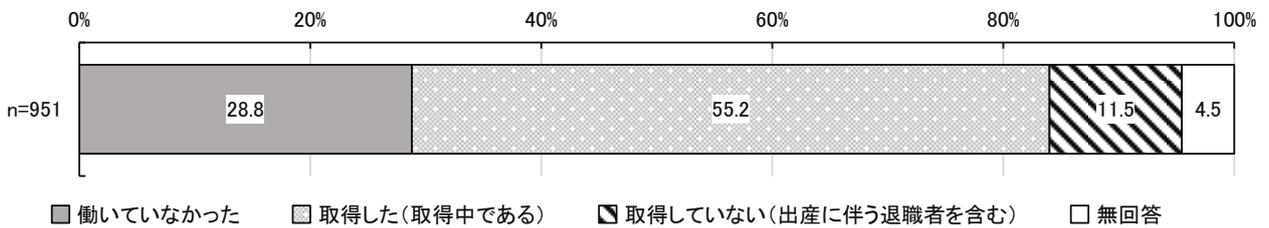
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(母親)

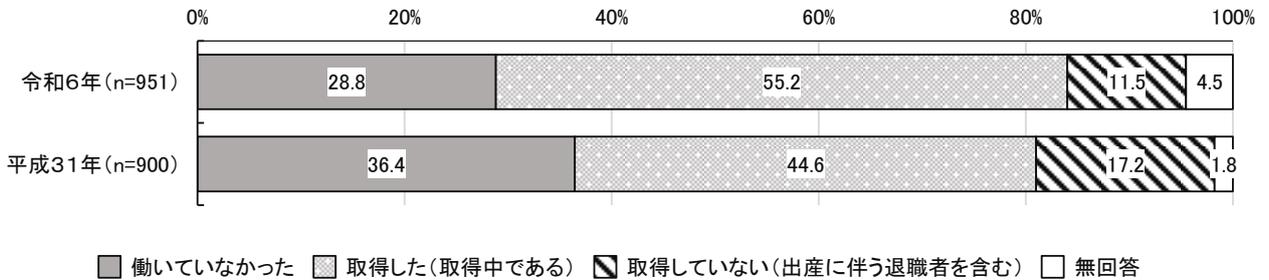
育児休業の取得の有無については、「取得した(取得中である)」が55.2%と最も高く、次いで「働いていなかった」(28.8%)、「取得していない(出産に伴う退職者を含む)」(11.5%)の順となっています。

【育児休業の取得の有無(母親)】



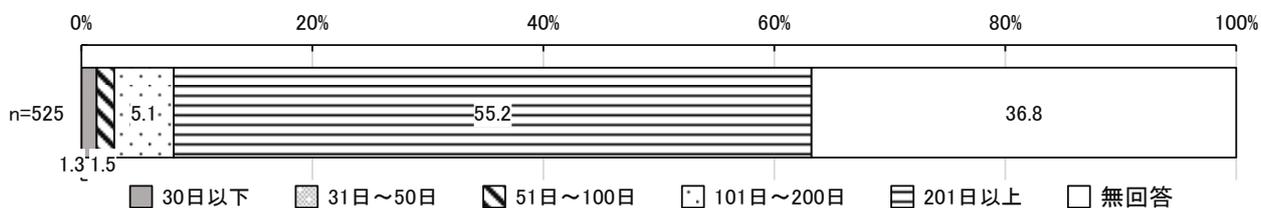
前回調査と比較すると、令和6年調査では、「働いていなかった」が平成31年調査よりも7.6ポイント低くなっています。

【前回比較】



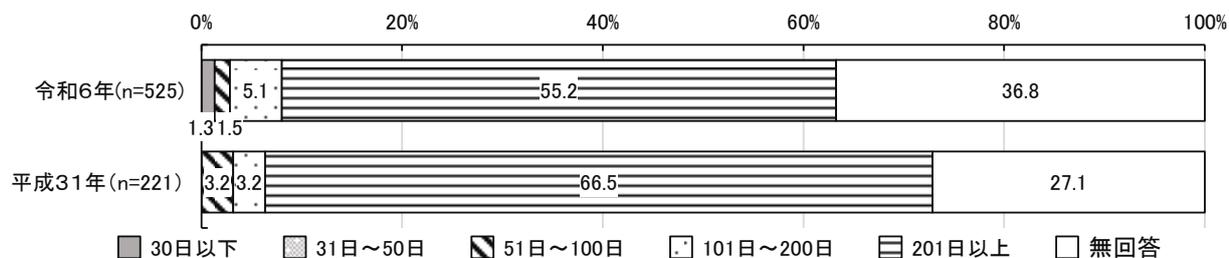
育児休業の取得期間については、「201日以上」が55.2%と最も高く、次いで「101日～200日」(5.1%)等の順となっています。

【育児休業の取得期間(母親)】



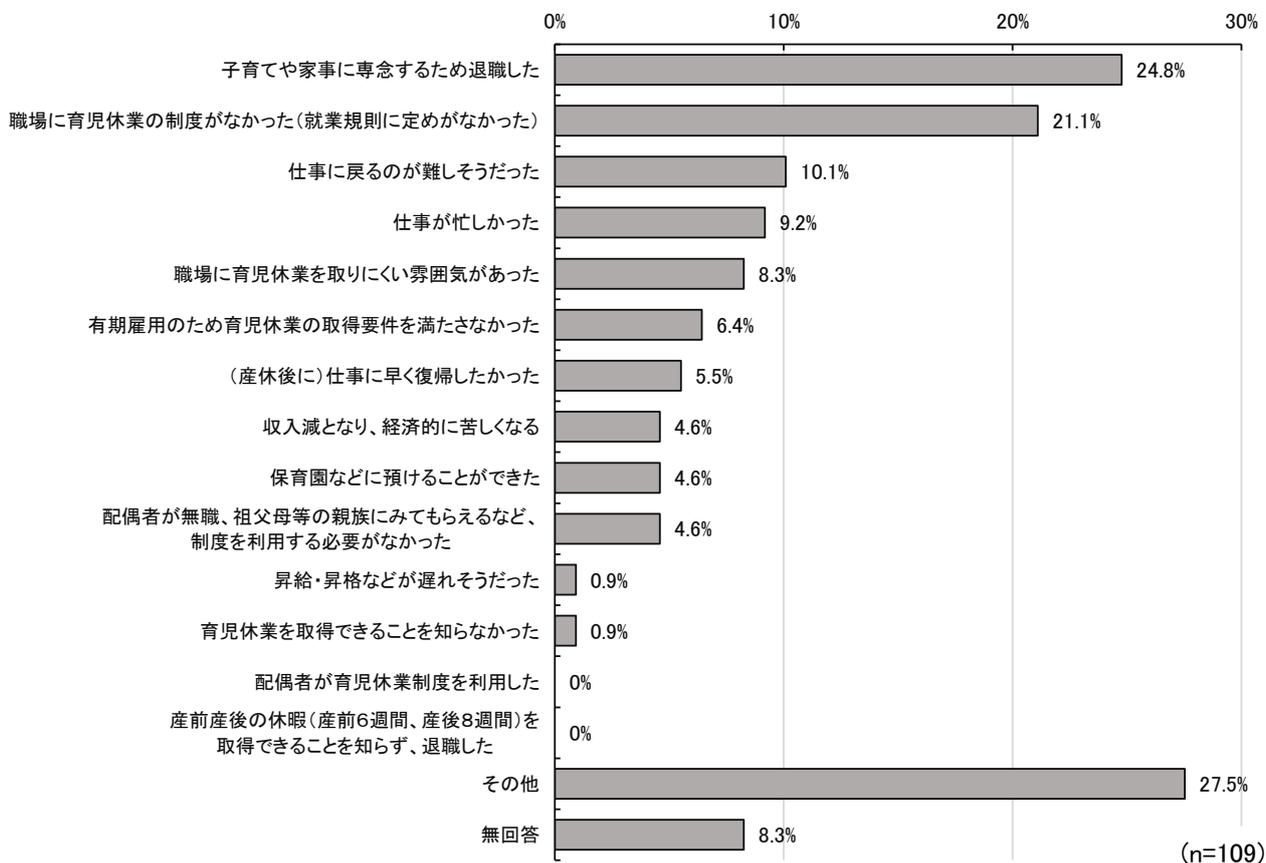
前回調査と比較すると、令和6年調査では、「201日以上」が平成31年調査よりも11.3ポイント低くなっていますが、無回答が多いので、一概に比較はできません。

【前回比較】



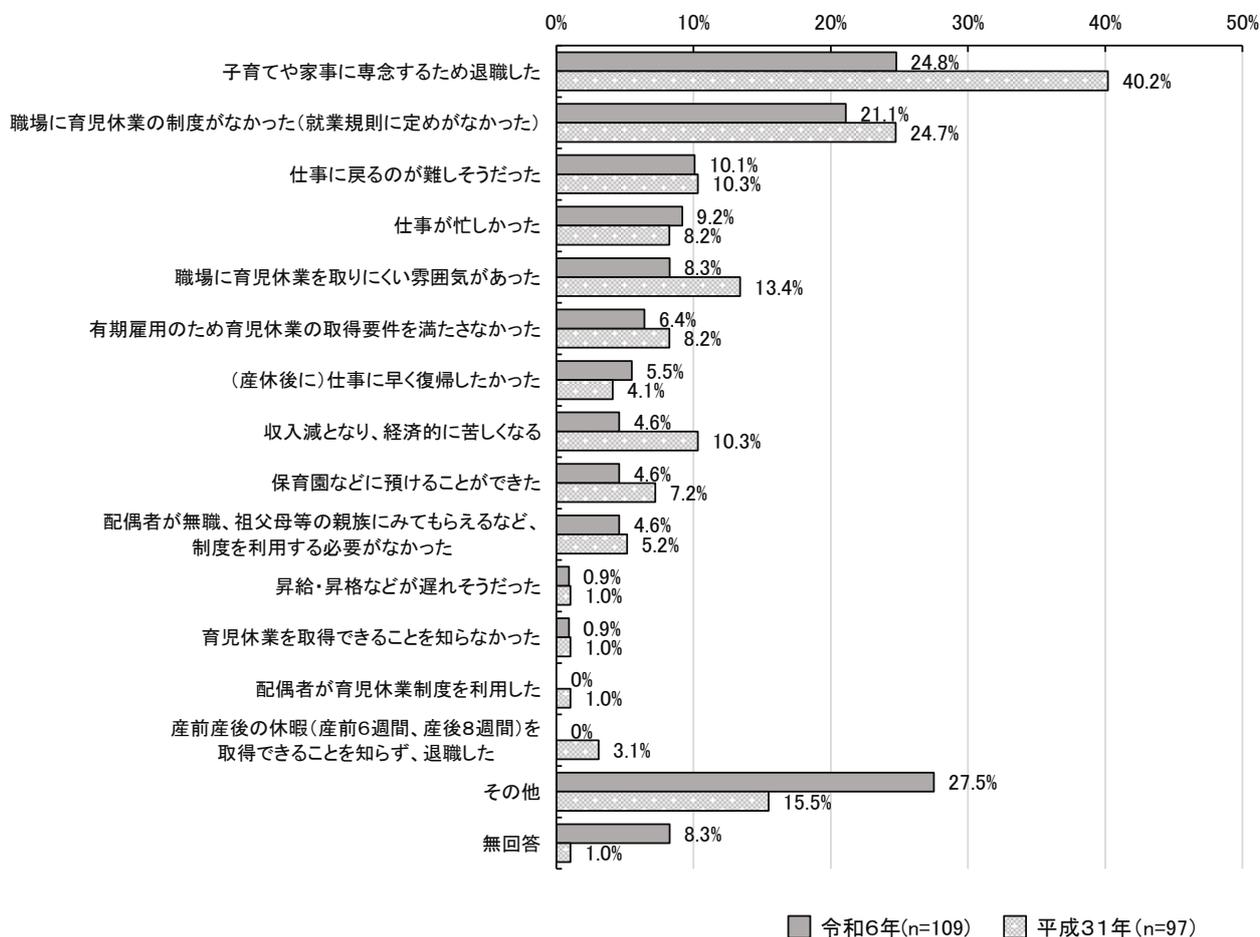
育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するために退職した」が24.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(21.1%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(10.1%)等の順となっています。

【育児休業を取得していない理由(母親)】



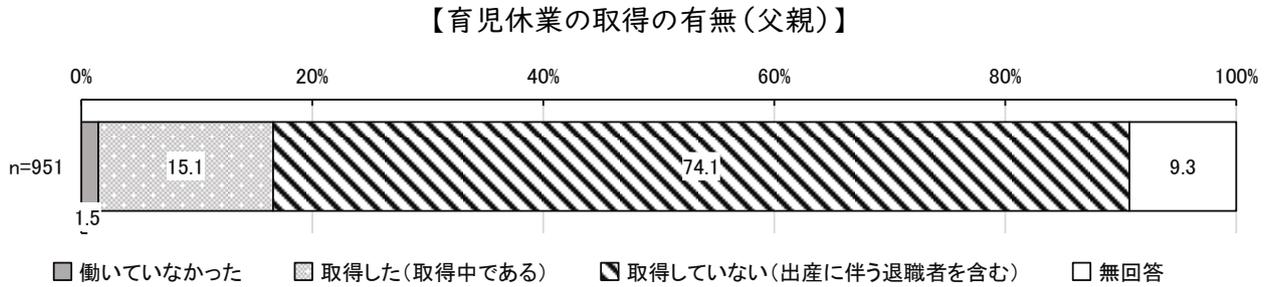
前回調査と比較すると、令和6年調査では、「子育てや家事に専念するため退職した」が平成31年調査よりも15.4ポイント割合が低くなっています。

【前回比較】

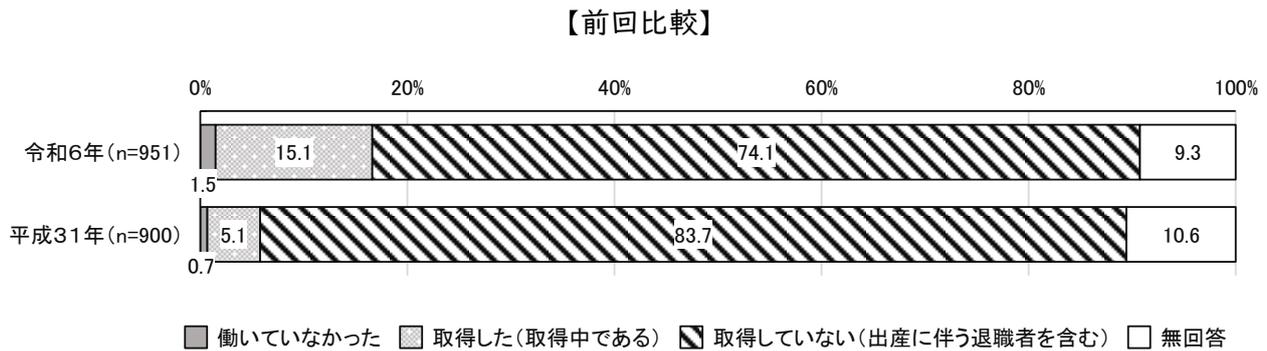


(父親)

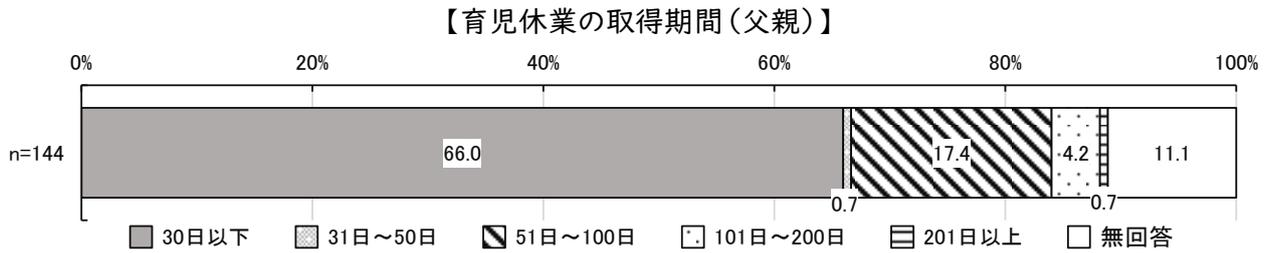
育児休業の取得の有無については、「取得していない(出産に伴う退職者を含む)」が74.1%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」(15.1%)、「働いていなかった」(1.5%)の順となっています。



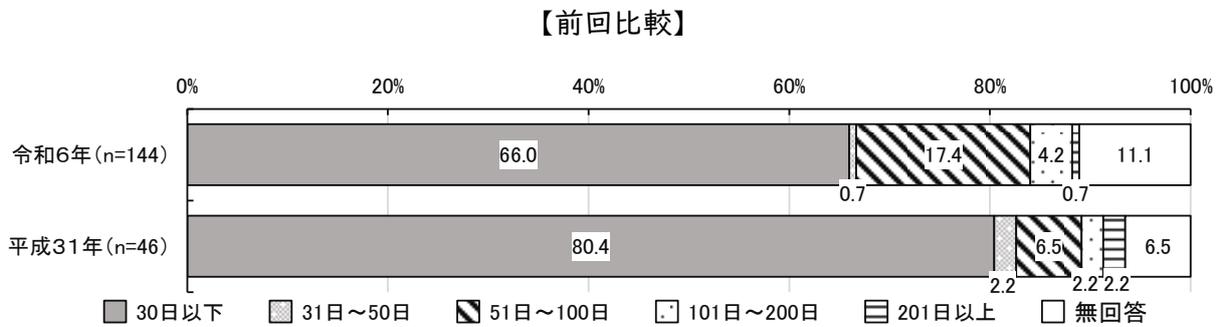
前回調査と比較すると、令和6年調査では、「取得した(取得中である)」が平成31年調査よりも10.0ポイント高くなっています。



育児休業の取得期間については、「30日以下」が66.0%と最も高く、次いで「51日～100日」(17.4%)、「101日～200日」(4.2%)等の順となっています。

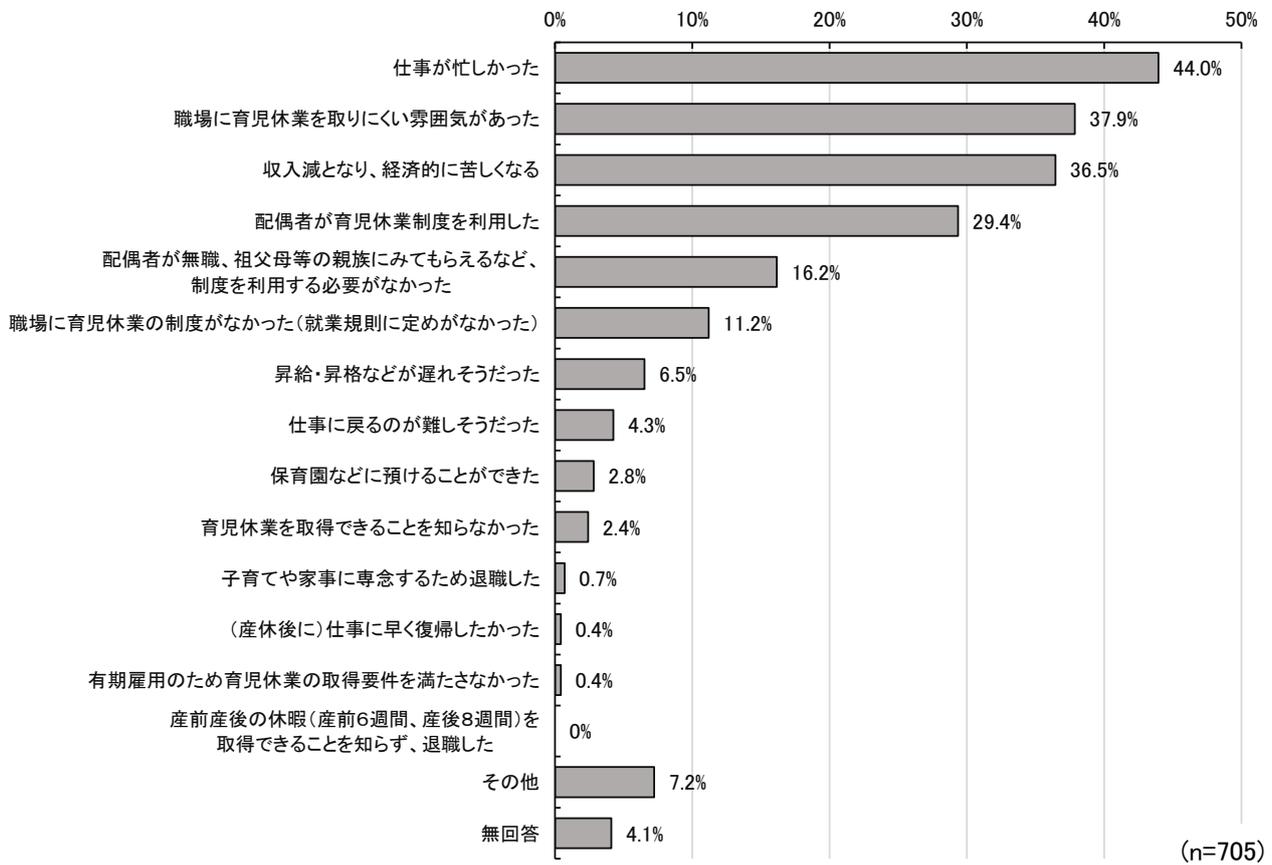


前回調査と比較すると、令和6年調査では、「51日～100日」が平成31年調査よりも10.9ポイント高くなっています。



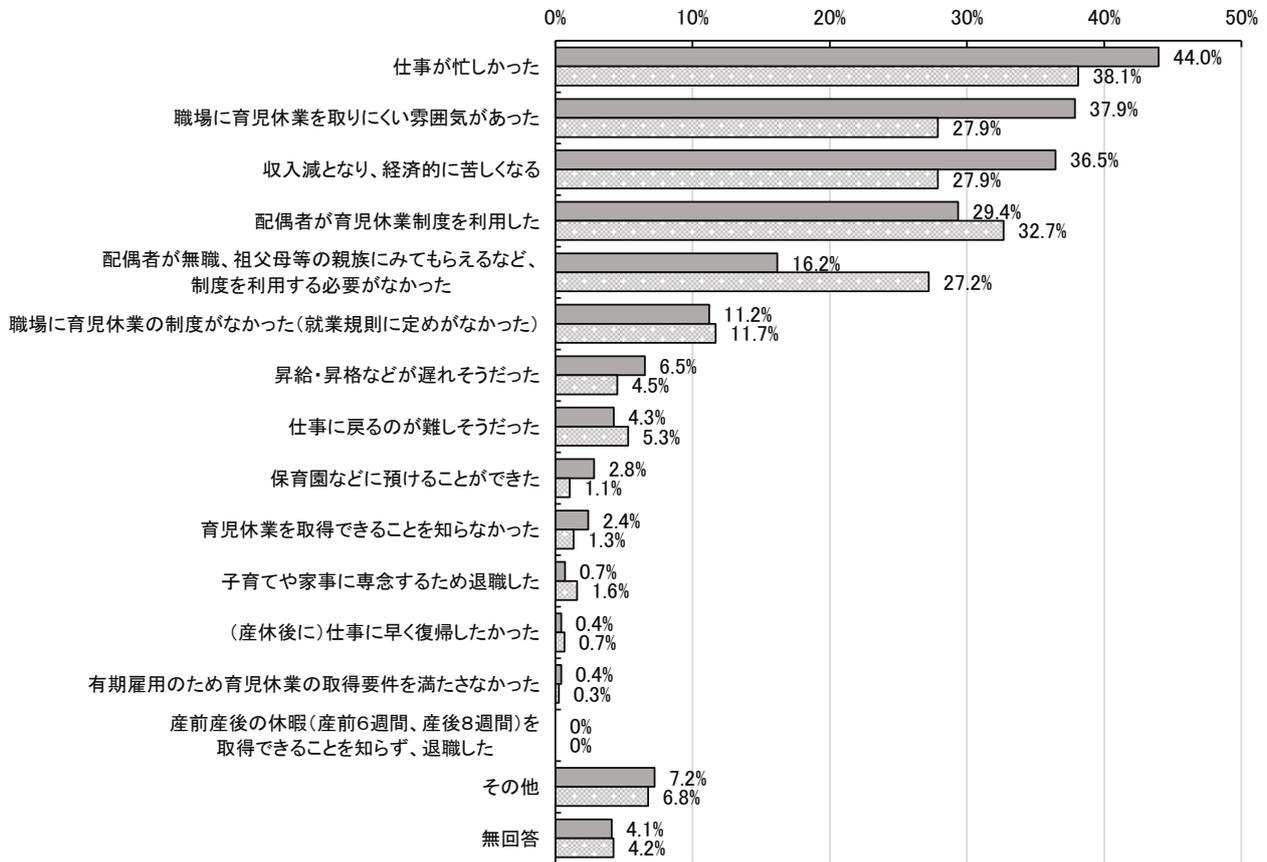
育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が44.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(37.9%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(36.5%)等の順となっています。

【育児休業を取得していない理由(父親)】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」が平成31年調査よりも割合が高く、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が低くなっています。

【前回比較】



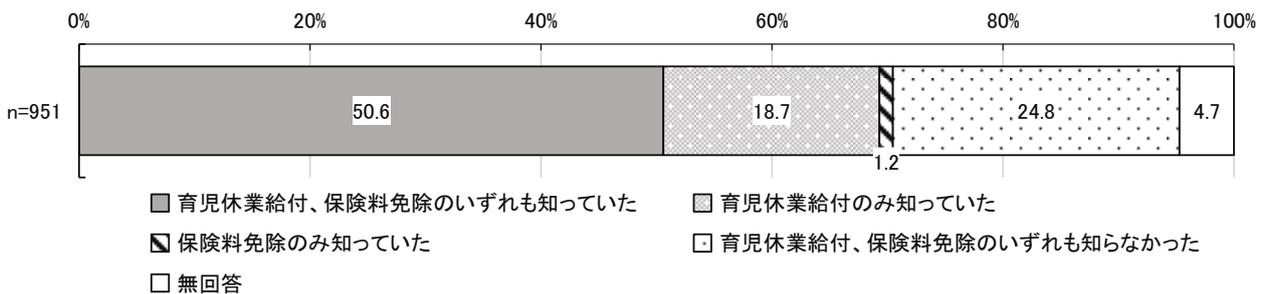
■ 令和6年(n=705) ■ 平成31年(n=753)

問32-1

子どもが原則1歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法廷の育児休業および企業が法廷を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じていたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業の制度の認知状況については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が50.6%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」（24.8%）、「育児休業給付のみ知っていた」（18.7%）等の順となっています。

【育児休業の制度の認知状況】



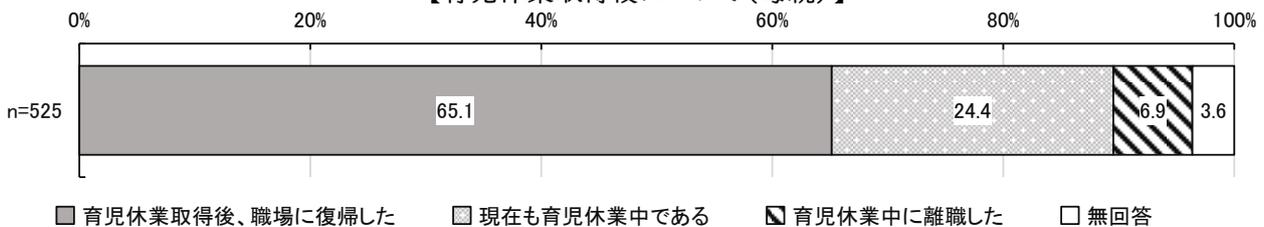
問32-2

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（母親）

育児休業取得後については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が65.1%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」（24.4%）、「育児休業中に離職した」（6.9%）の順となっています。

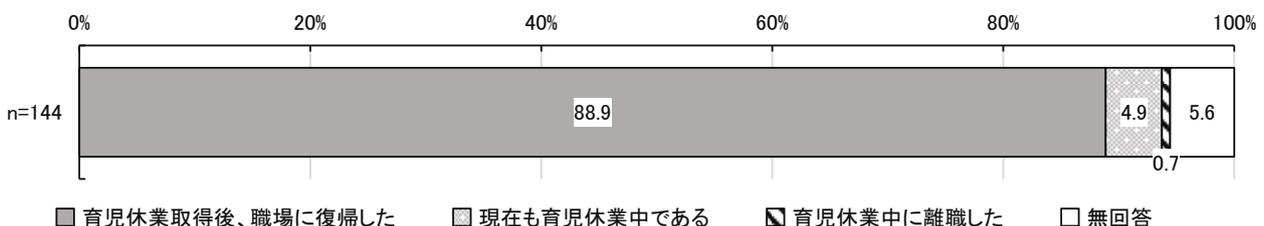
【育児休業取得後について（母親）】



（父親）

育児休業取得後については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が88.9%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」（4.9%）、「育児休業中に離職した」（0.7%）の順となっています。

【育児休業取得後について（父親）】



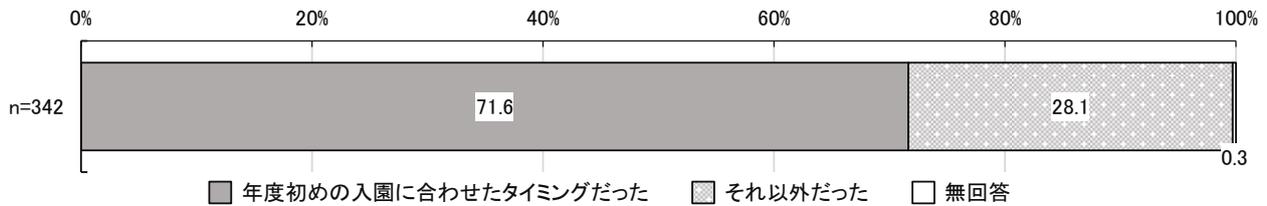
問32-3

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

(母親)

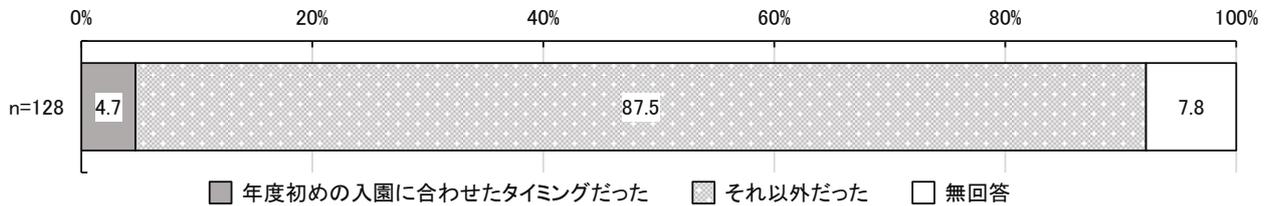
職場復帰をしたタイミングについては、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が71.6%、「それ以外だった」が28.1%となっています。

【職場復帰のタイミング(母親)】

**(父親)**

職場復帰をしたタイミングについては、「それ以外だった」が87.5%、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が4.7%となっています。

【職場復帰のタイミング(父親)】



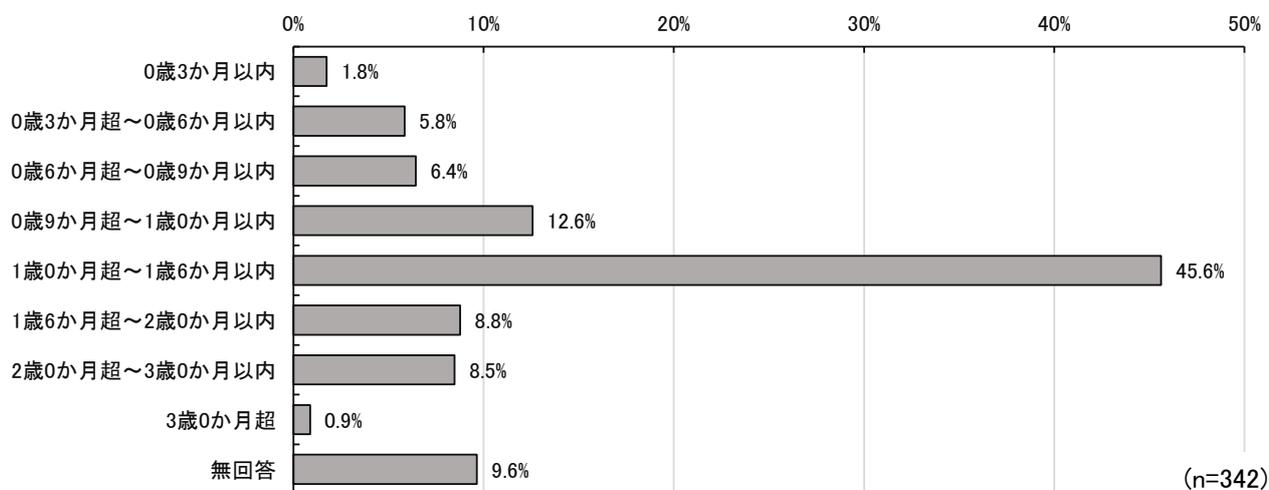
問32-4

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(母親)

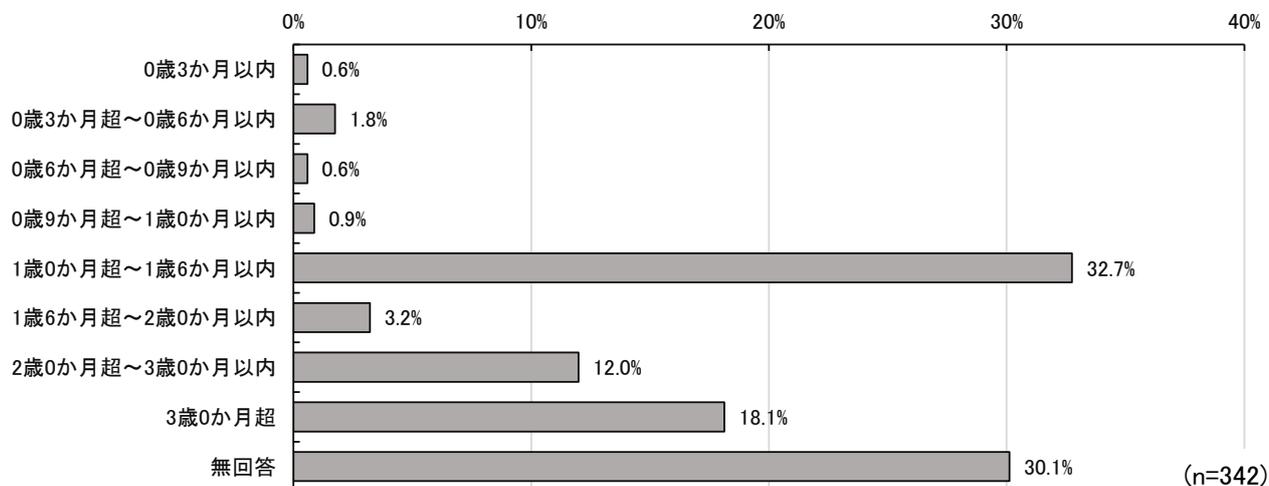
実際の取得期間については、「1歳0か月超～1歳6か月以内」が45.6%と最も高く、次いで「0歳9か月超～1歳0か月以内」(12.6%)、「0歳3か月超～0歳6か月以内」(5.8%)、「0歳6か月超～0歳9か月以内」(6.4%)等の順となっています。

【実際の取得期間(母親)】



希望の取得期間については、「1歳0か月超～1歳6か月以内」が32.7%と最も高く、次いで「3歳0か月超」(18.1%)、「2歳0か月超～3歳0か月以内」(12.0%)等の順となっています。

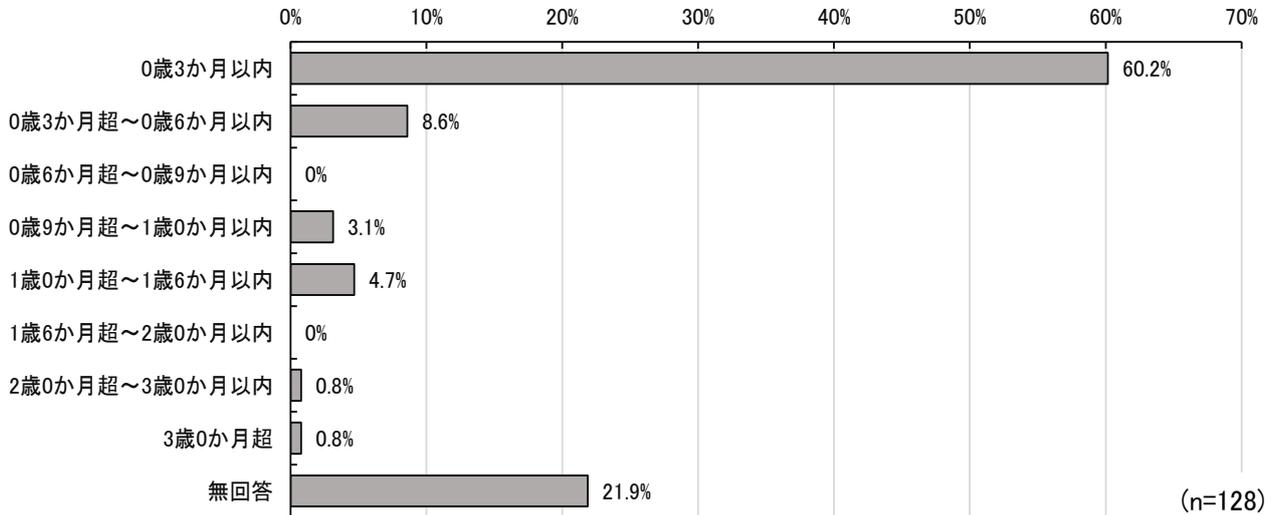
【希望の取得期間(母親)】



(父親)

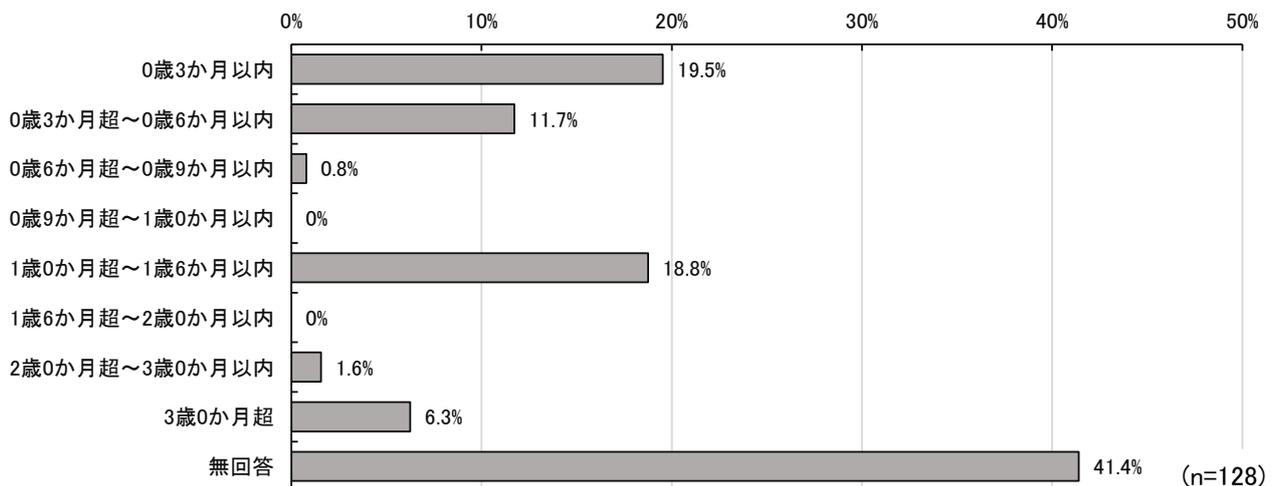
実際の取得期間については、「0歳3か月以内」が60.2%と最も高く、次いで「0歳3か月越～0歳6か月以内」(8.6%)、「1歳0か月越～1歳6か月以内」(4.7%)等の順となっています。

【実際の取得期間(父親)】



希望の取得期間については、「0歳3か月以内」が19.5%と最も高く、次いで「1歳0か月越～1歳6か月以内」(18.8%)、「0歳3か月越～0歳6か月以内」(11.7%)等の順となっています。

【希望の取得期間(父親)】



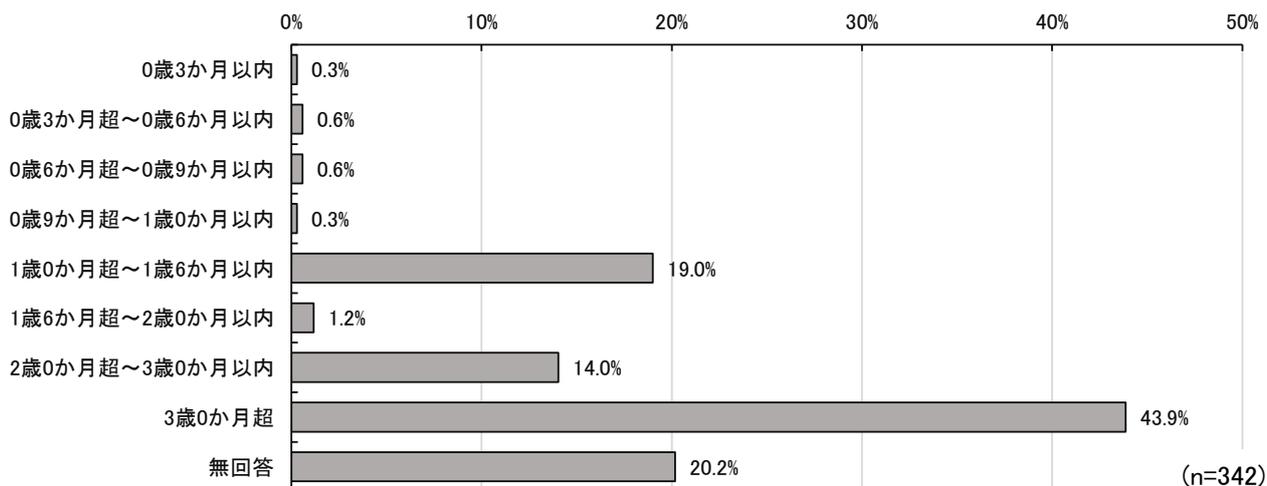
問32-5

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては
お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(母親)

育児休業取得後の職場復帰時の希望する子どもの年齢については、「3歳0か月越」が43.9%と最も高く、次いで「1歳0か月超～1歳6か月以内」(19.0%)、「2歳0か月超～3歳0か月以内」(14.0%)等の順となっています。

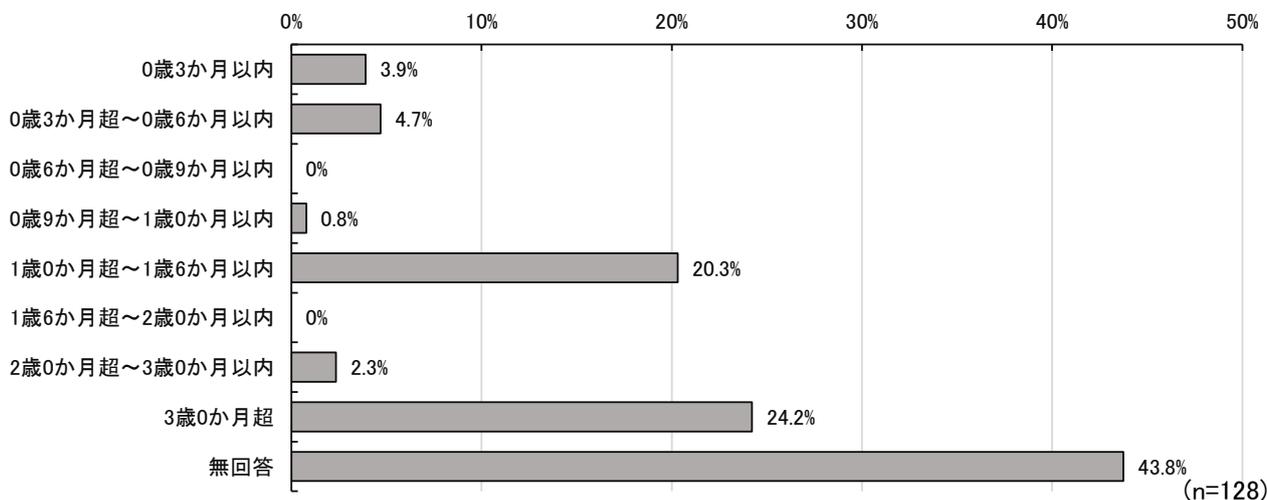
【職場復帰時の希望する子どもの年齢(母親)】



(父親)

育児休業取得後の職場復帰時の希望する子どもの年齢については、「3歳0か月越」が24.2%と最も高く、次いで「1歳0か月超～1歳6か月以内」(20.3%)、「0歳3か月超～0歳6か月以内」(4.7%)等の順となっています。

【職場復帰時の希望する子どもの年齢(父親)】



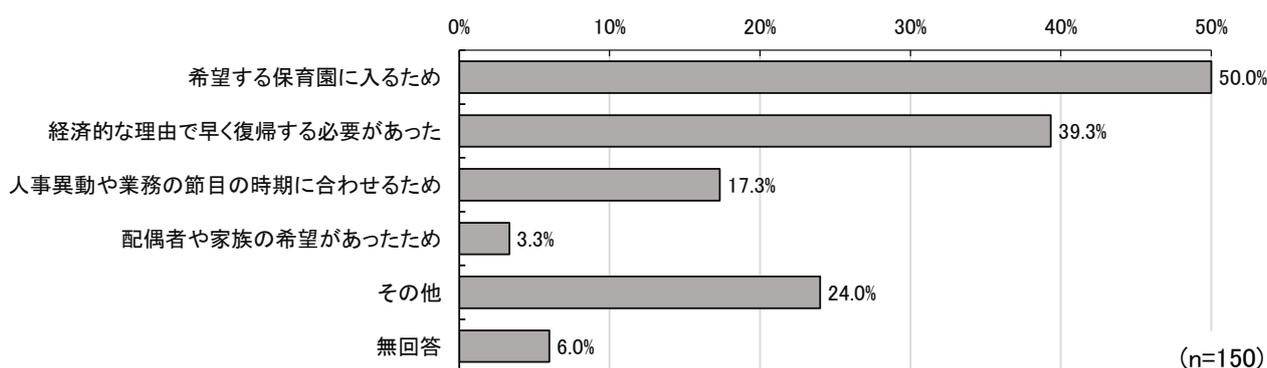
問32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方

(母親)

希望より早く職場復帰した理由については、「希望する保育園にはいるため」が50.0%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(39.3%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(17.3%)等の順となっています。

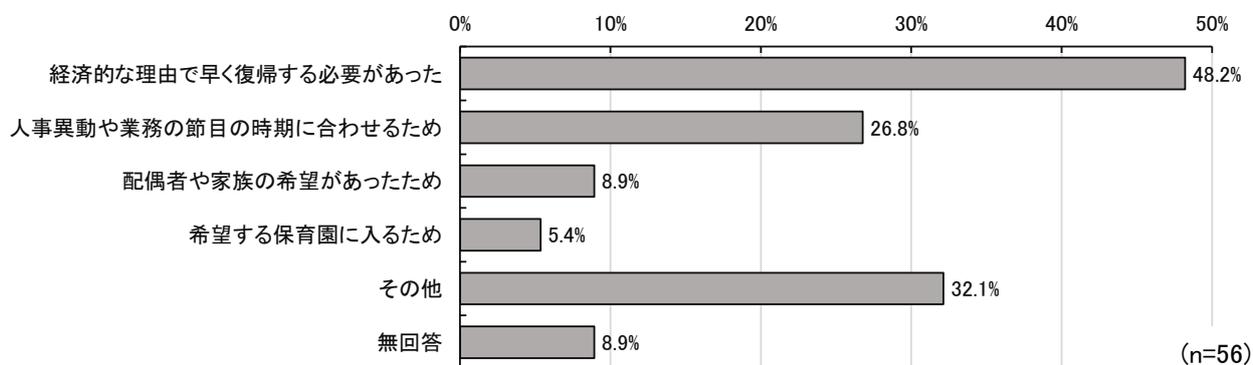
【希望より早く職場復帰した理由(母親)】



(父親)

希望より早く職場復帰した理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が48.2%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(26.8%)、「配偶者や家族の希望があったため」(8.9%)等の順となっています。

【希望より早く職場復帰した理由(父親)】

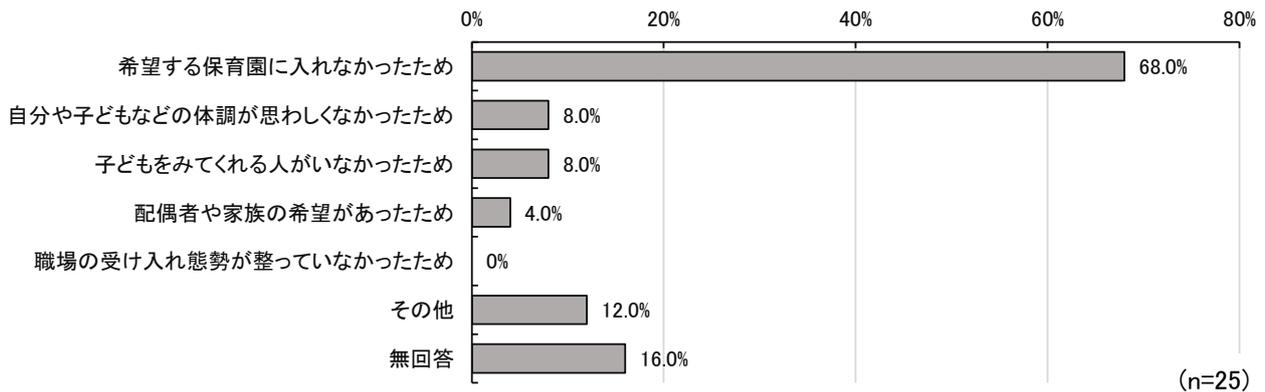


(2) 「希望」より遅く復帰した方

(母親)

希望より遅く復帰した理由については、「希望する保育園に入れなかったため」が68.0%と最も高く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」(それぞれ8.0%)等の順となっています。

【希望より遅く職場復帰した理由(母親)】



(父親)

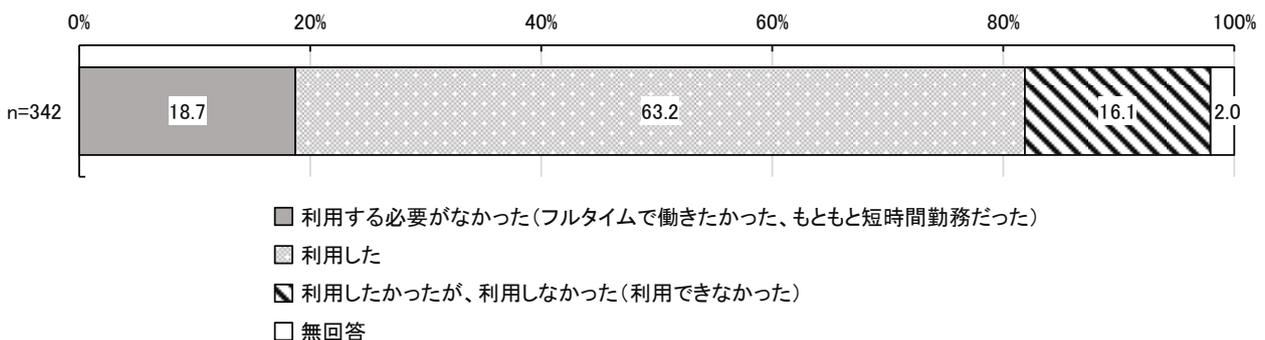
有効回答はありません。

問32-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(母親)

短時間勤務制度を利用したかについては、「利用した」が63.2%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」(18.7%)、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」(16.1%)の順となっています。

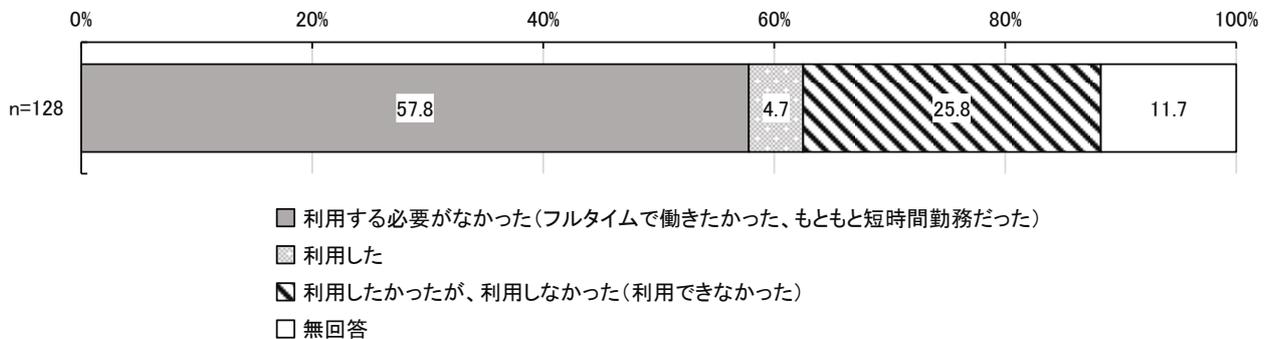
【短時間勤務制度の利用について(母親)】



(父親)

短時間勤務制度を利用したかについては、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が57.8%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」(25.8%)、「利用した」(4.7%)の順となっています。

【短時間勤務制度の利用について(父親)】

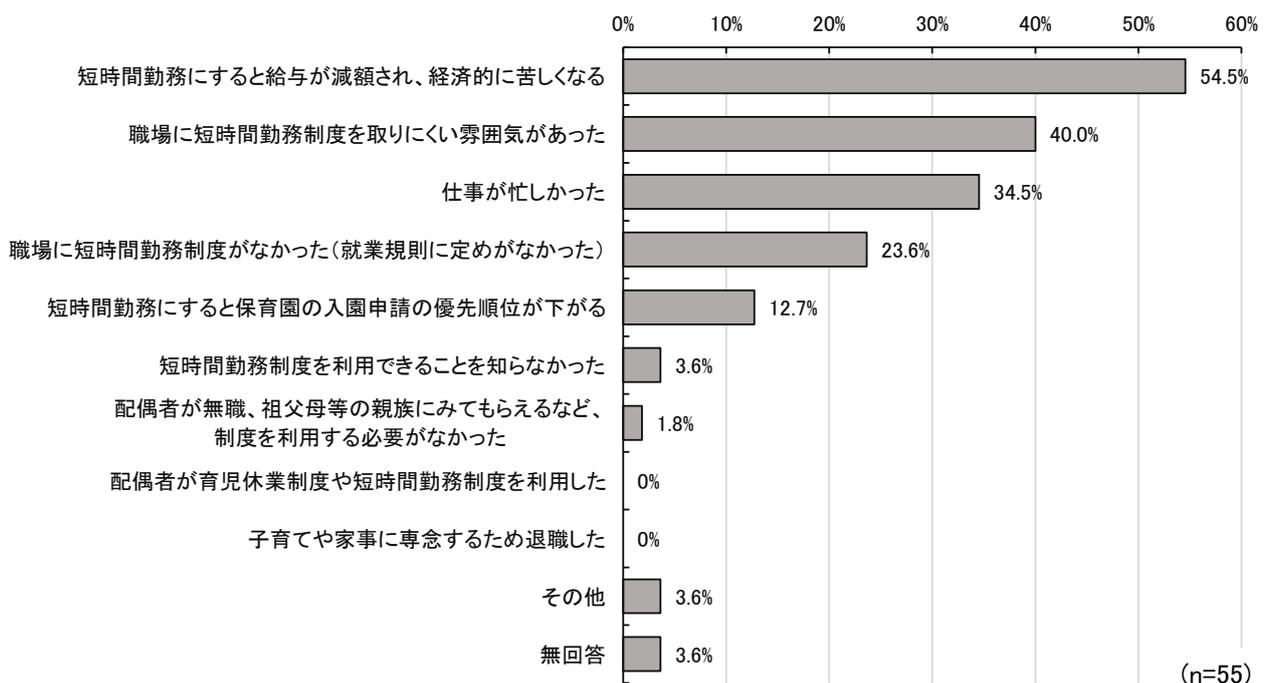


問32-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(母親)

短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が54.5%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(40.0%)、「仕事が忙しかった」(34.5%)等の順となっています。

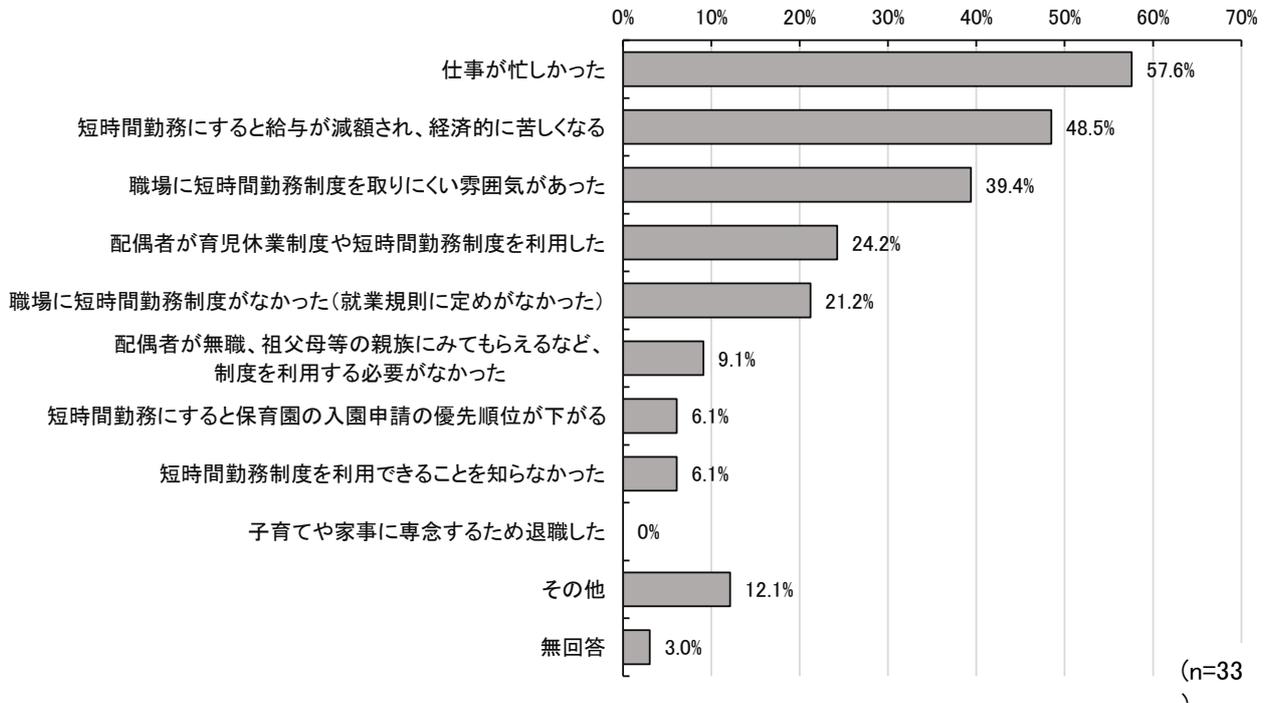
【短時間勤務制度を利用しなかった理由(母親)】



(父親)

短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「仕事が忙しかった」が57.6%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(48.5%)、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(39.4%)等の順となっています。

【短時間勤務制度を利用しなかった理由(父親)】



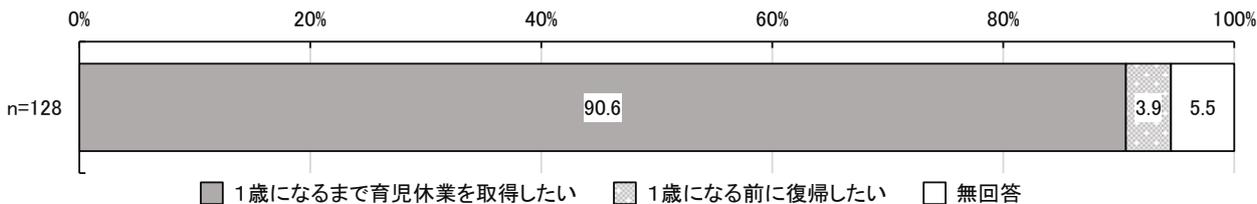
問32-9

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳に去る前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(母親)

必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が90.6%、「1歳になる前に復帰したい」が3.9%となっています。

【必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか(母親)】



(父親)

必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が3件、「1歳になる前に復帰したい」が2件となっています。

問33

すべての方にうかがいます。生活の中で、「仕事時間」と「家事(育児)」・「プライベートの生活時間」の優先度についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 希望

希望する生活の中の優先度については、「家事(育児)時間を優先」が60.9%と最も高く、次いで「プライベートを優先」(14.6%)、「仕事時間を優先」(5.6%)の順となっています。

【生活の中の優先度(希望)】



(2) 現実

現実の生活の中の優先度については、「家事(育児)時間を優先」が44.7%と最も高く、次いで「仕事時間を優先」(36.3%)、「プライベートを優先」(0.7%)の順となっています。

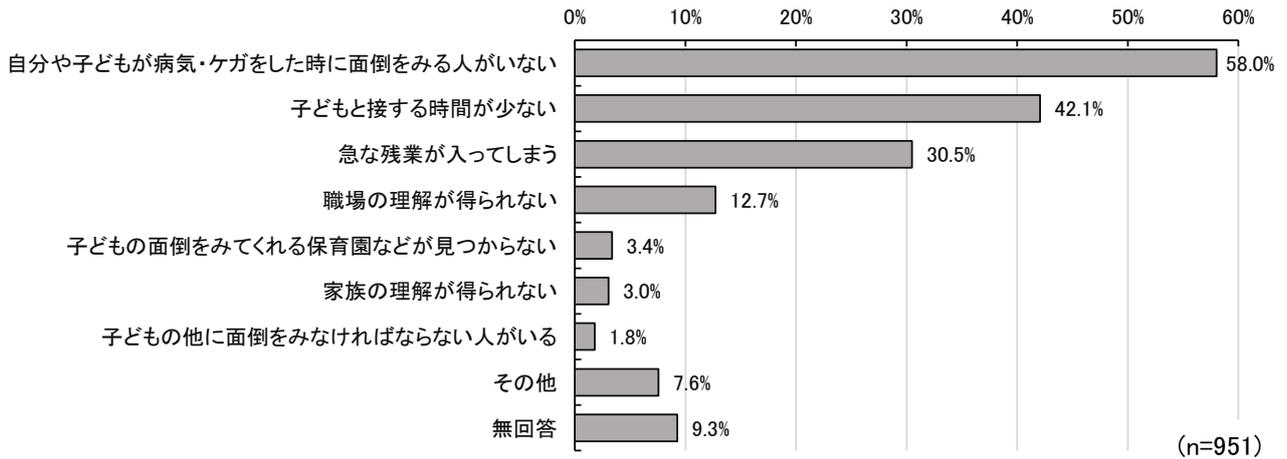
【生活の中の優先度(現実)】



問34 すべての方にうかがいます。仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについては、「自分や子どもが病気・ケガをした時に面倒をみる人がいない」が58.0%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」(42.1%)、「急な残業が入ってしまう」(30.5%)等の順となっています。

【仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること】

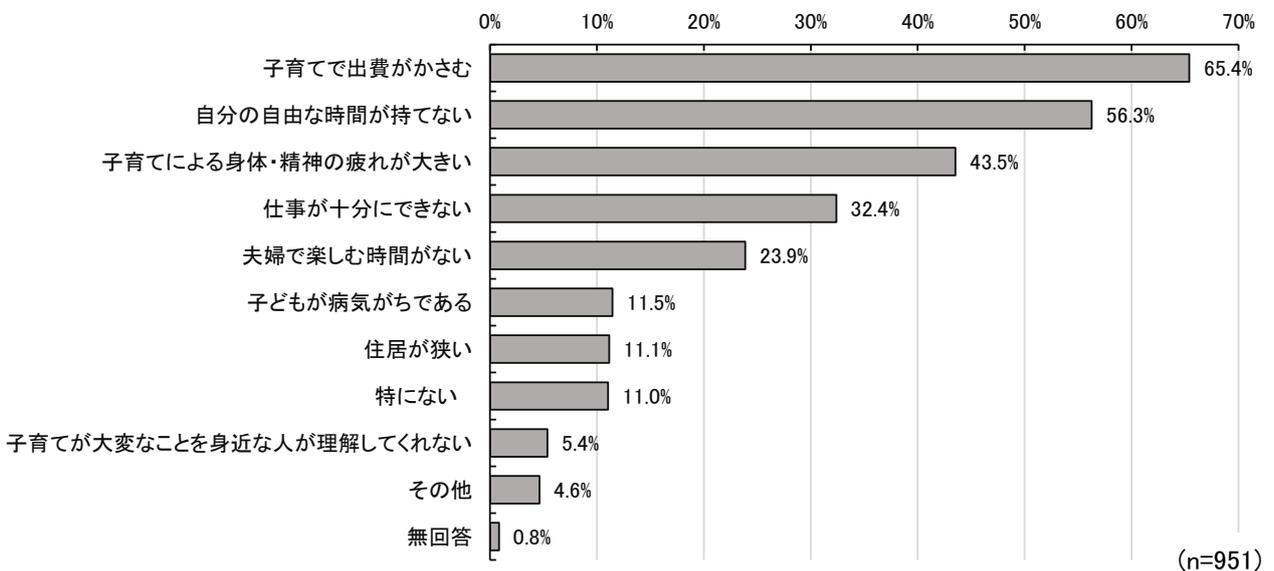


12 子育ての不安と悩みについて

問35 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

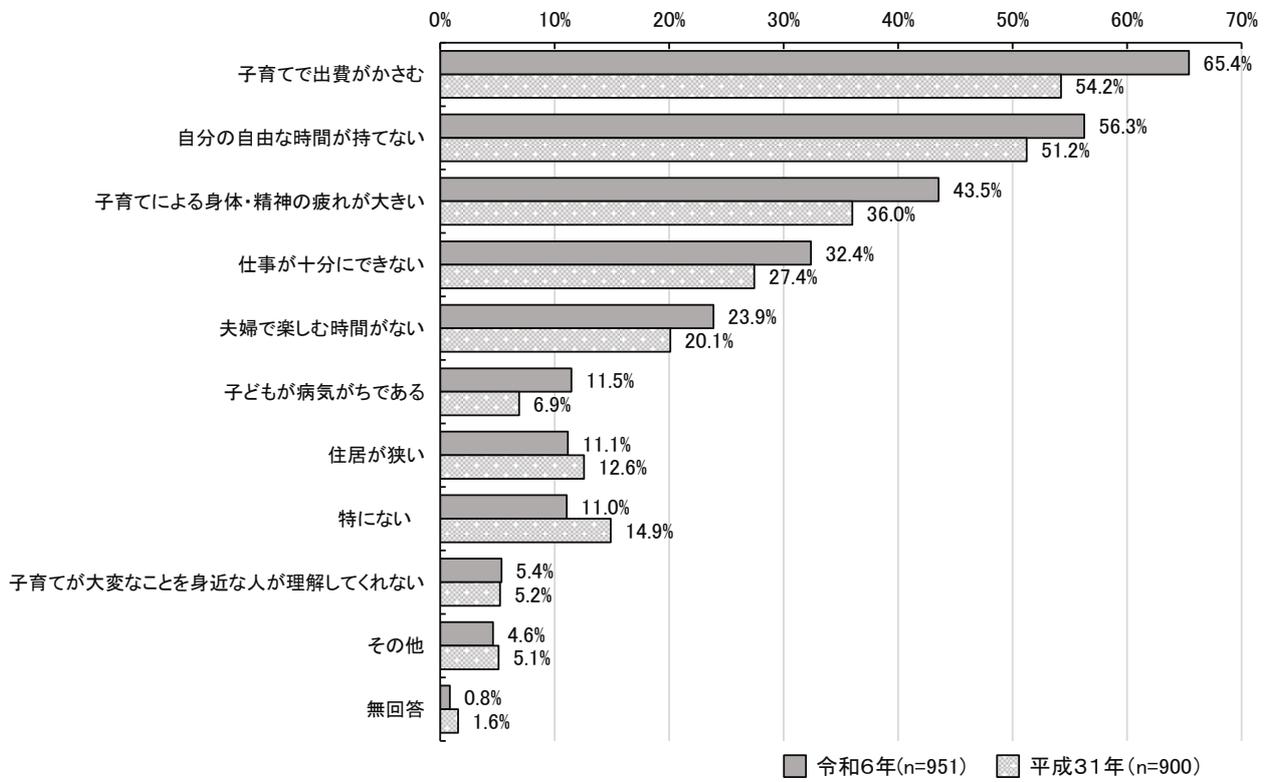
子育てをする上で不安に思っていることについては、「子育てで出費がかさむ」が65.4%と最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」(56.3%)、「子育てによる身体・精神の疲れが大きい」(43.5%)等の順となっています。

【子育ての不安と悩み】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、ほぼすべての項目で平成31年調査よりも割合が高くなっています。

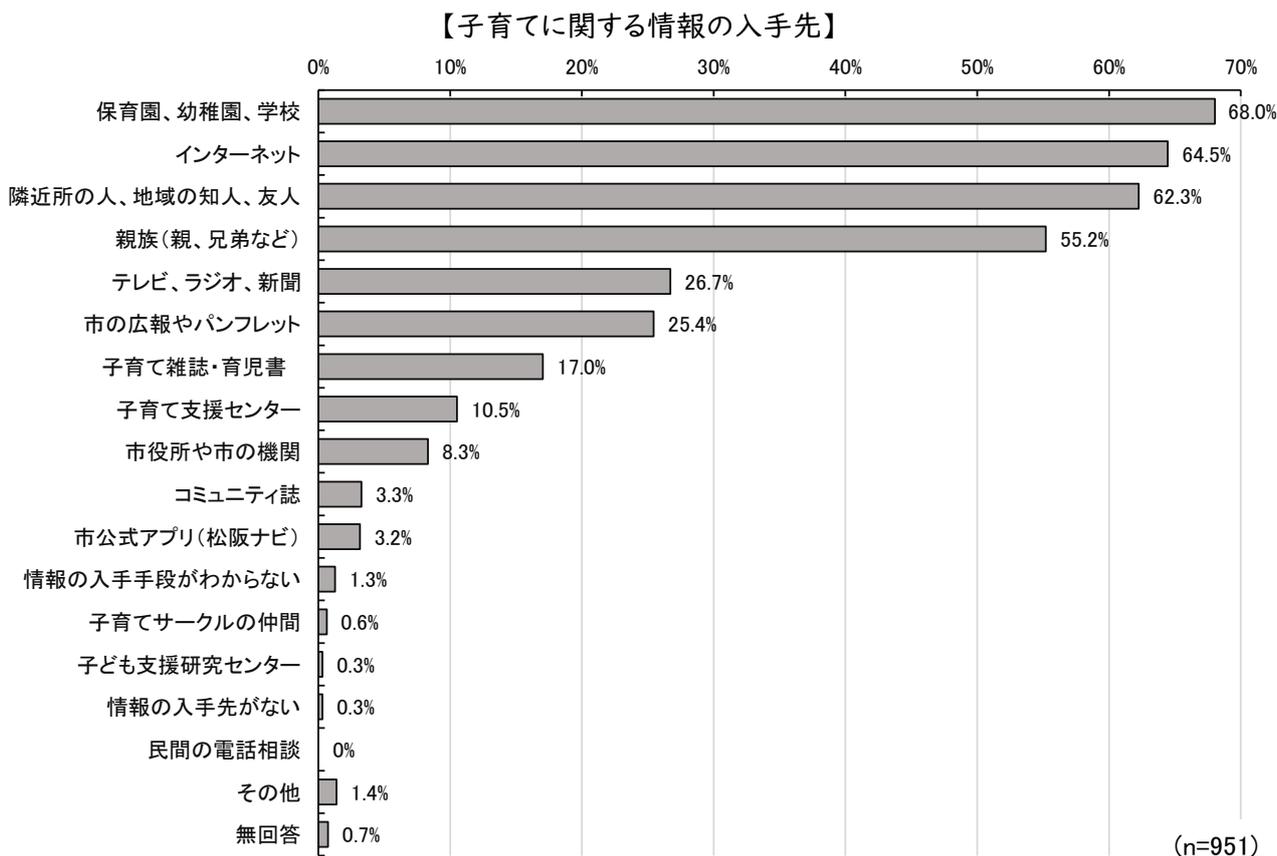
【前回比較】



13 子育てに関する情報の入手について

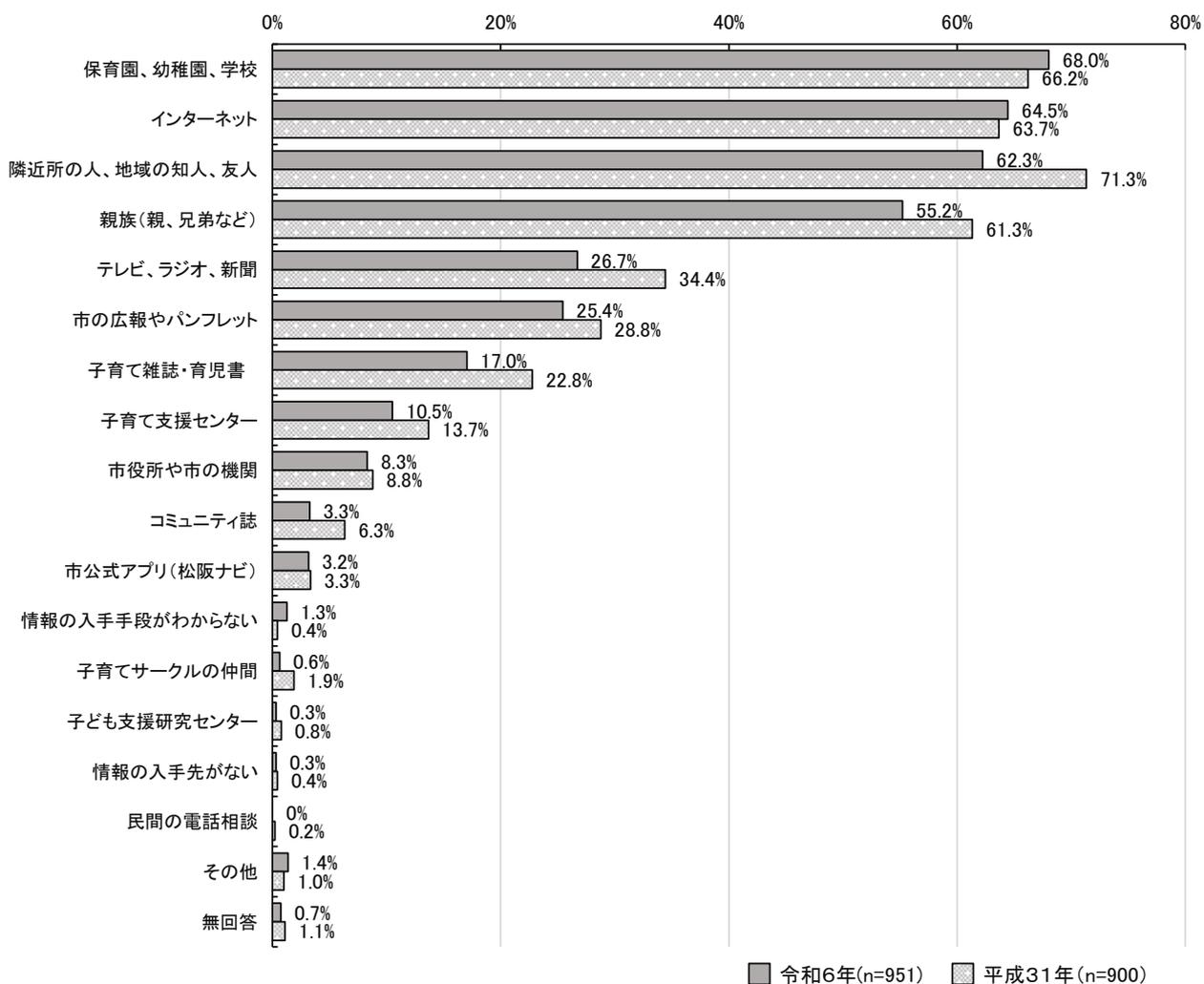
問36 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関する情報の入手先については、「保育園、幼稚園、学校」が68.0%と最も高く、次いで「インターネット」(64.5%)、「隣近所の人、地域の知人、友人」(62.3%)等の順となっています。



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「隣近所の人、地域の知人、友人」「親族(親、兄弟など)」「テレビ、ラジオ、新聞」が平成31年調査よりも割合が低くなっています。

【前回比較】

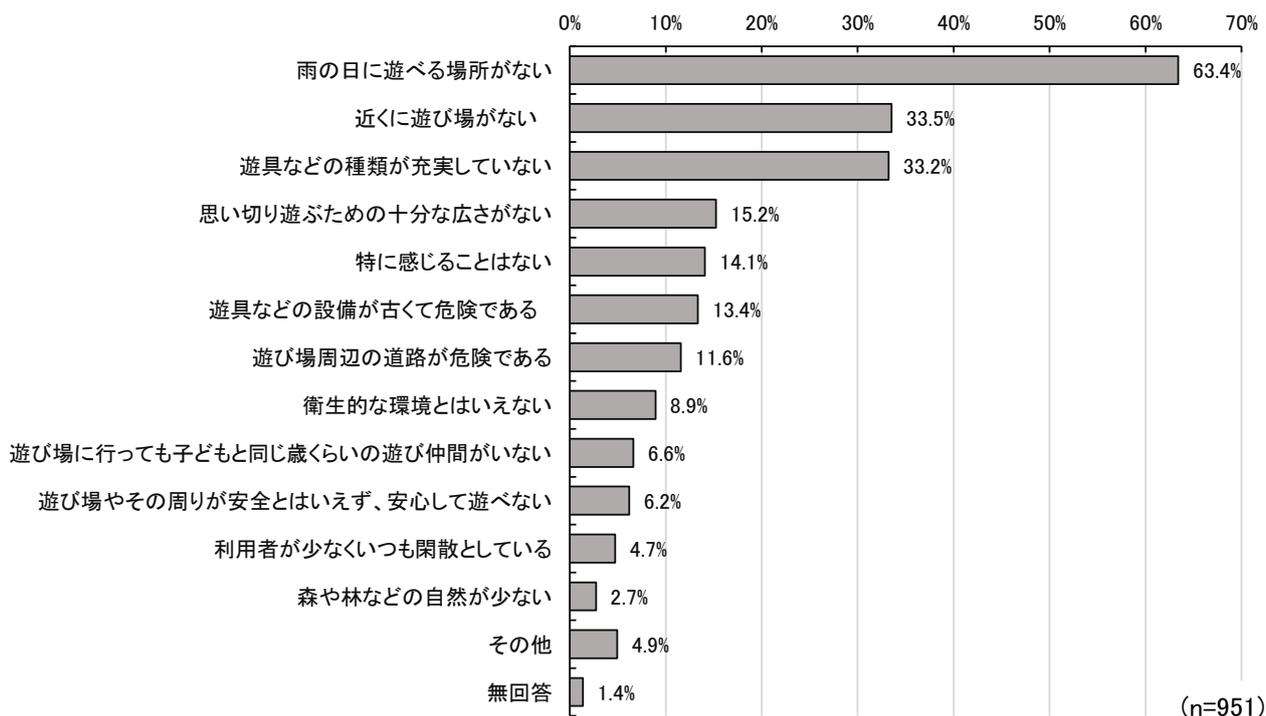


14 近くの遊び場について

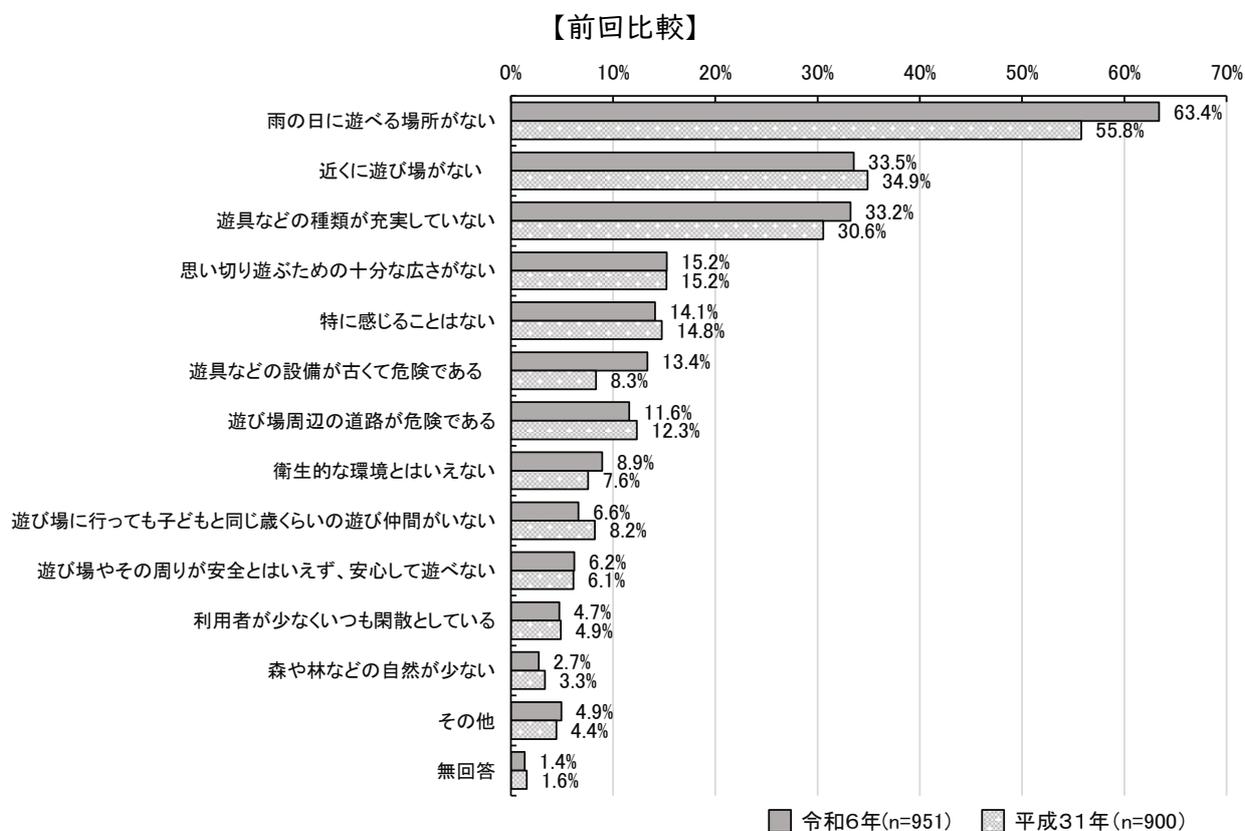
問37 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

家の近くの子どもの遊び場については、「雨の日に遊べる場所がない」が63.4%と最も高く、次いで「近くに遊び場がない」(33.5%)、「遊具などの種類が充実していない」(33.2%)等の順となっています。

【家の近くの子どもの遊び場について】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「雨の日に遊べる場所がない」が平成31年調査よりも7.6ポイント高くなっています。

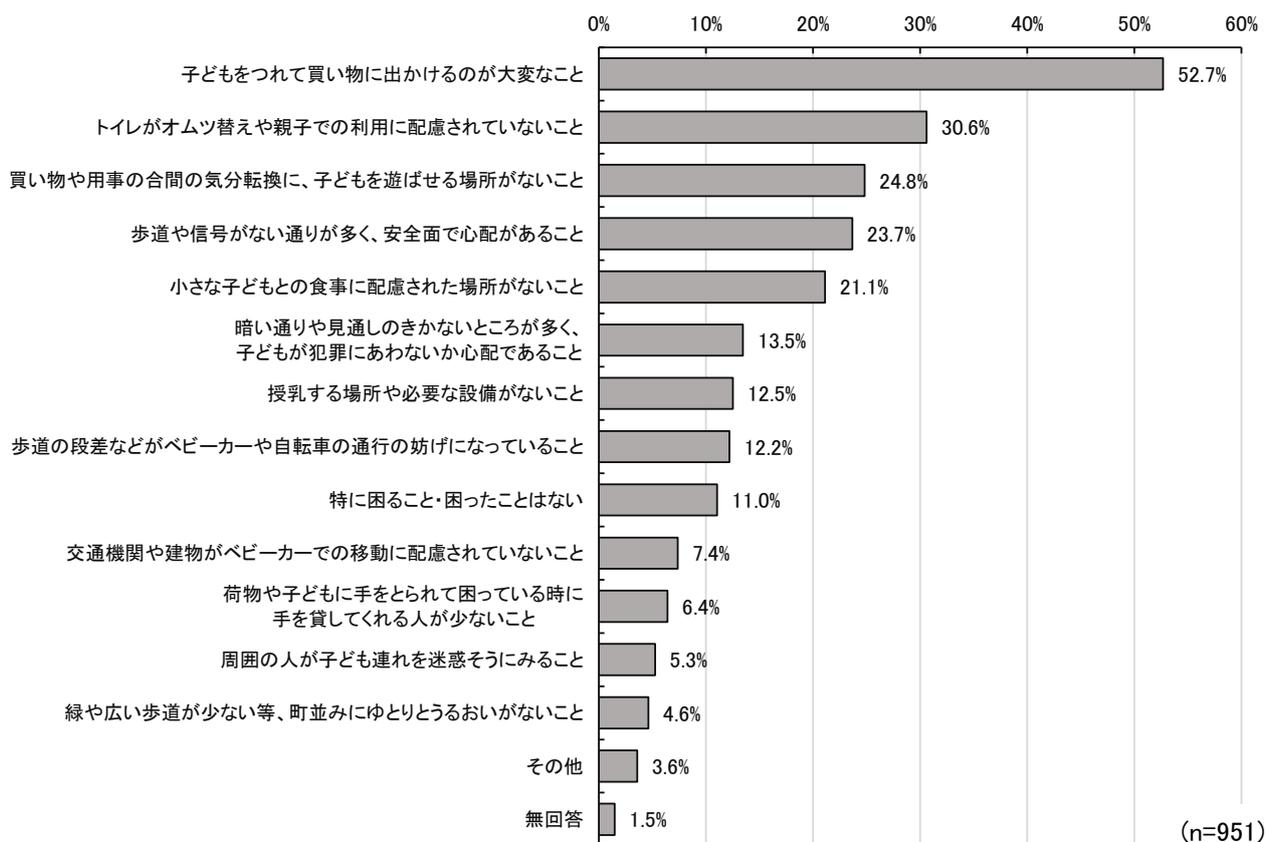


15 外出の際困ることについて

問38 子どもとの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

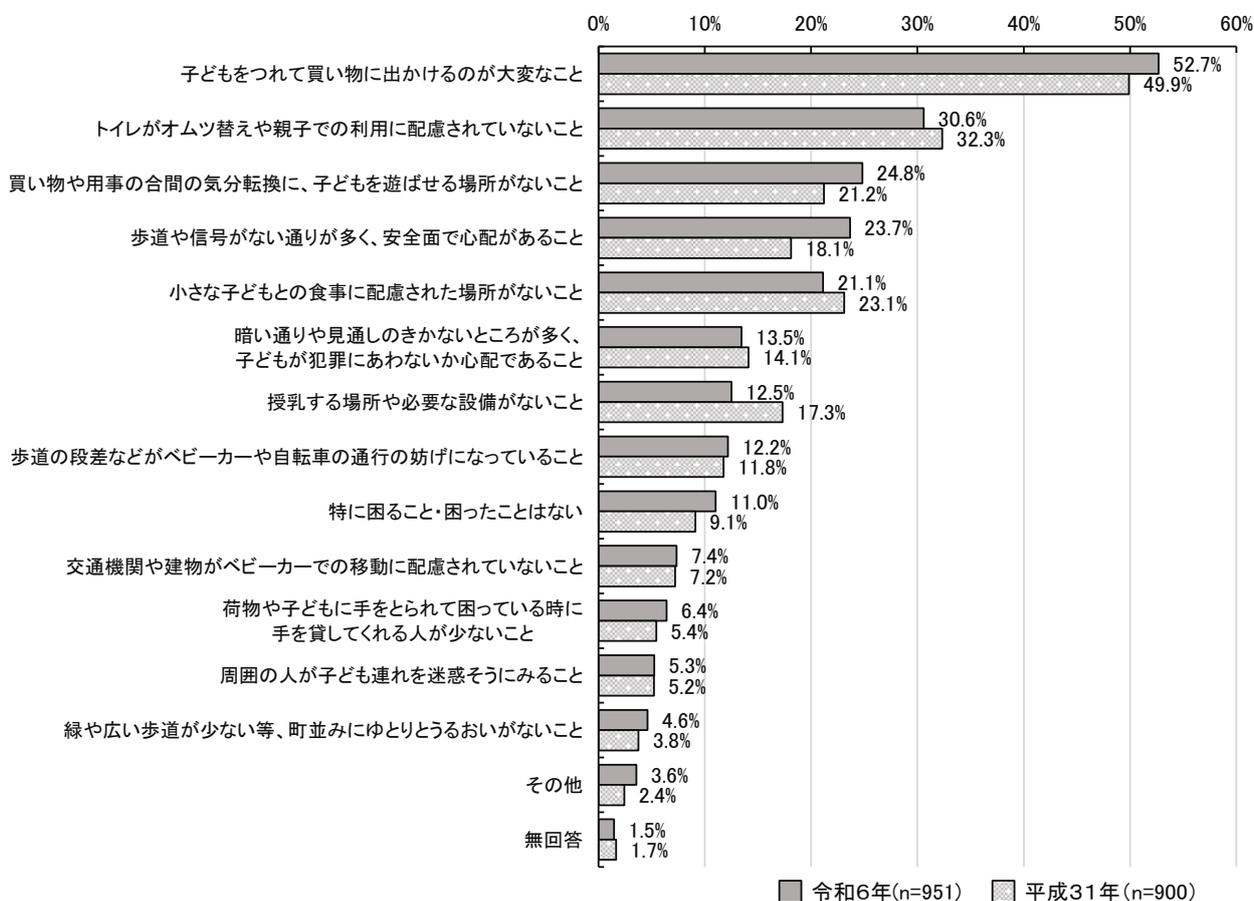
外出の際、困ること・困ったことについては、「子どもをつれて買い物に出かけるのが大変なこと」が52.7%と最も高く、次いで「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」(30.6%)、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」(24.8%)等の順となっています。

【外出の際に困ること】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配があること」が平成31年調査よりも5.6ポイント高くなっています。

【前回比較】

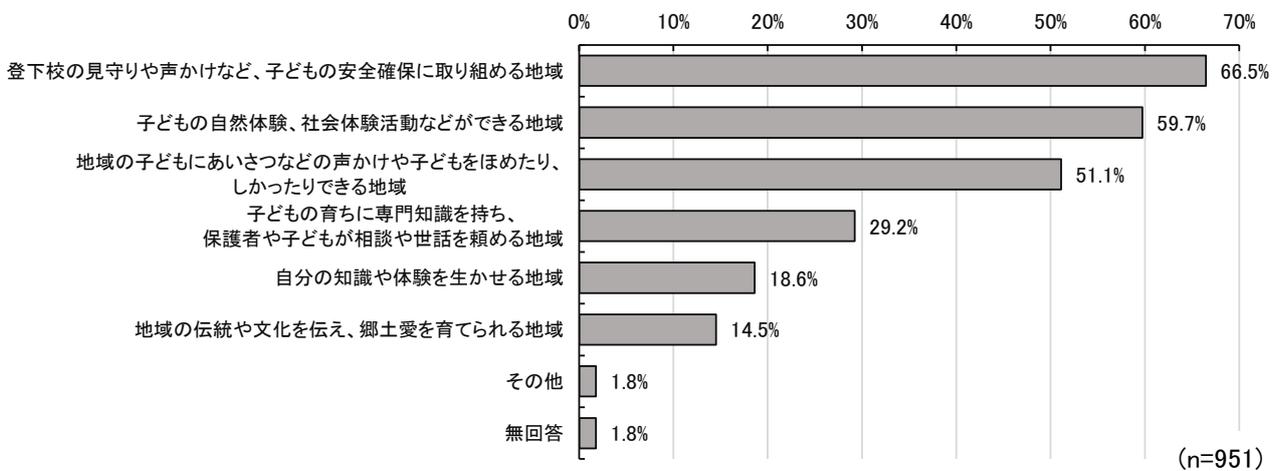


16 子どもの育ちを支援する地域について

問39 子どもの育ちを支援するため、どのような地域が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

子どもの育ちを支援するため、どのような地域が必要だと思うかについては、「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める地域」が66.5%と最も高く、次いで「子どもの自然体験、社会体験活動などができる地域」(59.7%)、「地域の子どもにあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる地域」(51.1%)、「子どもの育ちに専門知識を持ち、保護者や子どもが相談や世話を頼める地域」(29.2%)、「自分の知識や体験を生かせる地域」(18.6%)、「地域の伝統や文化を伝え、郷土愛を育てられる地域」(14.5%)、「その他」(1.8%)、「無回答」(1.8%)等の順となっています。

【子どもの育ちを支援するため、どのような地域が必要か】

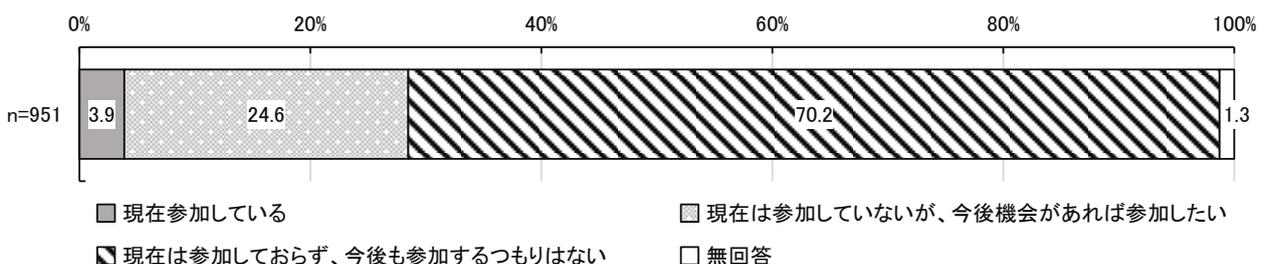


17 子育てのサークルへの参加について

問40 あなたは子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てに関するサークルなどへの参加の有無については、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が70.2%と最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」(24.6%)、「現在参加している」(3.9%)の順となっています。

【子育てに関するサークルなどへの参加について】

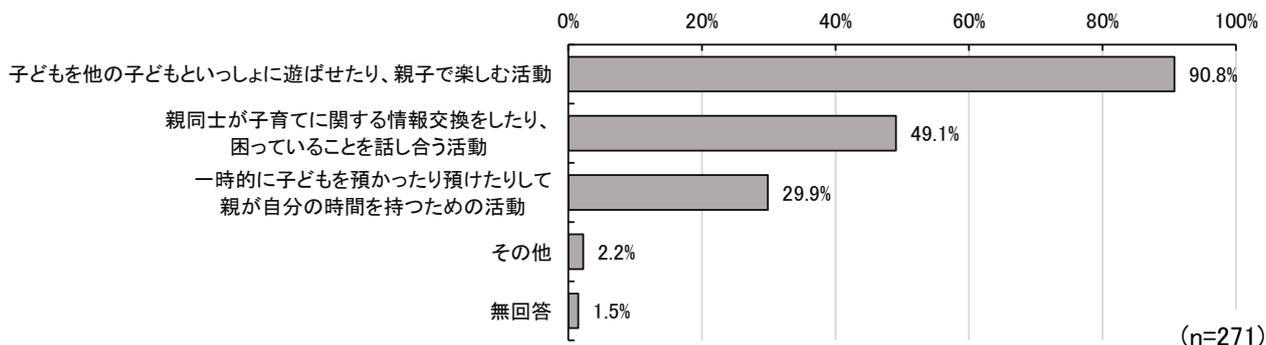


問40-1

問40で「1.」「2.」に○をつけた方にうかがいます。今後実施したい自主活動、参加したい活動はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

今後実施したい自主活動、参加したい活動については、「子どもを他の子どもといっしょに遊ばせたり、親子で楽しむ活動」が90.8%と最も高く、次いで「親同士が子育てに関する情報交換をしたり、困っていることを話し合う活動」（49.1%）、「一時的に子どもを預かったり預けたりして親が自分の時間を持つための活動」（29.9%）の順となっています。

【今後実施したい自主活動、参加したい活動】



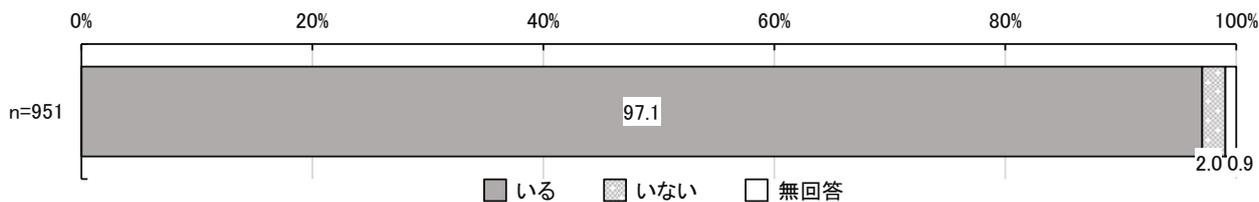
18 健康・医療について

問41

お子さんの病気や救急医療についてうかがいます。お子さんのかかりつけの小児科医がいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

かかりつけの小児科医がいるかどうかについては、「いる」が97.1%、「いない」が2.0%となっています。

【かかりつけの小児科医の有無】

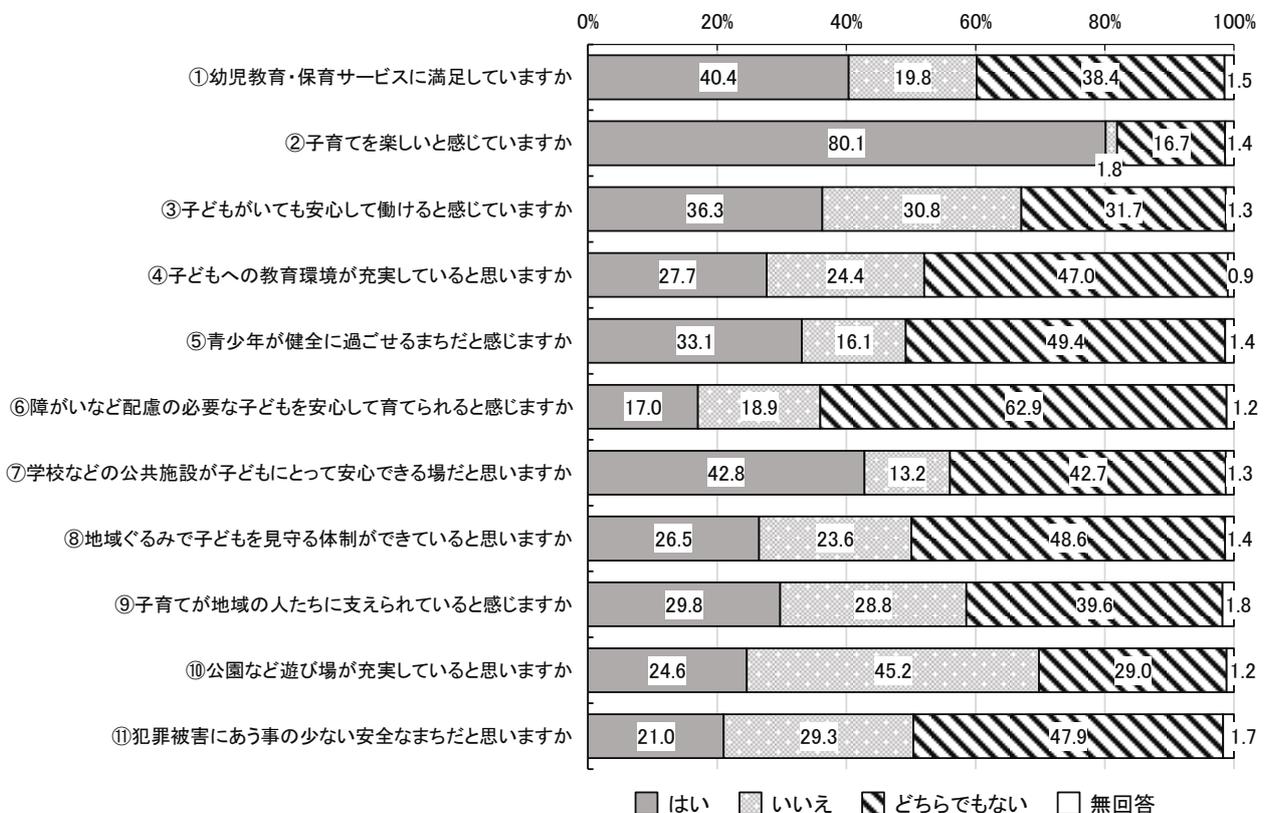


19 子育て全般について

問42 あなたは、松阪市における以下のような分野についてどのように感じていますか。それぞれの項目について当てはまる番号1つに○をつけてください。

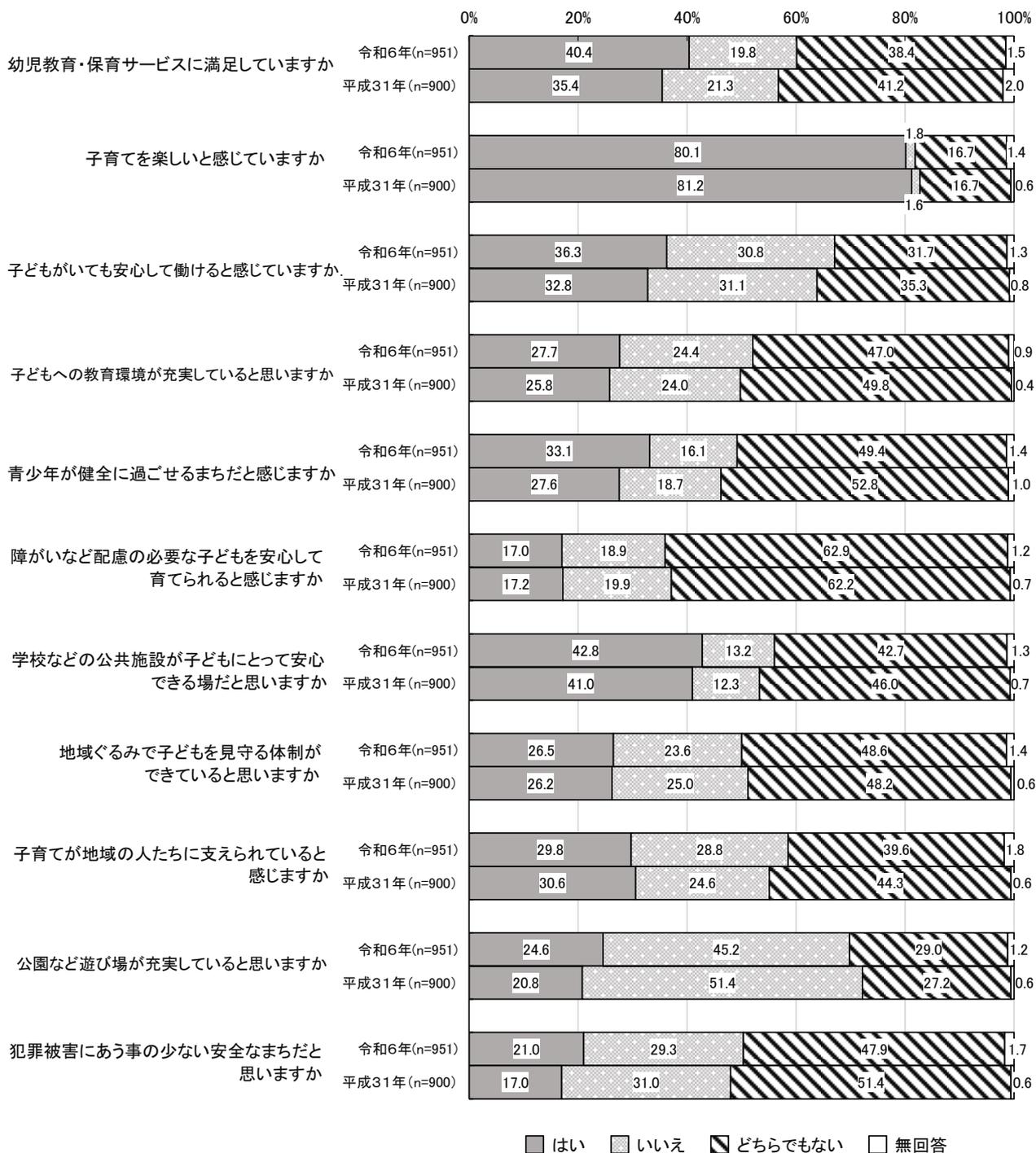
子育て全般について、「はい」では、②子育てを楽しんでいると感じていますかが80.1%と最も高く、次いで⑦学校などの公共施設が子どもにとって安心できる場だと思いませんか(42.8%)、①幼児教育・保育サービスに満足していますか(40.4%)等の順となっています。「いいえ」では、⑩公園など遊び場が充実していると思いませんかが45.2%と最も高く、次いで③子どもがいても安心して働けると感じていますか(30.8%)、⑪犯罪被害にあう事の少ない安全なまちだと思いませんか(29.3%)等の順となっています。

【子育て全般について】



前回調査と比較すると、「はい」でみると、令和6年調査では、「幼児教育・保育サービスに満足していますか」「青少年が健全に過ごせるまちだと感じますか」が平成31年調査よりも割合が高くなっています。

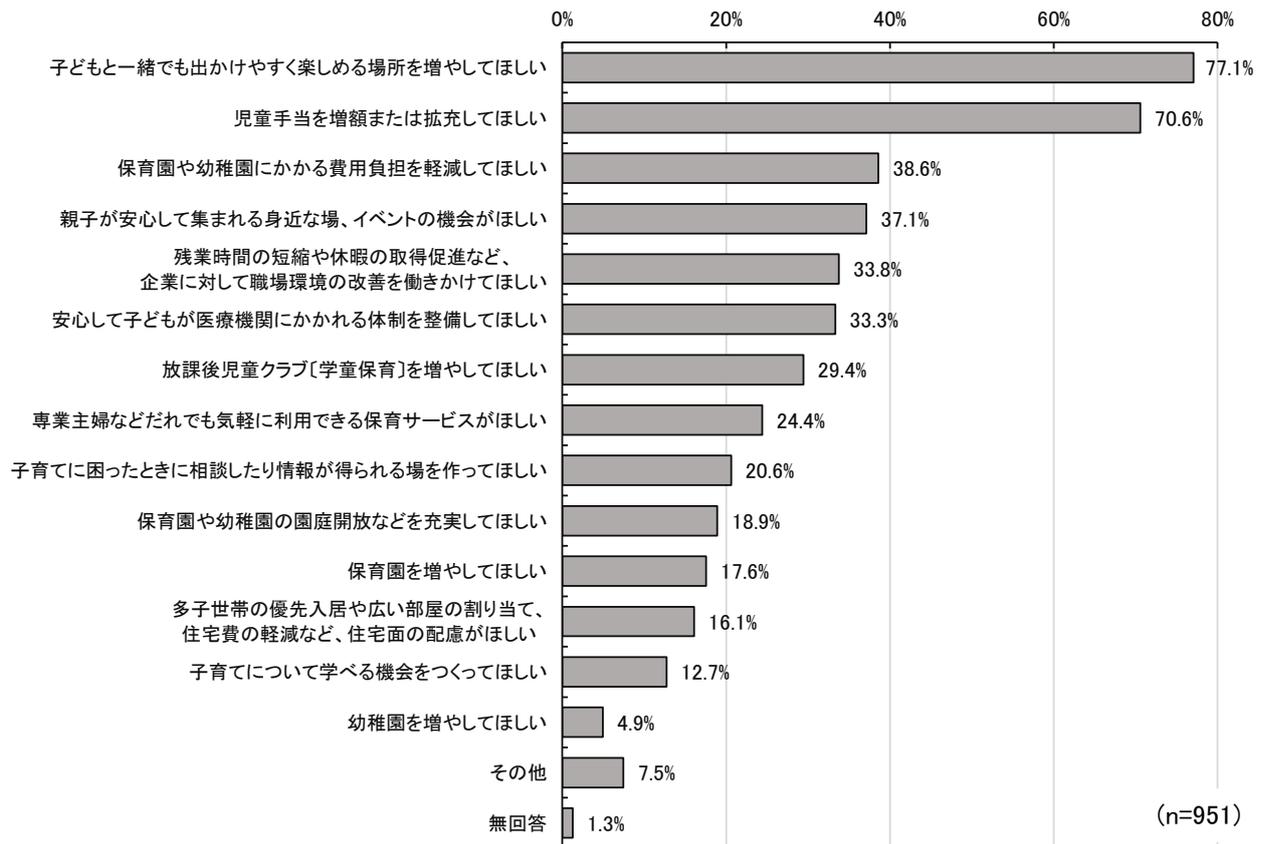
【前回比較】



問43 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

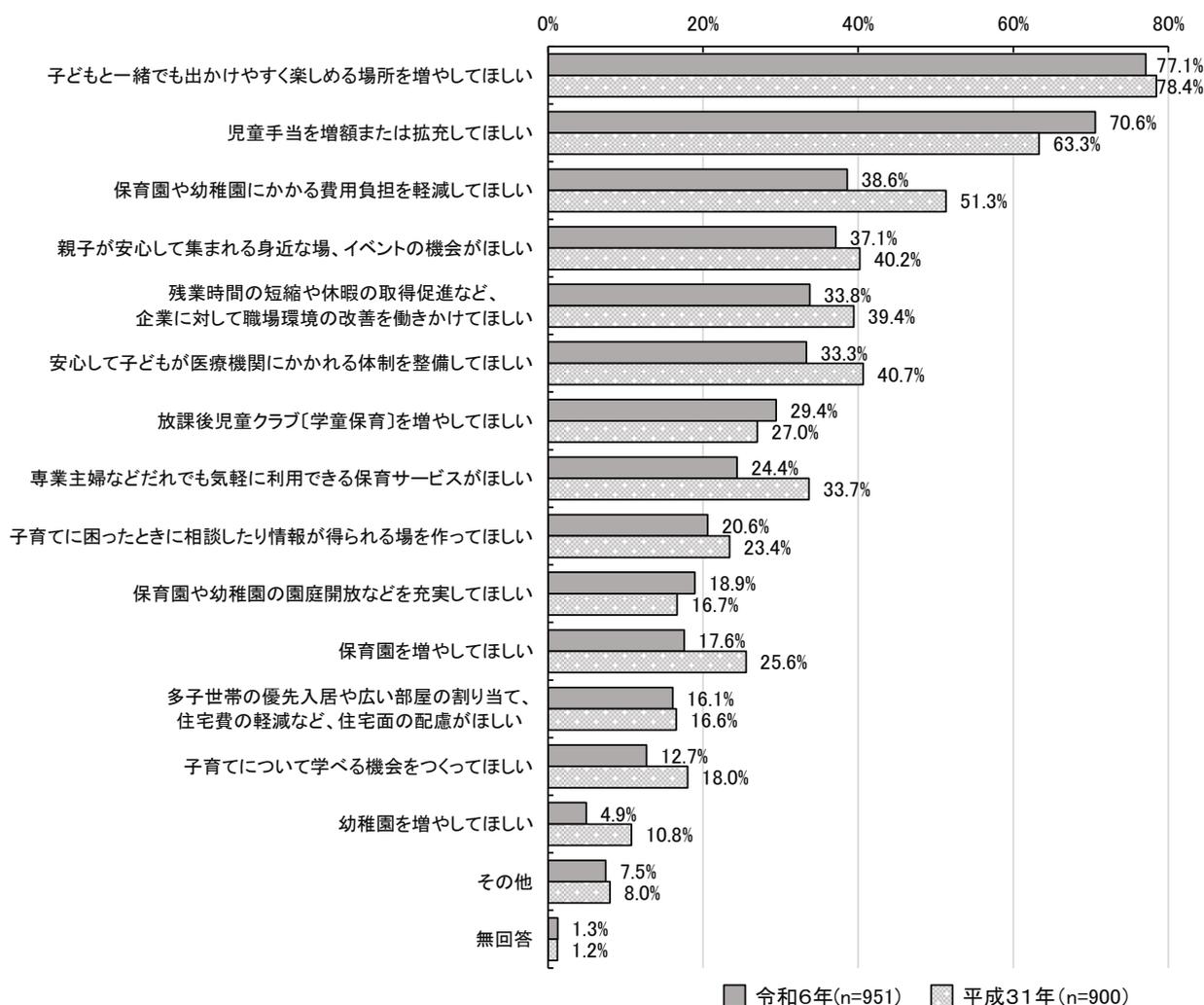
市に対して図ってほしい子育て支援については、「子どもと一緒に出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が77.1%と最も高く、次いで「児童手当を増額または拡充してほしい」(70.6%)、「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」(38.6%)等の順となっています。

【市に対して図ってほしい子育て支援】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」「専業主婦などだれでも気軽に利用できる保育サービスがほしい」「保育園を増やしてほしい」が平成31年調査よりも割合が低くなっています。

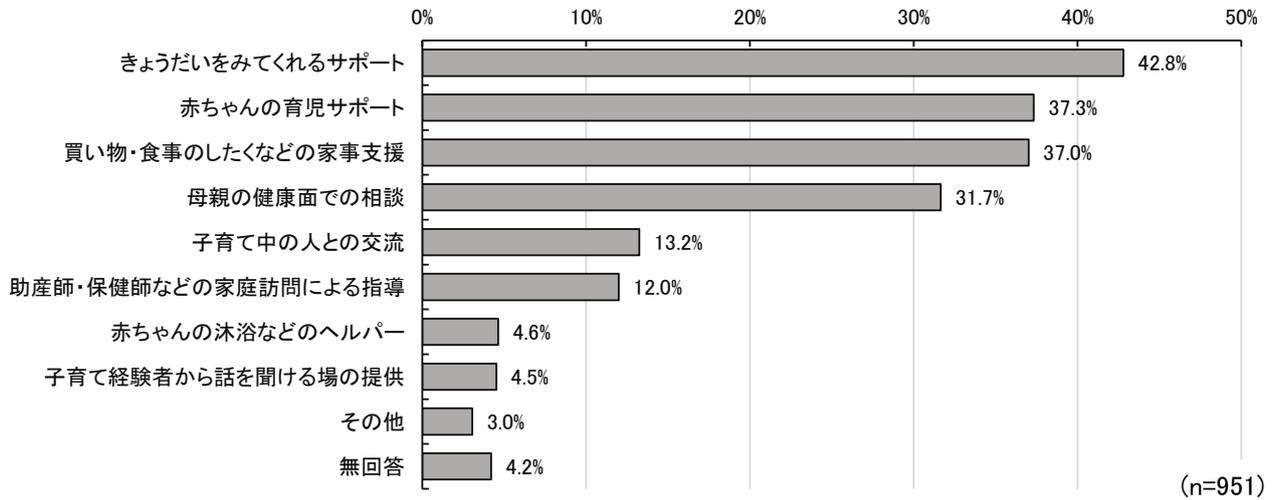
【前回比較】



問44 妊娠中や出産後のサポートとして、特にどのようなサービスが必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠中や出産後のサポートとして必要なサービスについては、「きょうだいをみてるサポート」が42.8%と最も高く、次いで「赤ちゃんの育児サポート」(37.3%)、「買い物・食事のしたくなどの家事支援」(37.0%)

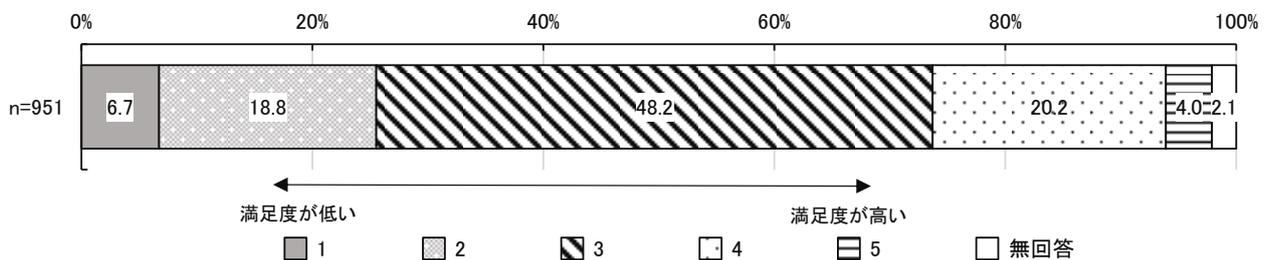
【妊娠中や出産後のサポートとして必要なサービス】



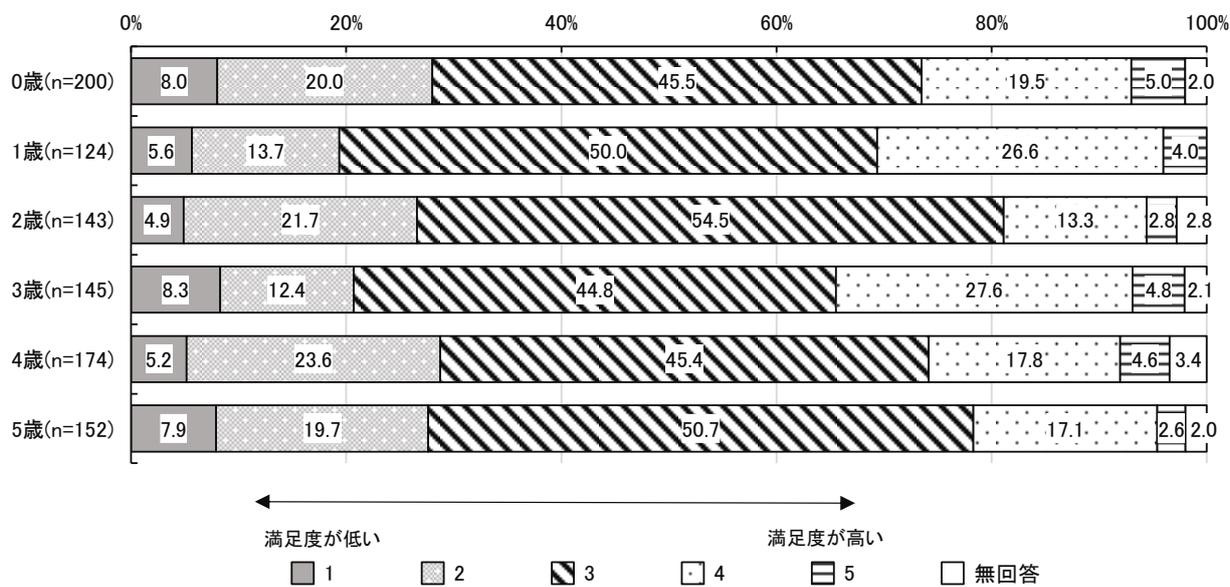
問45 松阪市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育ての環境や支援への満足度については、「3」が48.2%と最も高く、次いで「4」(20.2%)、「2」(18.8%)等の順となっています。

【子育ての環境や支援への満足度】

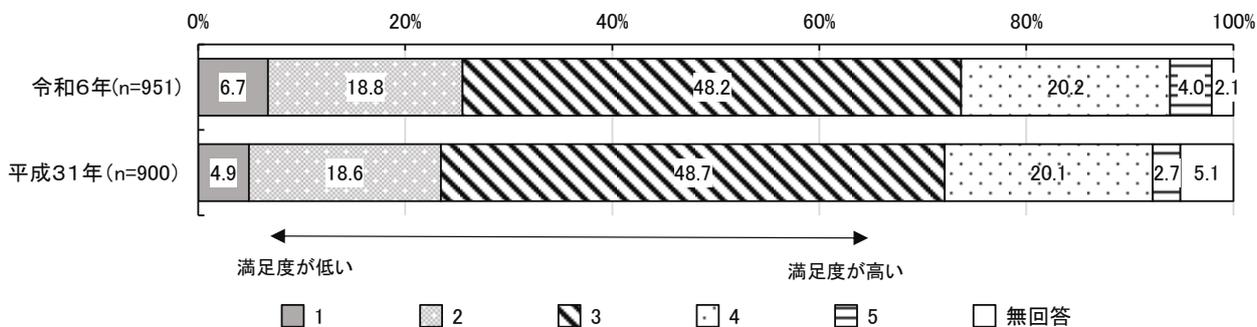


年齢別にみると、すべての年齢で「3」の割合が高くなっています。また、「4」「5」を合わせた『市における子育ての環境や支援について満足している』をみると、3歳が32.4%と最も高くなっています。



前回調査と比較すると、あまり大きな差はありませんでした。

【前回比較】



20 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してのご意見

問46 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

【意見抜粋】

年齢	配偶者の有無	意見
0歳	配偶者がいる	○一時預かり保育無料チケットを利用させていただきましたが、実際には登録料に1,000円近くかかる所もあったので、事前に知らせて欲しかったです。3時間無料は有難かったです。送り迎え等の事を考えると4~5時間ぐらいあれば、もっとゆとりと過ごせると思いました。
0歳	配偶者がいる	○隣接市町に比べて、子育て支援センターがたくさんあることや、「はるる」での講座が多岐に渡り、充実している点は松阪市の子育て事業の魅力の一つだと思います。松阪図書館の読み聞かせ(おはなし会)を利用しましたが、参加者がとても多く、部屋がいっぱいで安心して絵本を楽しめる環境でなかった事が残念です。外部のボランティアさんを他にも呼んだり、開催日を何日か分ける等して、数を増やして欲しいです。
0歳	配偶者がいる	○子育ての大変さを知る機会がないため、特に男性は自分ごとと捉えられず子育てに協力すら出来ない人もいます。「こんなにも分かってもらえないのか、手伝ってもらえないのか」と落胆する寝不足のお母さんも多いのでは・・・? 実際、お金の問題ではなく家族の家事育児のサポートが得られないという理由で『2人目が産めない』現実と直面している。たとえば学校で、子育てについても知る機会があってもいいのではないかと思うことがある。
0歳	配偶者がいない	○子育てイベントや、服やベビー用品やおもちゃのリユース、普通にただ話をする会でも良いので松阪市内の子育て世代の方と交流がしたいです。色々な分野のコミュニティを作って頂けると気持ちも楽になるかと思えます。
1歳	配偶者がいる	○子育てしやすい環境かどうかを知るすべがわかりづらく、広報まつさかを読んで知る位しかわかりません。育児支援制度(ファミサポ、学童、ベビーシッターなど)の情報をSNSで発信して欲しいです。もしくは、松阪ナビアプリで発信か、検索したらすぐ出てくるなど、情報収集しやすい環境にして頂きたいです。育児中(特に未就学児の就労する両親)の親は、時間に追われています。
1歳	配偶者がいる	○共働きでお互いの両親も県外で不安でしたが、周りの支えやサポートの案内が充実していると思います。ただ、サポートを利用するのに、手続きや抵抗もあり、現在使えていないのが現状です。実際利用している家族さんの話とか聞けたら嬉しいです。
1歳	配偶者がいる	○具体的な案等は思い浮かばないのですが、様々な支援があっても利用するのに少しためらってしまいます。この程度の事で、利用すべきではないのかなと思ってしまふ。一人目の時は不安な事も多かったので、相談させていただく事もありましたが、上の子が幼稚園に通うようになって9時に預けても14時には迎えに行かなければならず、家事等もあるので、下の子はそういった相談や子ども同士のふれあいの場に連れて行ってあげる事が難しい。下の子が夏休みなどの長期の休みは、特にそのように感じます。
1歳	配偶者がいる	○松阪市は未就学児がいる家庭へのサポートは比較的手厚い方だと感じています。一方で、小学生になるとサポートが格段に減り、両親ともに就労されている家庭は負担がかなり大きいと聞きます。(民間の学童が少ないことなど)子どもが大きくなっても働きながら安心して子育てができるような支援をお願いしたいです。

2歳	配偶者がいる	○現在第1子が3歳で保育園に通っており第2子妊娠中です。上の子は保育園を退園(第2子出産後2カ月ほど)しなくてはなりません。他の都道府県や地域では同様の場合第1子を1年または2年まで延長して保育園を利用できるので松阪市もそうあってほしい。日によってワンオペで育児をしないといけないので第2子が1歳になる頃まで第1子を外で預かってくれる場所があるとありがたいです。
2歳	配偶者がいない	○保育園でオムツやおしぼりのサブスクが始まりましたが、無料もしくは補助を出して安く利用出来るようにしてほしい。今のままでは自分で買った方が安いので利用しようとは思わない。せっかくの良いサービスなので有効活用できるようにしてください。
2歳	配偶者がいる	○支援センターが家の近くにないので、市民センターなどで遊べる日を増やしてもらったり、そのようなコーナーがあると嬉しい。(絵本が借りれるなどでも良いので)
3歳	配偶者がいる	○現在、子どもが4歳(年少)男女の双子です。徒歩で行けるような公園、遊ぶ場所がなく、今は幼稚園(年少)だが子どもは活発で遊びたがっているが、わざわざ車を使わなければならず困っている。また、車を走らせて行く公園もトイレが暗い雰囲気であったりと小学生になってから等、大きくなっても子どもだけでは到底不安があり、低学年のうちには少なくとも行かせられないかもと感じています。なので、今後、子どもが小学生になったときにどこで遊べるのか、外遊びが出来るのかと不安。公園がとにかく少ない。そこまで大きくなくてもいいのでブランコ、滑り台、鉄棒、ベンチ、トイレがあるくらいの公園がほしいです。
3歳	配偶者がいる	○金銭的なサポートはもちろんありがたいと感じますが地域のつながりがもう少しもてるような場所やサポートが欲しいと感じます。例えば、公民館での開かれた活動など。
3歳	配偶者がいる	○保育園を利用していると、子育ての相談先が主に保育園になったと感じています。支援センターや健康相談などは、保育園に通っていない子が対象となるので、育休中に比べると、気軽に相談できる場面が減ったように思います。日々、子育てに悩んでいますが、どこに相談してよいか分からず、相談せずに過ぎていくことが多々あります。保育園に通っていても、気軽に相談できる機関が欲しいです。
3歳	配偶者がいる	○日祝も松阪市は子どもを預かってくれる制度があり、助かっています。また、私は県外出身のため子育て支援センターなどで交流を広げようと思いましたが、なかなか地元の友人同士の参加も多く参加することが精神的な疲労になっていました。そのため2人目は支援センターに行くのを辞めてしまいました。県外など知り合いが少ないママさんたちの育児交流できるような機会もあるといいなと思いました。
3歳	配偶者がいる	○子育てをする上で1番不安に思うことは教育費などのお金の問題です。生活がなりたない程お金に困っているわけではありませんが、月々の教育費が今後、進学とともに増えていくこと、2人目の分も更に追加されていくと思うと不安は大きくなるばかりです。また、3人目を希望していますが、お金の面で不安があり迷っている状態です。周りのお母さんも今の世の中の情勢もあり、やはりネックなのは教育費、大学まで行かせようとする産む子どもの人数を考えなくては生活できないと言う声が多いです。今すぐどうにかなる問題ではないのは重々承知ですが、今の子育て世代が1番不安に思っている部分はそこだと思っています。子育て世代への助成や免除、もう少し支援があるとありがたいと思います。
4歳	配偶者がいる	○子どもの長期休暇が近づいてくると、どうやって過ごすのか悩む。子育て支援センターには上の子は行けないので、児童館などお金がかからず、みんなで楽しく過ごせる場所があると良い。
4歳	配偶者がいない	○障がいのある子どもが利用できる施設が増えると嬉しいです。

4歳	配偶者がいる	○保育園やこども園に予算が以前より多くなったとは思いますが、働く親はまだまだサポートが足りないと思う。企業や会社へのアピールも必要だと思うし、働きながらだと相談に行きたくても時間的に行けない人は山ほどいると思う。また、ちょっとした事でも、相談や話す場がもっと身近にあって欲しい。
4歳	配偶者がいる	○発達に遅れのある子を育てていますが、療育環境や相談、情報など充実していても有り難く感じています。ただ、就学に向けて情報を集めていると、教育現場（園や地域の学校）において専門性の高い先生やスタッフが少ない（足りていない）と感じます。難しい事とは思いますが、専門知識をもった方を各学校へ配置するなどの措置が望まれます。
5歳	配偶者がいる	○同じ年齢の子を育てている方との交流が今まで十分にとれず気軽に相談できる友達ができませんでした。ママ友と呼べる友人が欲しかったです。自分が内気な性格であるという理由もありますが相談できる場や交流できる場がもっとあればよかったのになあと思いました。（自分が知らなかっただけかもしれませんが）子育て支援センターもなかなか一人では行く勇気も出ませんでした。自分から行動が移せない人もいるということを理解していただけたとうれしいです。
5歳	配偶者がいる	○幼稚園の園児数が少なすぎると集団生活させる意味がなく発表会などもさみしい。早いとこ合併させるべきではないかと思う。地域の園がなくなるというのはさみしいことかもしれないが、子どもがある程度お友達のいる環境で過ごすということの方が大切ではないかと思う。
5歳	配偶者がいる	○幼稚園に入園してからは支援センターを利用できなくなったので、幼稚園児でも利用できる室内施設が欲しい。
5歳	配偶者はいない	○今、子どもが二人います。出産してから、コロナの影響もありましたが、松阪人で良かったと思う所はたくさんあります。津よりも子育て支援は多く、大変ありがたいと思っています。